

第386回

地震調査委員会 資料

2023年5月12日

GNSS関連資料の見方

1. 解析の種類

GEONET では、軌道暦と解析に用いるデータの組合せにより最終解(F5)、速報解(R5)、迅速解(Q5)の3種類の解析を実施しています(下表参照)。1日間のデータはUTCの0:00~23:59で解析しています。

各解析の詳細につきましては、Takamatsu et al. (2023) (<https://doi.org/10.1186/s40623-023-01787-7>), 国土地理院時報 134 集 (2021) (<https://www.gsi.go.jp/REPORT/JIHO/vol134-main.html>) を御参照下さい。

表 解析の種類による軌道暦等の違い

解析の種類	軌道暦	解析に用いるデータ	解の間隔	解析結果
F5 (最終解)	IGS 最終暦	24 時間分	1 日	2 ~ 3 週間後
R5 (速報解)	IGS 速報暦	24 時間分	1 日	2 日後
Q5 (迅速解)	IGS 超速報暦	6 時間分	3 時間	約 3 時間後

2. 電子基準点の保守

電子基準点の安定運用を図るため保守及び器材の更新を実施しています。その際、受信機やアンテナの機種を変更することにより、F5解等の解析結果にオフセットが生じることがあります。この場合、F5解を基にオフセット量を算出し、資料作成時に補正を行っています。なお、変動ベクトル図・変動ベクトルの差の図では、この補正を行った観測点を白抜き矢印で表示し、未補正の観測点は表示から外しています。

国土地理院で行っているオフセット補正の詳細につきましては、国土地理院時報 118 集 (2009) (GPS 連続観測システム (GEONET) 解析結果に生じる人為的要因によるオフセットの補正手法について<http://www.gsi.go.jp/common/000054719.pdf>) を御参照下さい。

3. 2 期間の地殻水平変動ベクトルの差—○○—

期間①の変動ベクトルと期間②の変動ベクトルの差を表示しています(下図参照)。

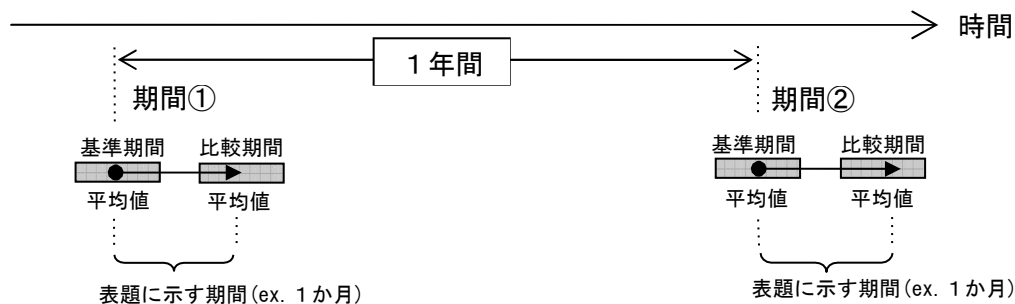
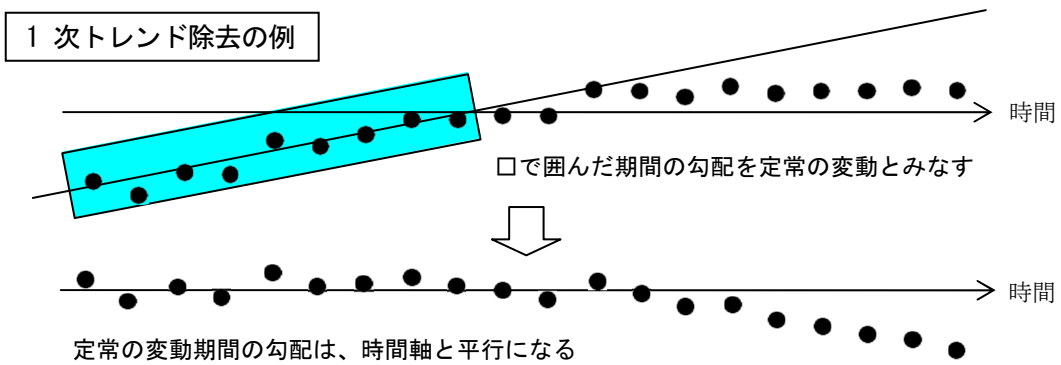


図 「2 期間の地殻水平変動ベクトルの差」の説明

4. 1 次トレンド・年周・半年周成分除去

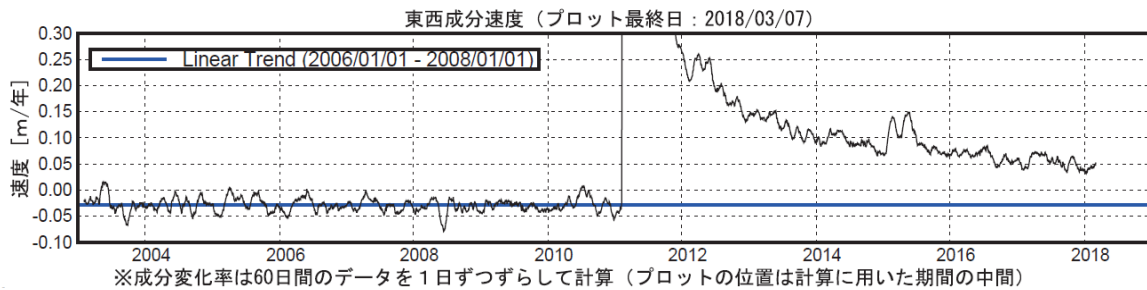
より詳細な変動を見るために、定常の変動とみなした期間における 1 次トレンド・年周・半年周の成分を推定し、全期間から差し引いています。これにより、非定期的な変動を見やすくすることができます。定常とみなした期間は「計算期間」として、グラフ及びベクトル図に表示しています。



5. 基線ベクトル成分の速度

余効変動のような緩やかな非定常変動の推移を見積もる方法として、基線ベクトル成分の速度をプロットしています。基線ベクトル成分の速度は、指定された日数（下図の例では60日間）の変化の1次トレンドとして計算し、計算期間の中間日にプロットしています。この計算を1日ずつずらしてグラフにしています。

更に定常とみなした変動からの離れ具合を表すために、グラフ内の左上に「Linear Trend (期間)」として示す期間について基線ベクトル成分の変化から、1次トレンド、年周・半年周成分を推定し、得られた1次トレンドの値を平均的な速度として一定の値の横棒で表しています。



6. 移転

移転した電子基準点は、移転前の点と別個の点として扱われます。そのため、地殻変動観測の継続性を保つために、移転前・移転後の座標時系列を結合して資料を作成しています。この場合、時系列グラフには移転した点の名前と移転日の注記を入れています。

7. 解析時の固定点について

F5解析及びR5解析では、茨城県の「つくば1」(92110)を解析固定点としており、その座標値は世界各地の観測データから算出する手法を採用しています。一方、Q5解析では解析固定点を福岡県の「前原」(950450)とし、その座標値はノミナルな値で与えています。このため、F5解析及びR5解析とQ5解析を比較した場合、座標値に見かけ上の差が生じますが、通常、基線ベクトルを形成することで、その差は相殺されます。ただし、1000kmを超えるような長距離基線では、最大で数ミリのずれが残ることがあります。

8. 出典

本資料を利用する際は、出典の記載をお願いします。

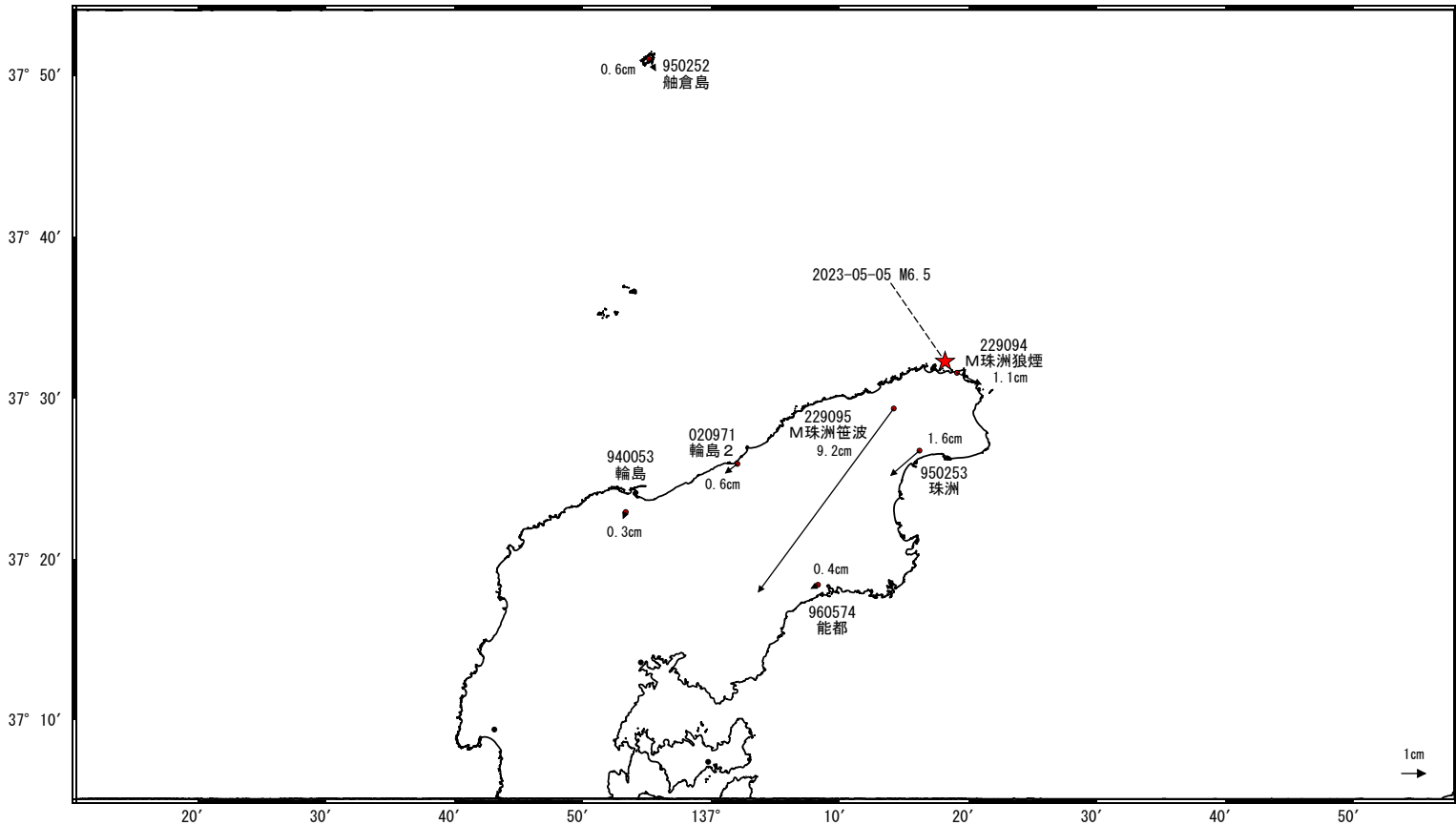
(出典記載例) 「出典：国土地理院」

石川県能登地方の地震(5月5日 M6.5)前後の観測データ(暫定)

この地震に伴い地殻変動が観測された。

地殻変動(水平)

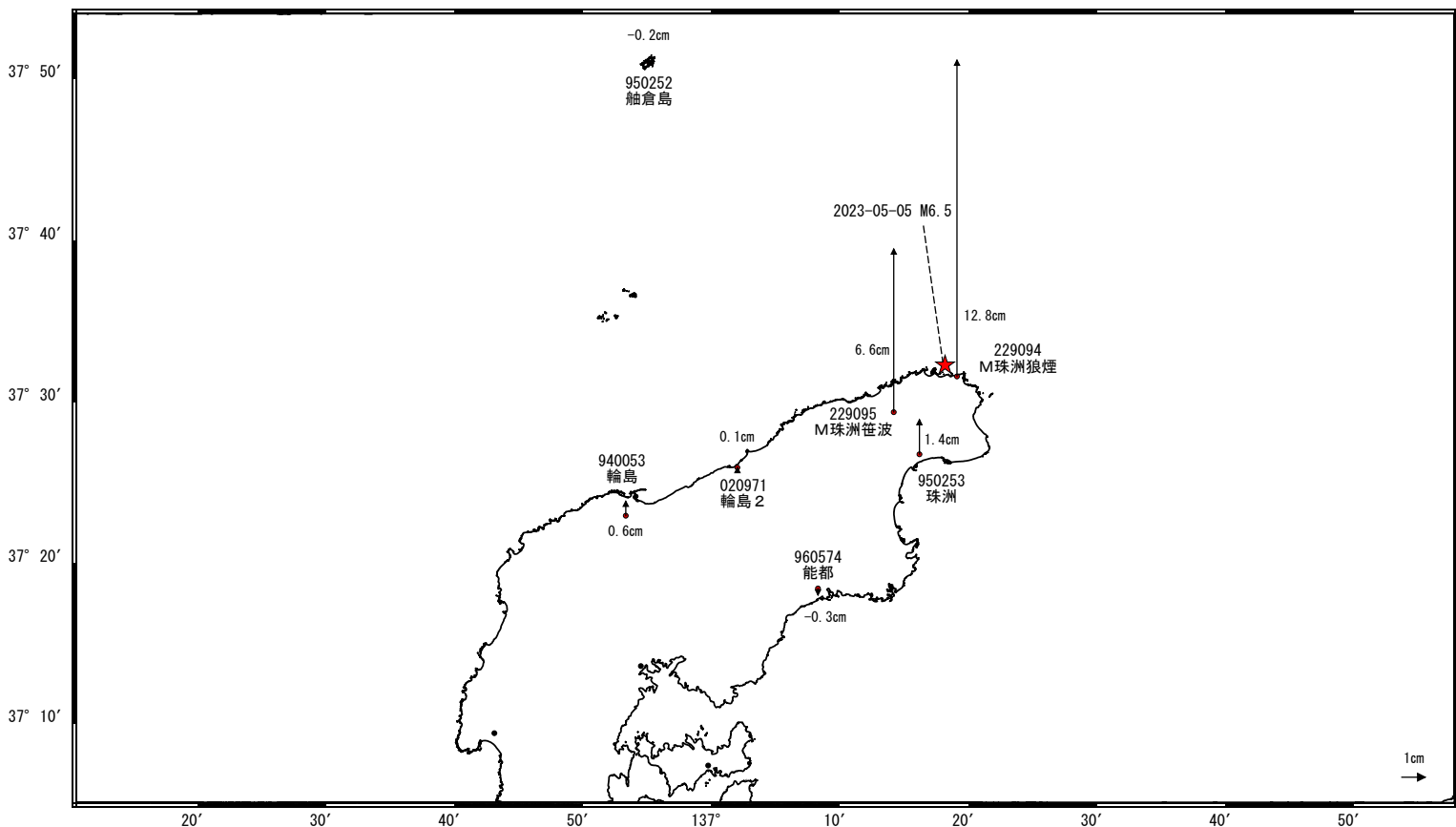
基準期間: 2023-04-26~2023-05-03 [R5: 速報解]
比較期間: 2023-05-06~2023-05-08 [R5: 速報解]



☆ 固定局: 白鳥 (950282) ★ 震央

地殻変動(上下)

基準期間: 2023-04-26~2023-05-03 [R5: 速報解]
比較期間: 2023-05-06~2023-05-08 [R5: 速報解]



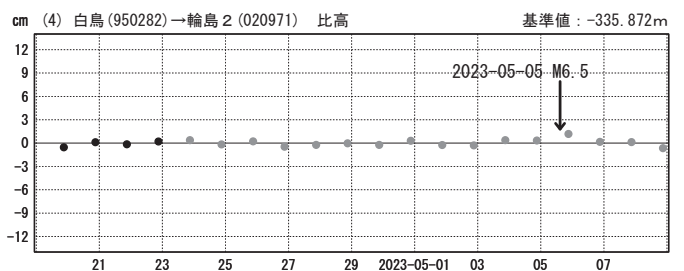
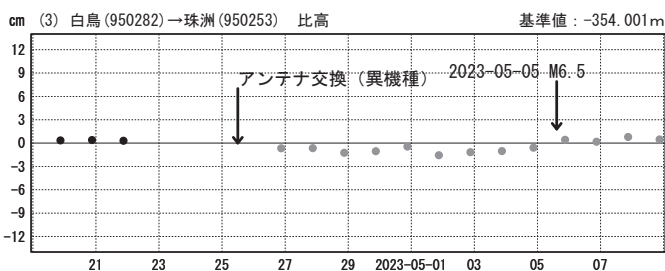
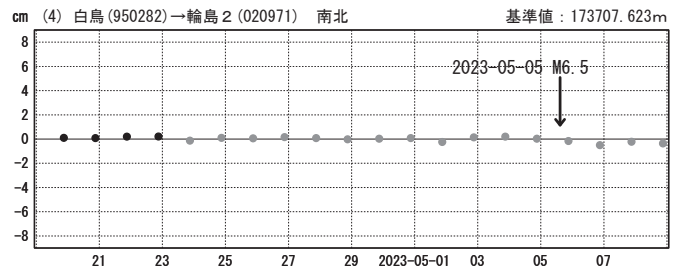
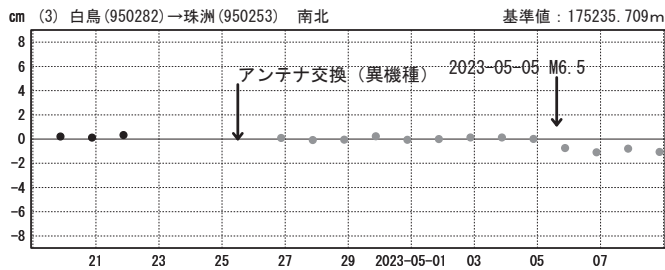
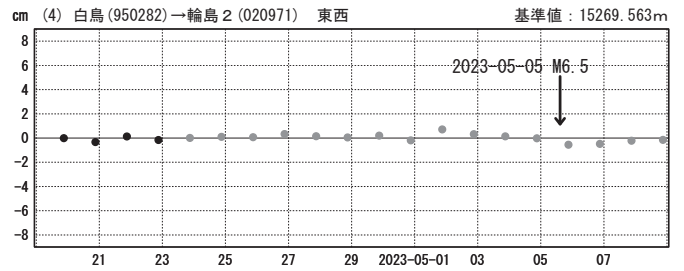
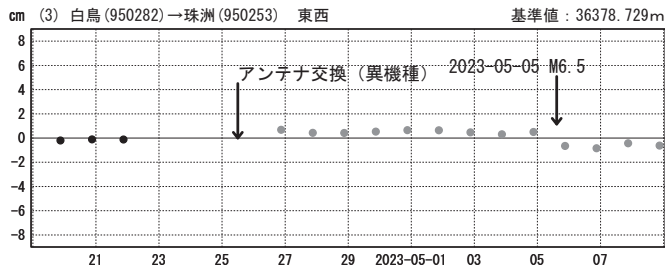
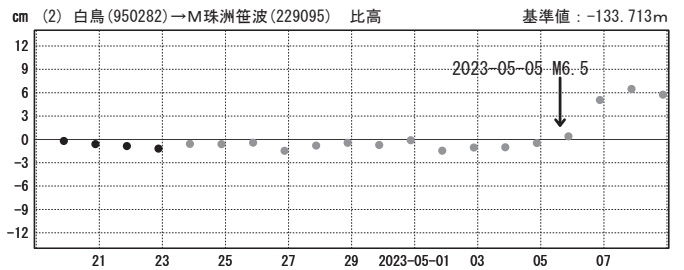
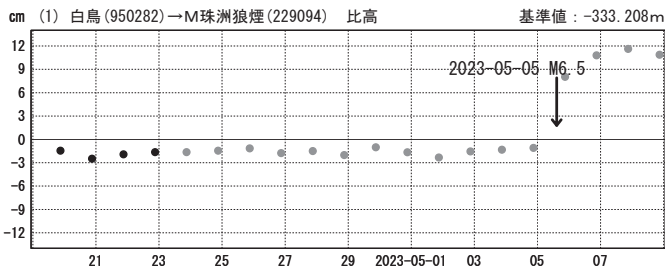
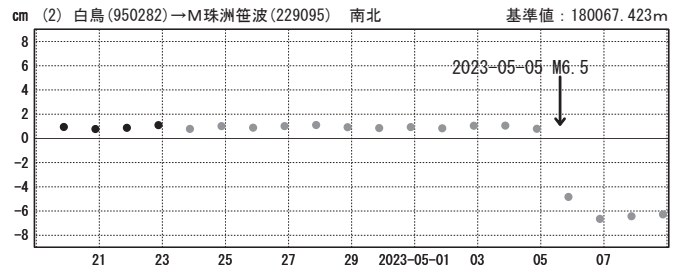
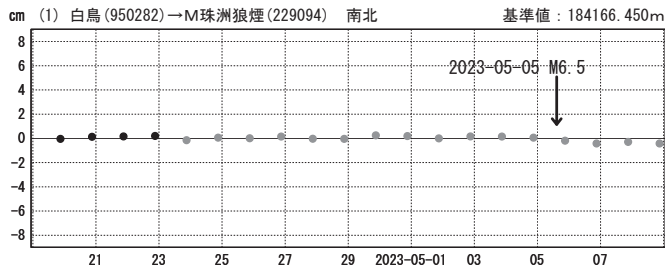
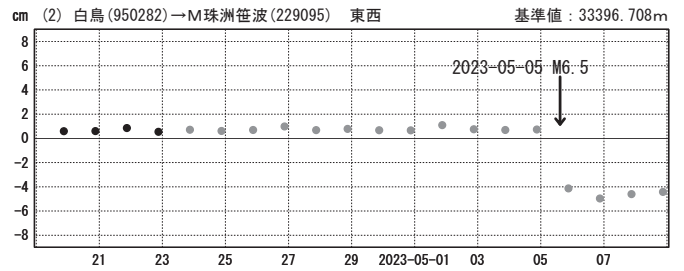
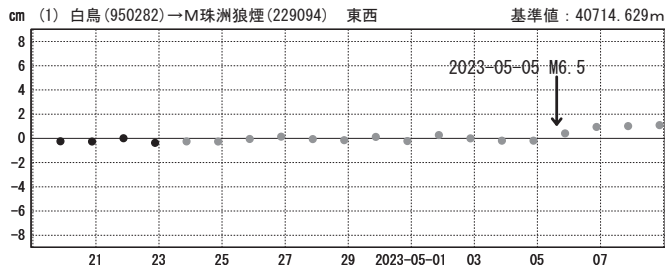
☆ 固定局: 白鳥 (950282) ★ 震央

石川県能登地方の地震(5月5日 M6.5)前後の観測データ (暫定)

成分変化グラフ

期間: 2023-04-19~2023-05-08 JST

期間: 2023-04-19~2023-05-08 JST

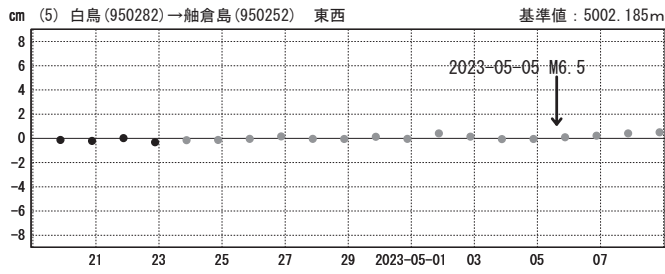


●---[F5:最終解] ○---[R5:速報解]

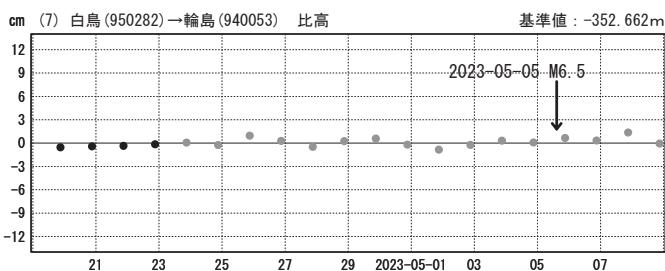
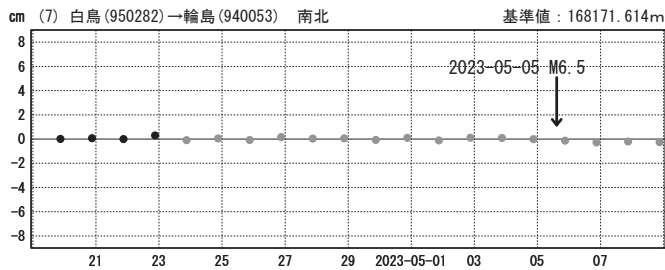
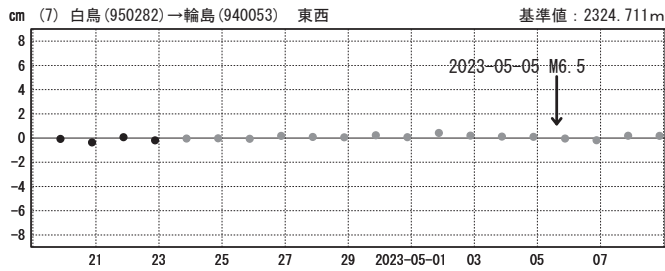
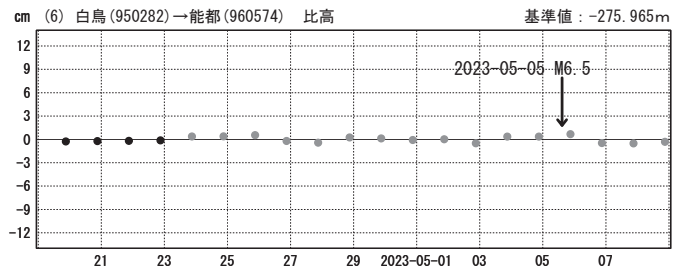
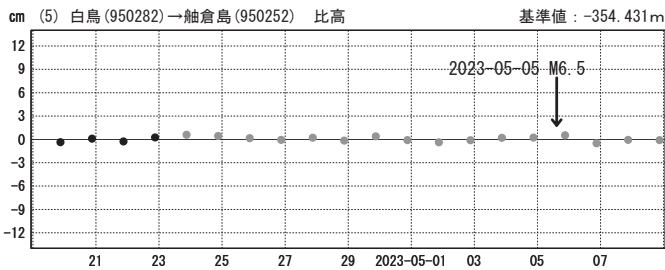
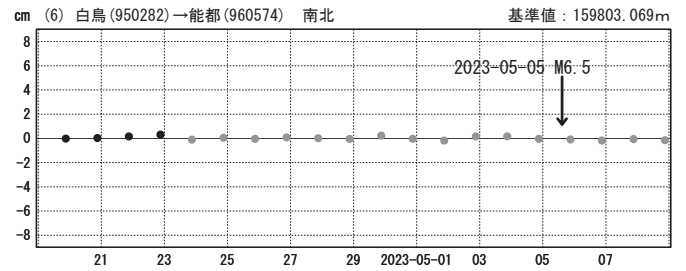
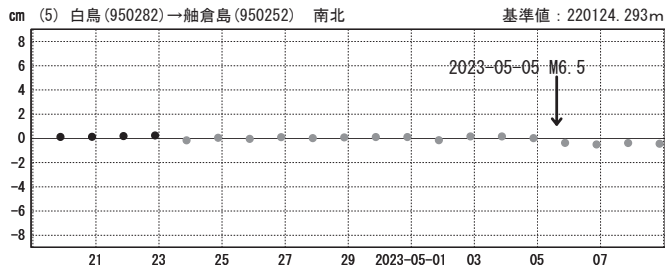
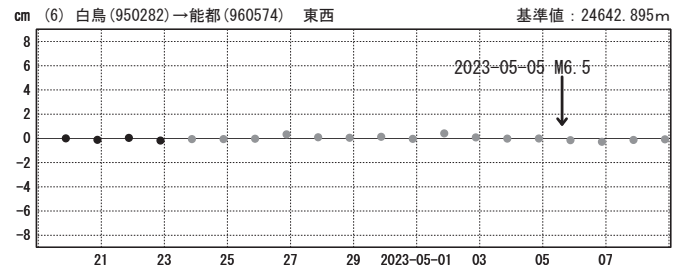
石川県能登地方の地震(5月5日 M6.5)前後の観測データ (暫定)

成分変化グラフ

期間: 2023-04-19~2023-05-08 JST



期間: 2023-04-19~2023-05-08 JST

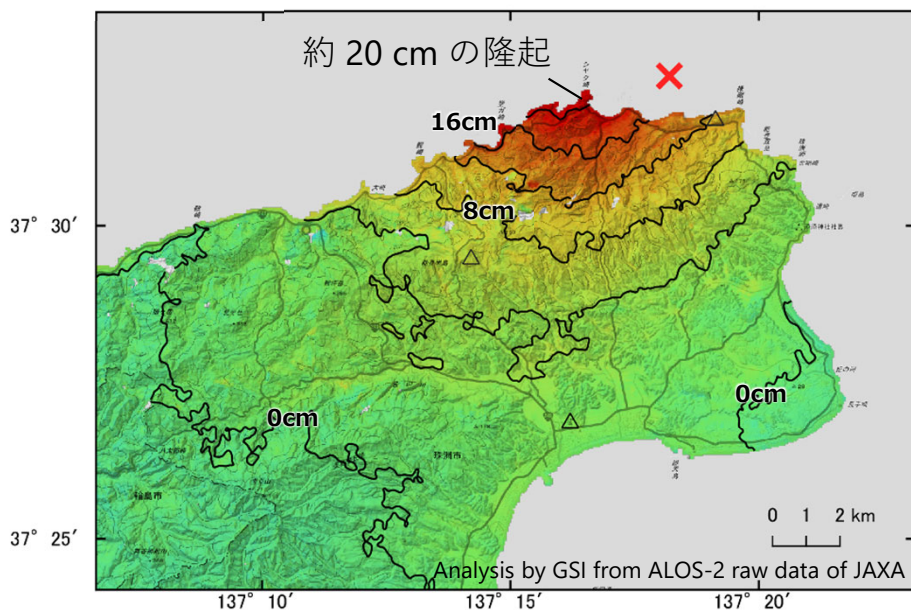


●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

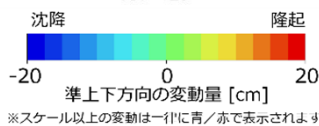
「だいち2号」観測データの干渉解析による 石川県能登地方の地震（2023年5月5日）に伴う地殻変動（2.5次元解析）

珠洲市北部で最大約20cmの隆起、最大約10cmの西向きの変動（暫定値）が見られます。山地等では局所的な変動も見られます。

準上下方向

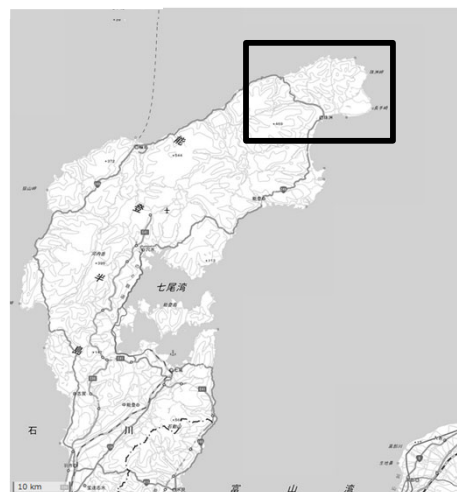


等量線間隔：4 [cm]

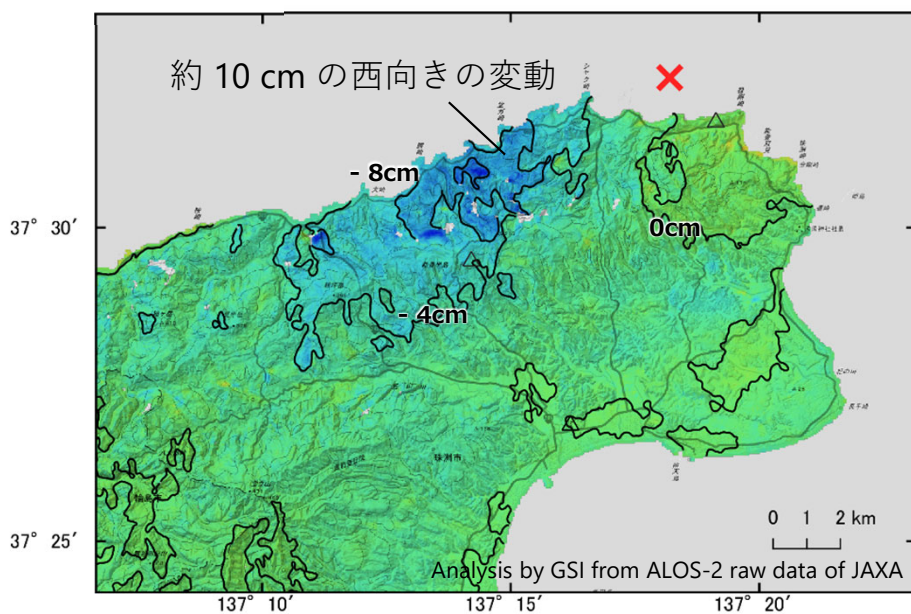


※スケール以上の変動は一律に青/赤で表示されます

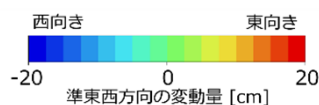
表示範囲



準東西方向



等量線間隔：4 [cm]



※スケール以上の変動は一律に青/赤で表示されます

衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2023-04-21 2023-05-05 23:45頃 (14日間)	2023-04-09 2023-05-07 11:56頃 (28日間)
衛星進行方向	北行	南行
電波照射方向	右(東)	右(西)
観測モード*	U-U	U-U
入射角	35.8°	36.5°
偏波	HH	HH
垂直基線長	- 74 m	- 193 m

* U：高分解能(3m)モード

△ 国土地理院GNSS観測点

× 震央 2023-05-05 14:42
深さ12km M6.5 (気象庁発表)

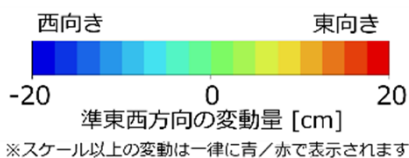
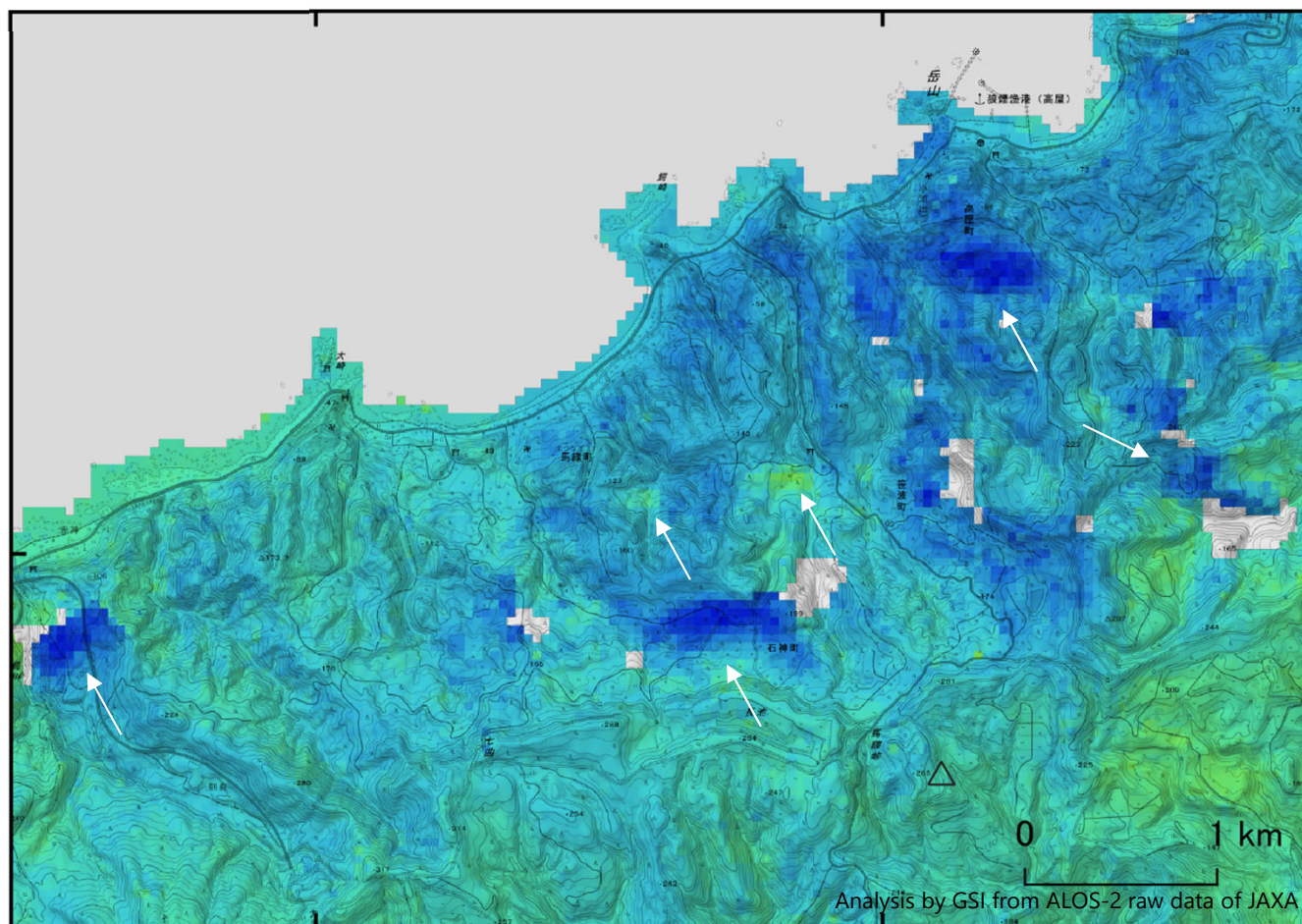
背景：地理院地図
標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

本解析で使用了たデータの一部は、地震予知連絡会SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

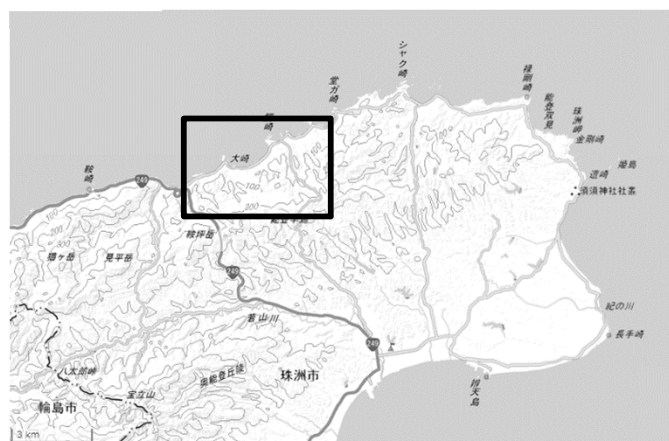
「だいち2号」観測データの干渉解析による 石川県能登地方の地震（2023年5月5日）に伴う地殻変動（2.5次元解析）

珠洲市内の山地等では局所的な変動が多数見られます（白矢印）。

準東西方向 拡大図



表示範囲

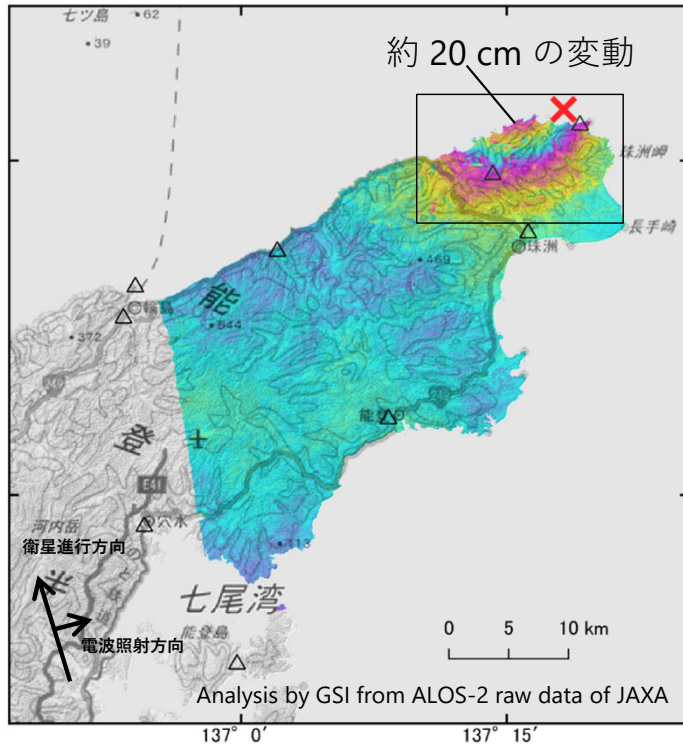


本解析で使用したデータの一部は、地震予知連絡会SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。
対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

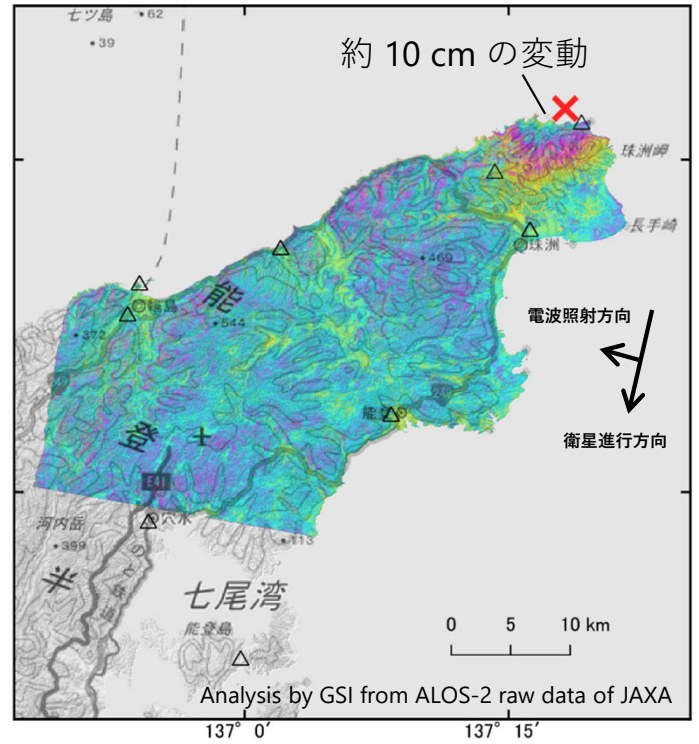
「だいち2号」観測データの干渉解析による
石川県能登地方の地震（2023年5月5日）に伴う地殻変動

珠洲市北部において、北行軌道の観測では最大約20cm、南行軌道の観測では最大10cm（暫定値）の衛星に近づく変動が見られます。
珠洲市内の山地等では数cm程度の局所的な変動が多数見られます。

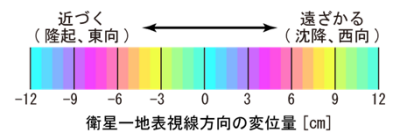
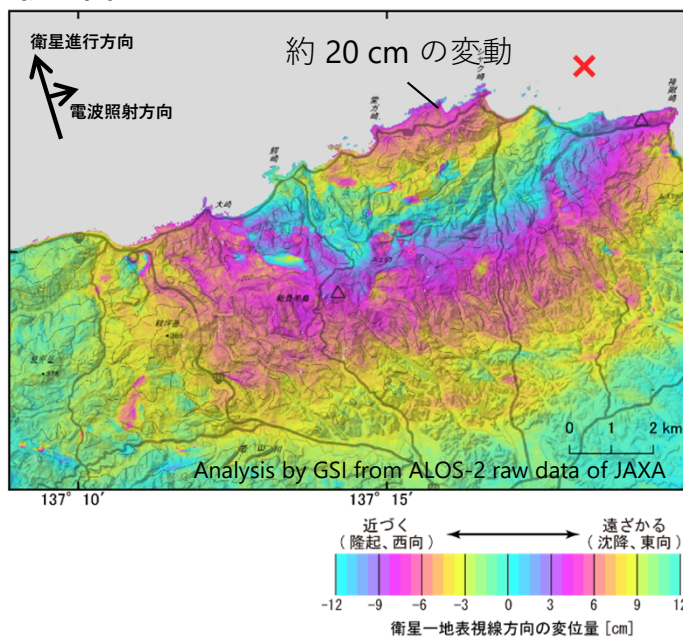
2023年4月21日～2023年5月5日（北行軌道）



2023年4月9日～2023年5月7日（南行軌道）



拡大図



衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2023-04-21 2023-05-05 23:45頃 (14日間)	2023-04-09 2023-05-07 11:56頃 (28日間)
衛星進行方向	北行	南行
電波照射方向	右(東)	右(西)
観測モード*	U-U	U-U
入射角	35.8°	36.5°
偏波	HH	HH
垂直基線長	- 74 m	- 193 m

* U：高分解能(3m)モード

△ 国土地理院GNSS観測点

× 震央 2023-05-05 14:42

深さ12km M6.5 (気象庁発表)

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

本解析で使用したデータの一部は、地震予知連絡会SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。
対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

2023年5月5日能登半島の地震活動の震源断層モデル（暫定）

基準期間: 2023/04/28 09:00:00~2023/05/05 08:59:59[Q5:迅速解]JST
 比較期間: 2023/05/05 18:00:00~2023/05/08 08:59:59[Q5:迅速解]JST
 固定局:小松(950255)

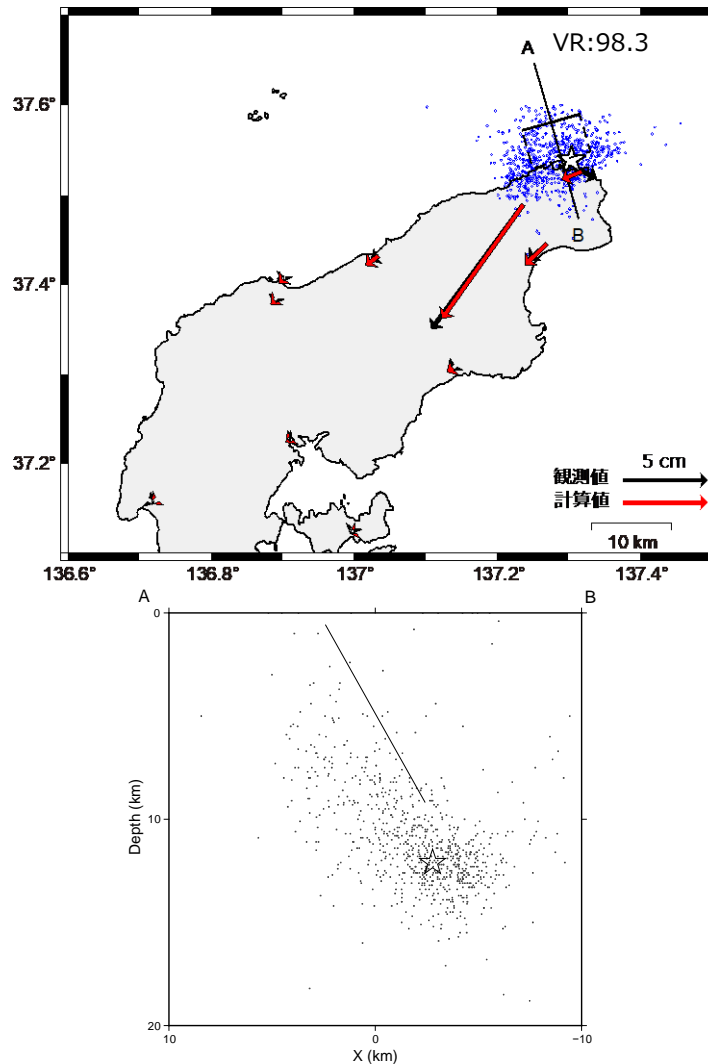


図 推定された震源断層モデル

(上) 矩形実線は震源断層モデルを地表に投影した位置で、太い実線が断層上端。矢印は観測値（黒）及び計算値（赤）の水平成分。
 (下) 傾斜方向(A-B)に射影した断層面（太線）及び震源分布（点）。横軸は傾き下がる方向を正にとっている。

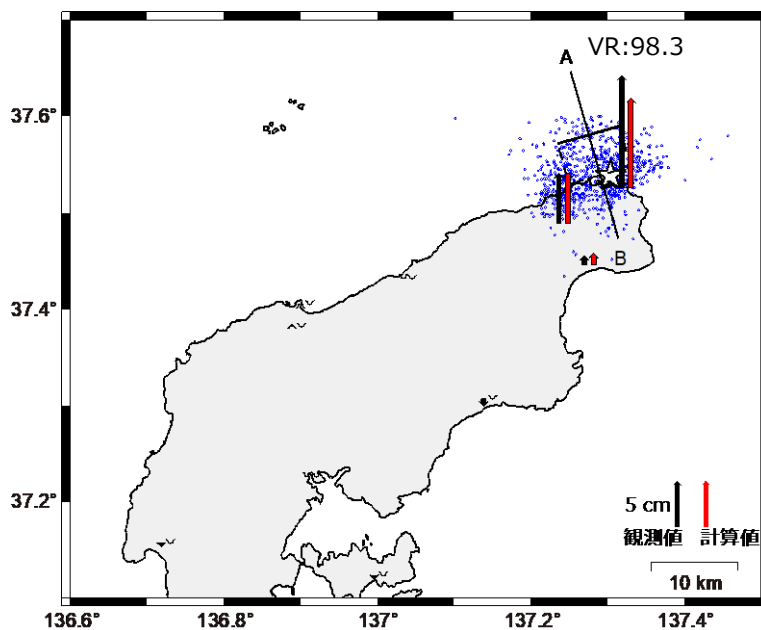
☆印は震央、点は震源分布（気象庁一元化震源）、2023年5月05日14時42分～5月5日23時59分。

表 推定された震源断層モデルパラメータ

経度 [°]	緯度 [°]	上端深さ [km]	長さ [km]	幅 [km]	走向 [°]	傾斜 [°]	すべり角 [°]	すべり量 [m]	M_w
137.235 (0.003)	37.572 (0.004)	0.6 (0.3)	7.4 (0.4)	9.9 (0.3)	74.0 (3.8)	60.7 (2.8)	117.3 (1.1)	1.2 (0.4)	6.20

- ・ マルコフ連鎖モンテカルロ（MCMC）法を用いてモデルパラメータを推定した。
- ・ 位置は断層の左上端を示す。括弧内は誤差（ 1σ ）を示す。
- ・ M_w と断層面積がスケーリング則(Thingbiam et al., 2017)に近づくように拘束した。
- ・ M_w の計算においては、剛性率を30 GPaと仮定

【参考】鉛直成分



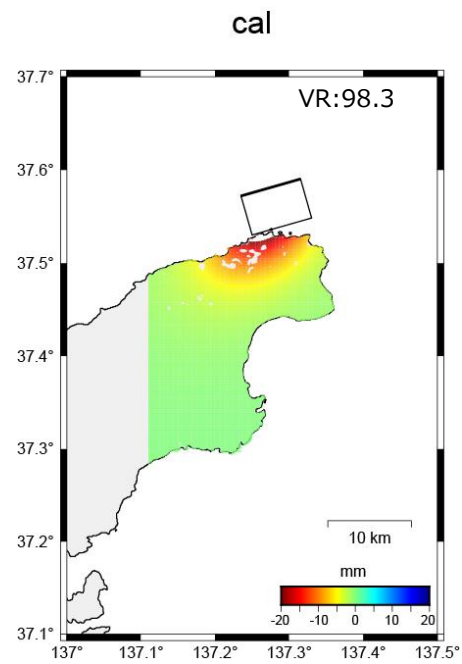
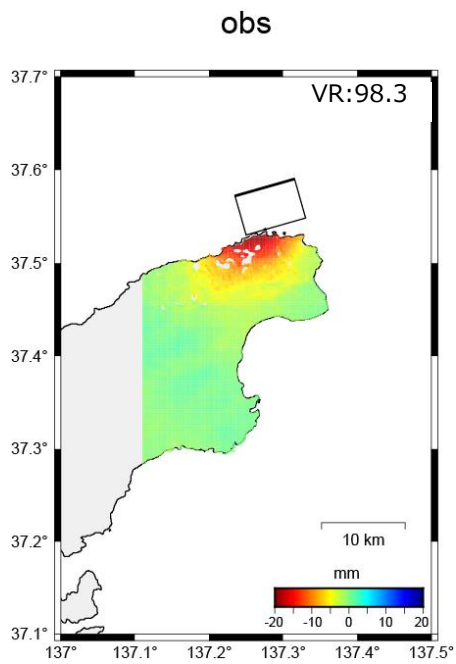
矢印は観測値（黒）及び計算値（赤）の鉛直成分。

【参考】 干涉 SAR

第一回観測日: 2023/04/21

第二回観測日: 2023/05/05

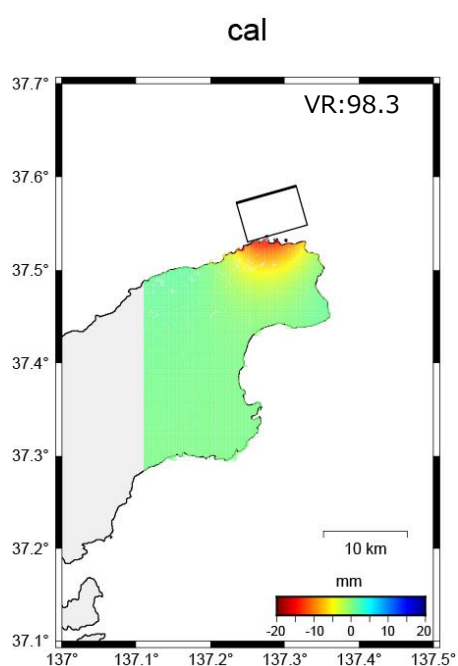
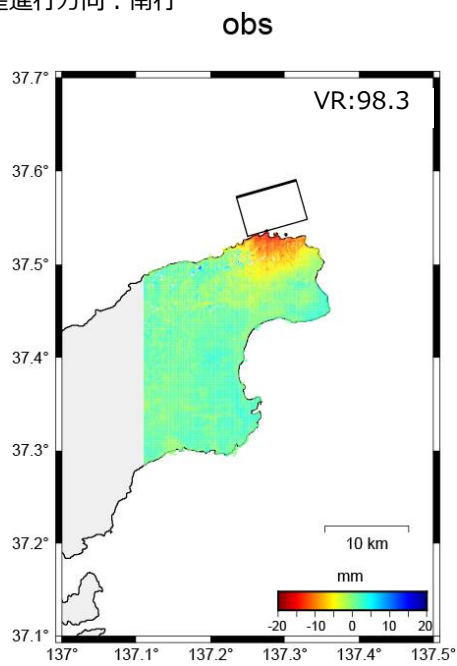
衛星進行方向: 北行



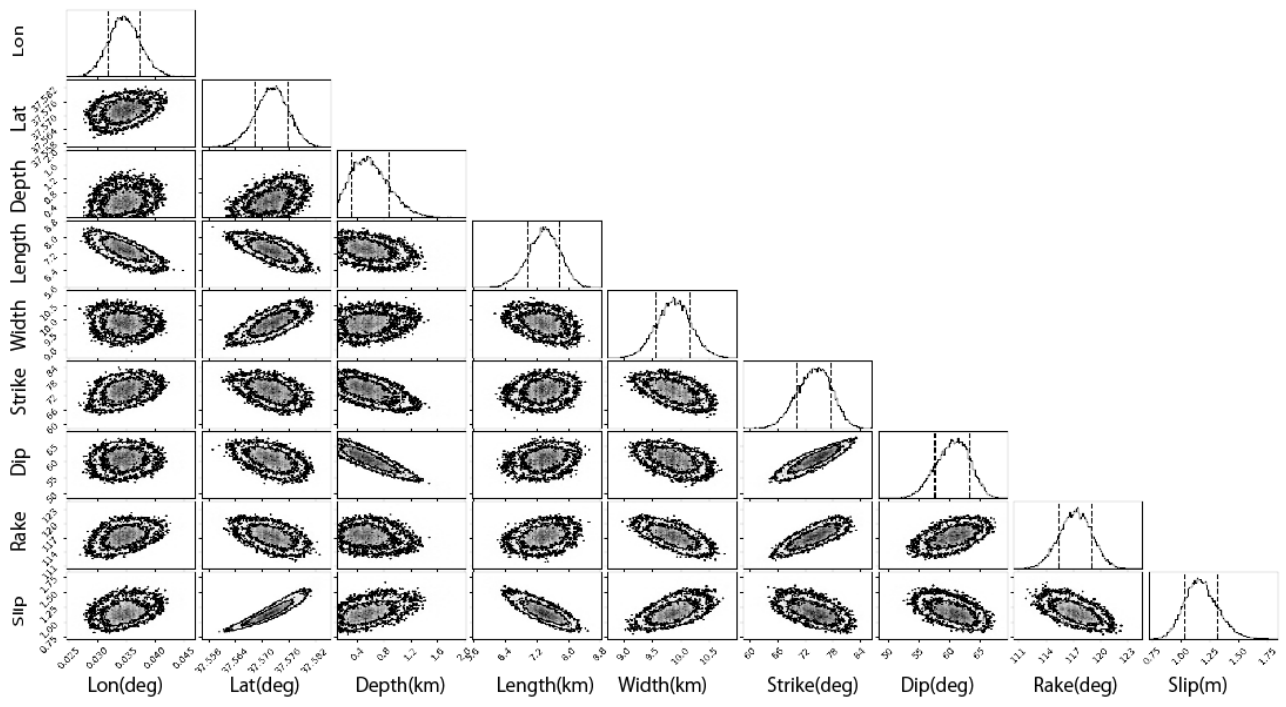
第一回観測日: 2023/04/09

第二回観測日: 2023/05/07

衛星進行方向: 南行



【参考】コーナープロット



2023年5月5日能登半島の地震活動の震源断層モデル（暫定）

基準期間: 2023/04/28 09:00:00~2023/05/05 08:59:59[Q5:迅速解]JST
 比較期間: 2023/05/05 18:00:00~2023/05/08 08:59:59[Q5:迅速解]JST
 固定局:小松(950255)

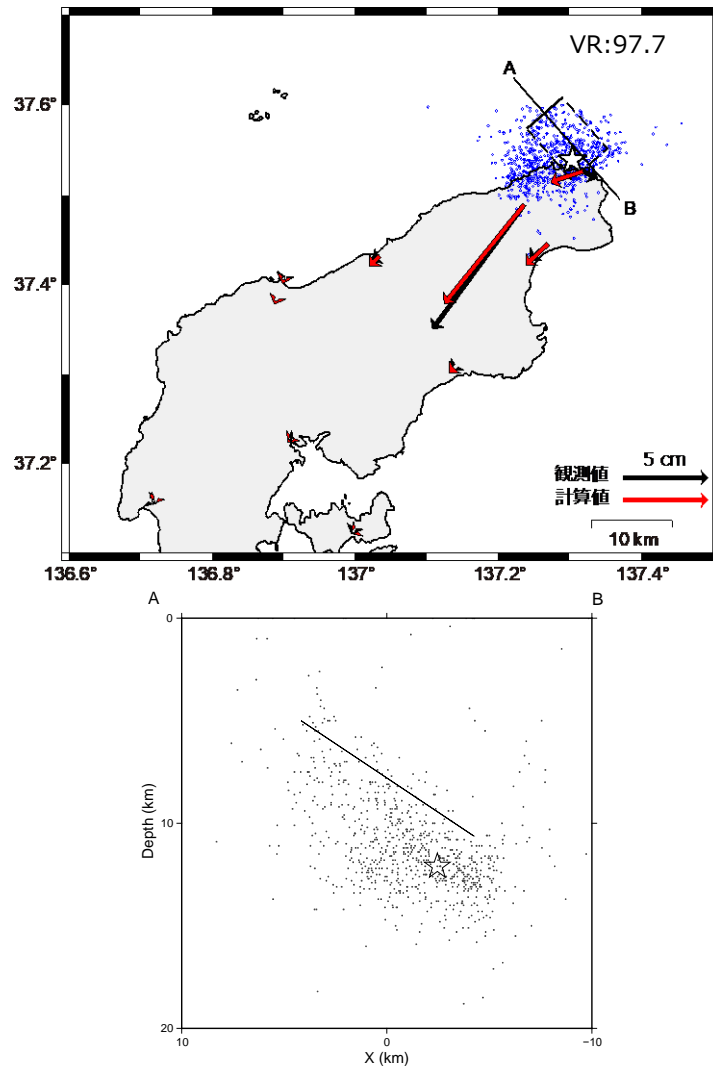


図 推定された震源断層モデル

(上) 矩形実線は震源断層モデルを地表に投影した位置で、太い実線が断層上端。矢印は観測値（黒）及び計算値（赤）の水平成分。
 (下) 傾斜方向(A-B)に射影した断層面（太線）及び震源分布（点）。横軸は傾き下がる方向を正にとっている。

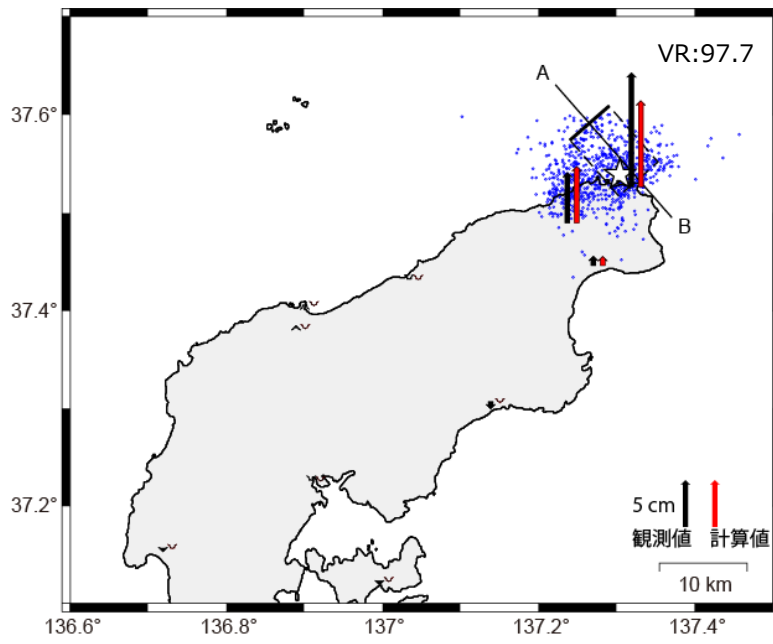
☆印は震央、点は震源分布（気象庁一元化震源）、2023年5月05日14時42分～5月5日23時59分。

表 推定された震源断層モデルパラメータ

経度 [°]	緯度 [°]	上端深さ [km]	長さ [km]	幅 [km]	走向 [°]	傾斜 [°]	すべり角 [°]	すべり量 [m]	M_w
137.240 (0.003)	37.574 (0.003)	5.0	5.9 (0.5)	10.1 (0.3)	48.8 (2.4)	33.7 (0.7)	106.8 (2.0)	2.2 (0.2)	6.33

- ・ マルコフ連鎖モンテカルロ (MCMC) 法を用いてモデルパラメータを推定した。
- ・ 位置は断層の左上端を示す。括弧内は誤差 (1σ) を示す。上端深さは5kmに固定。
- ・ M_w と断層面積がスケーリング則 (Thingbiam et al., 2017) に近づくように拘束した。
- ・ M_w の計算においては、剛性率を 30 GPa と仮定

【参考】鉛直成分



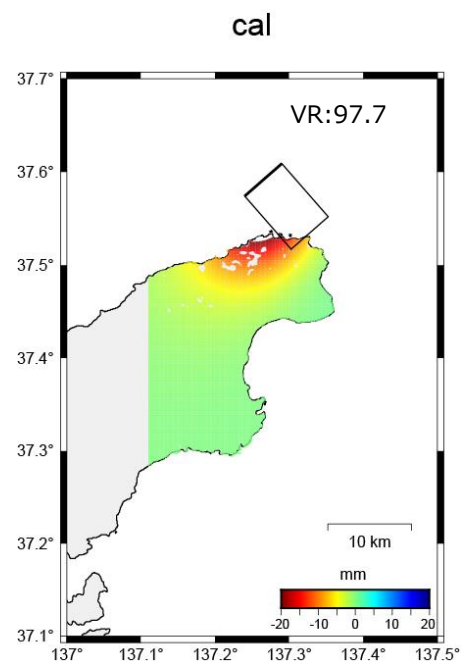
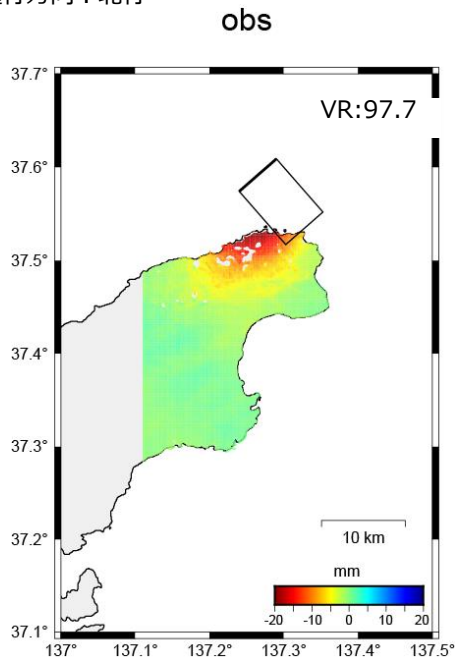
矢印は観測値（黒）及び計算値（赤）の鉛直成分。

【参考】 干涉 SAR

第一回観測日: 2023/04/21

第二回観測日: 2023/05/05

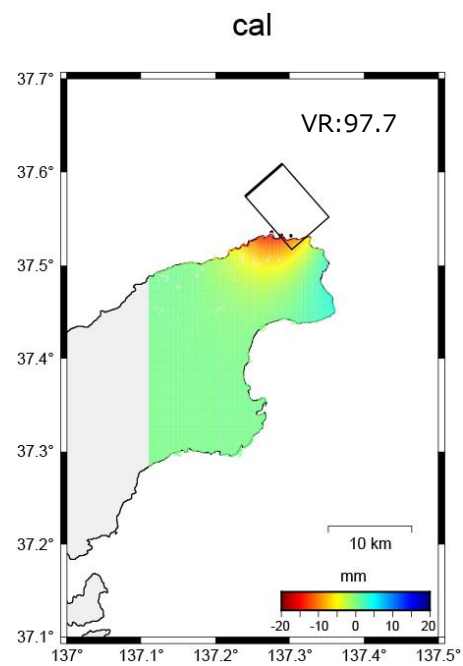
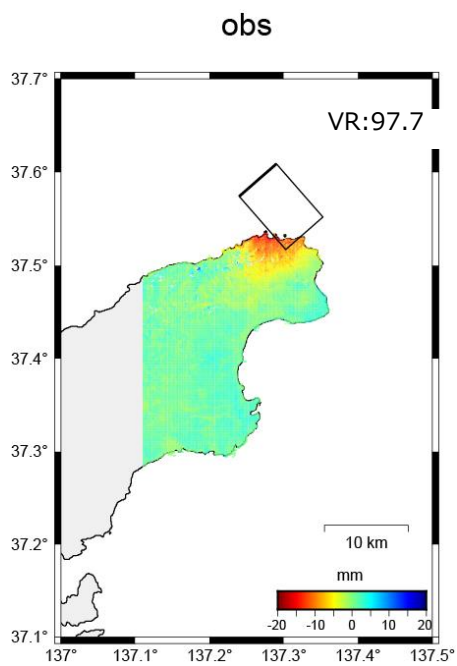
衛星進行方向: 北行



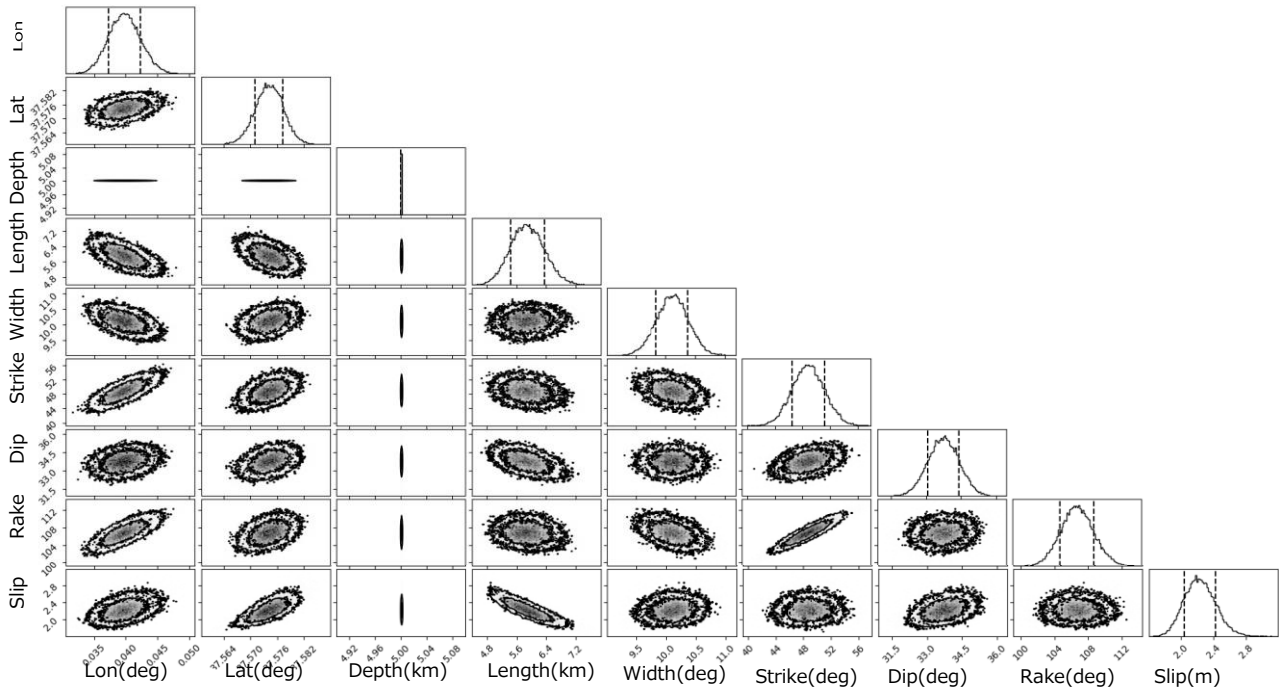
第一回観測日: 2023/04/09

第二回観測日: 2023/05/07

衛星進行方向: 南行



【参考】コーナープロット

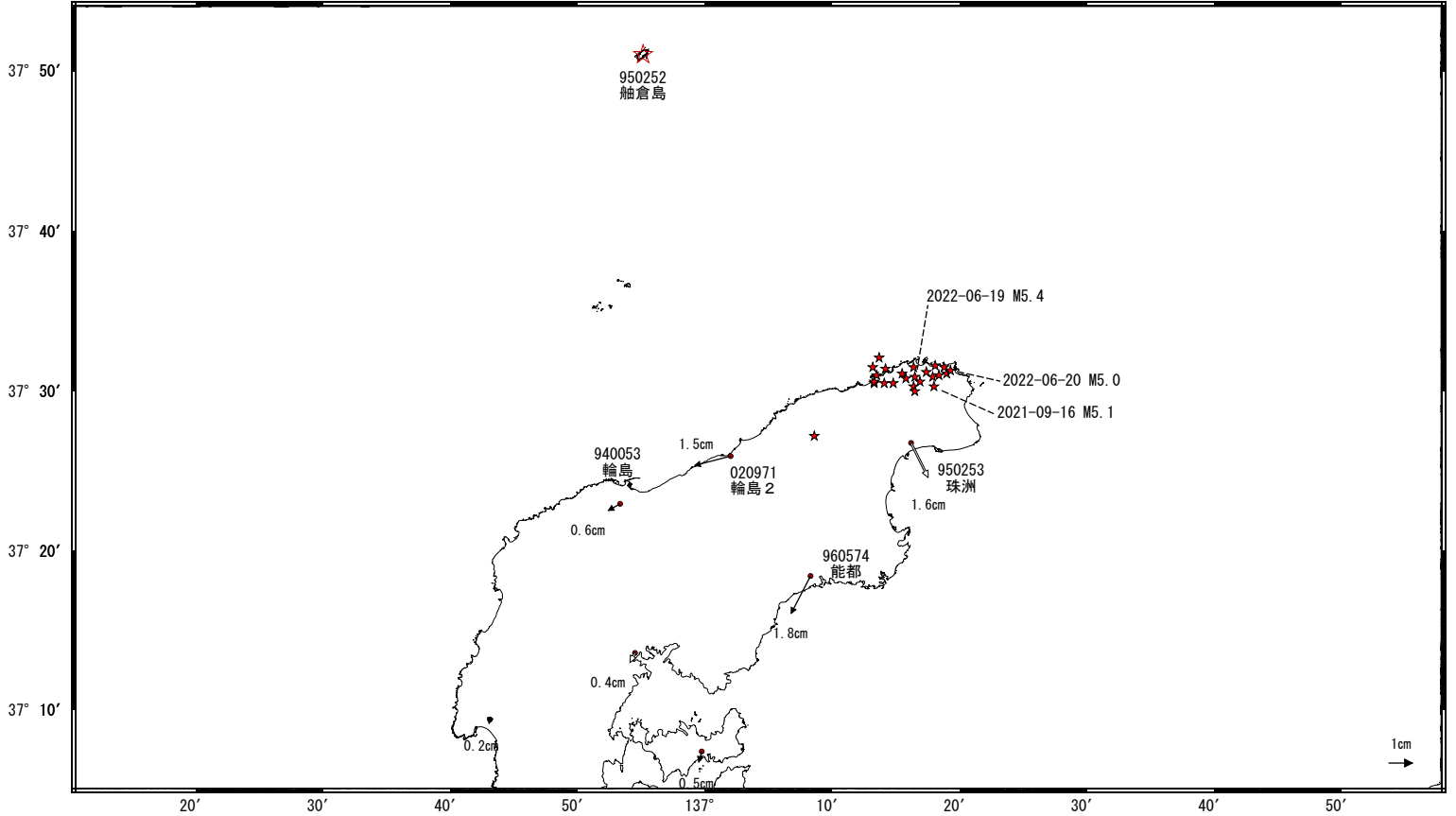


石川県能登地方の地殻変動（暫定）

ベクトル図（水平） （一次トレンド・年周成分・半年周成分除去後）

基準期間：2020-11-01～2020-11-07 [F5：最終解]
比較期間：2023-04-16～2023-04-22 [R5：速報解]

計算期間：2017-09-01～2020-09-01

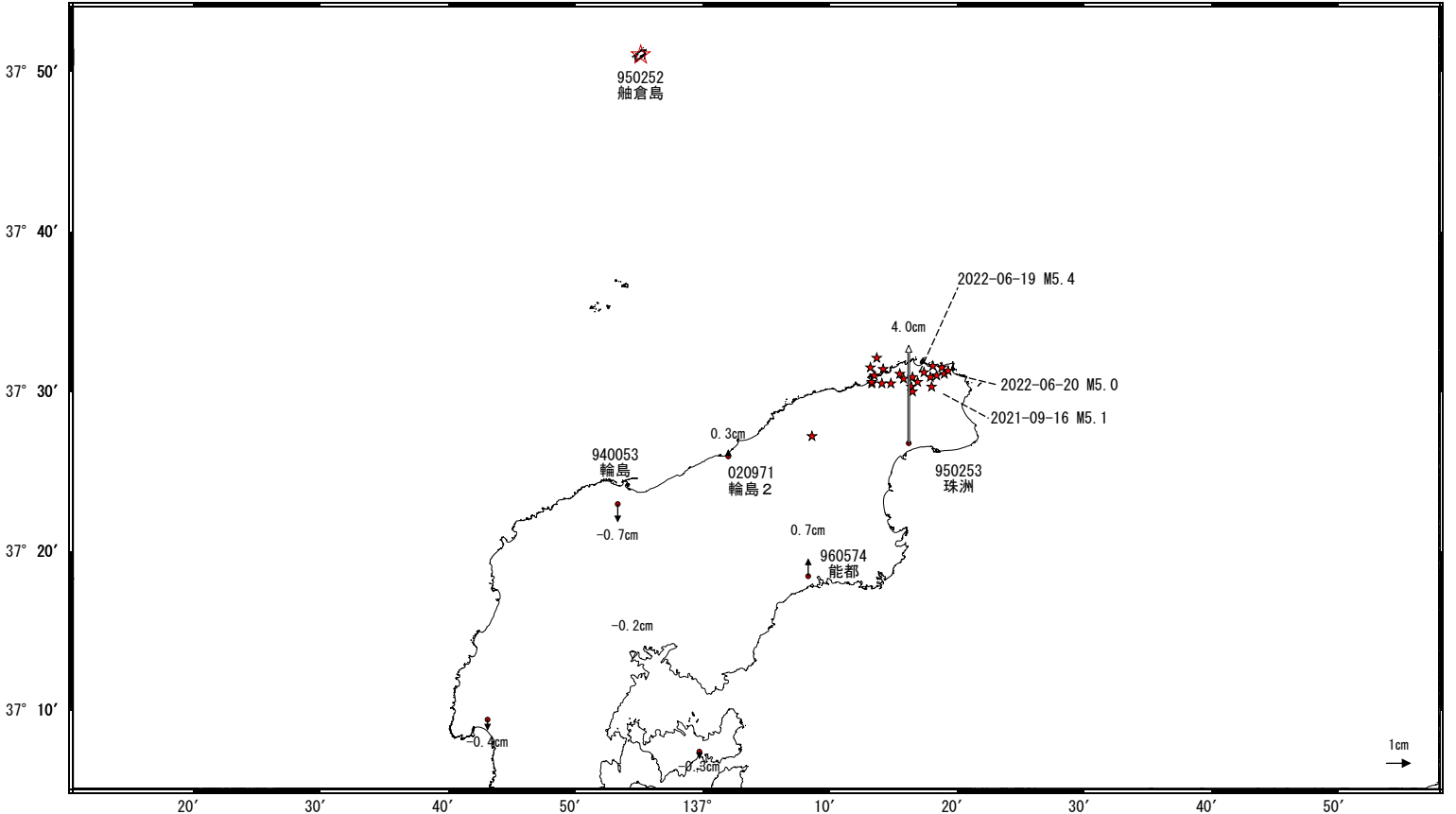


☆ 固定局：軸倉島 (950252)

ベクトル図（上下） （一次トレンド・年周成分・半年周成分除去後）

基準期間：2020-11-01～2020-11-07 [F5：最終解]
比較期間：2023-04-16～2023-04-22 [R5：速報解]

計算期間：2017-09-01～2020-09-01



☆ 固定局：軸倉島 (950252)

★ 震央（2020年11月以降 M>4.0）

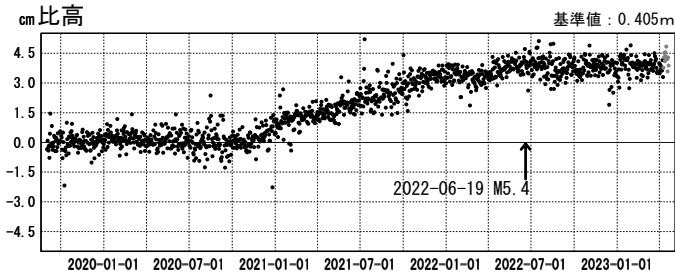
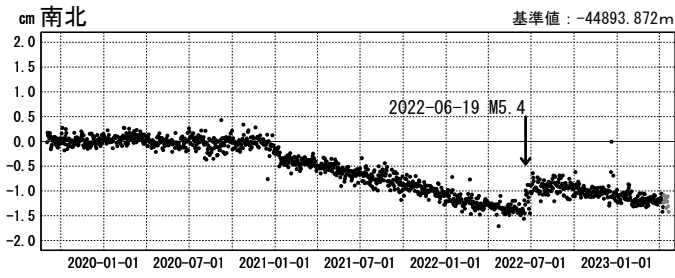
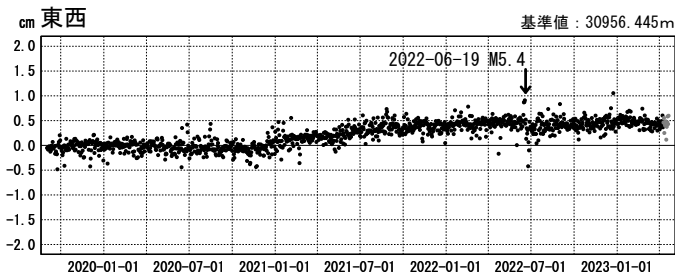
※電子基準点「珠洲」の位置が、地震（2022-06-19 M5.4）に伴いごくわずかに変化した可能性がある。

石川県能登地方の地殻変動（暫定）

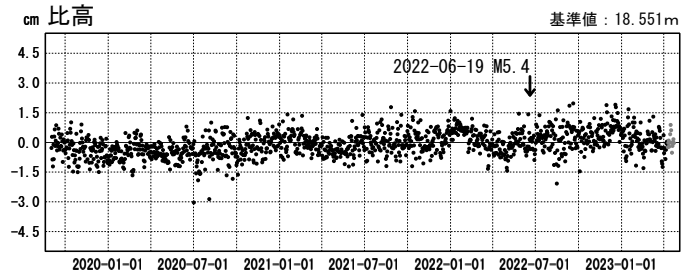
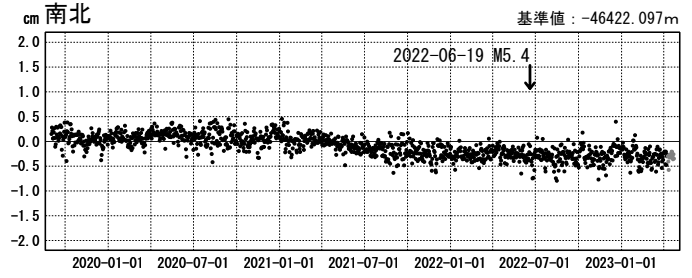
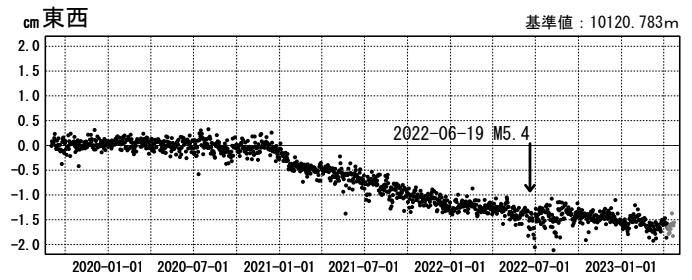
成分変化グラフ（一次トレンド・年周成分・半年周成分除去後）

期間：2019-09-01～2023-04-22 JST 計算期間：2017-09-01～2020-09-01

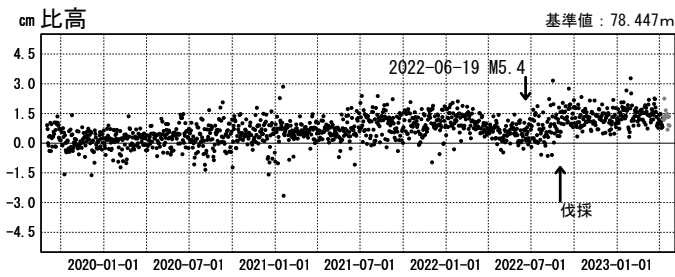
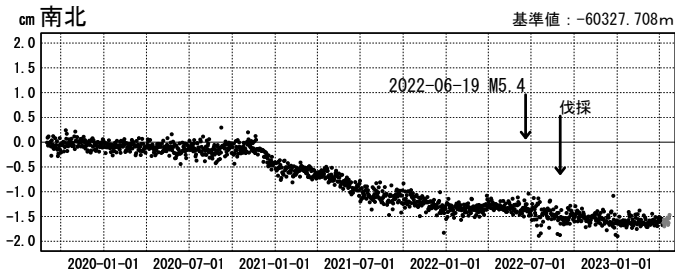
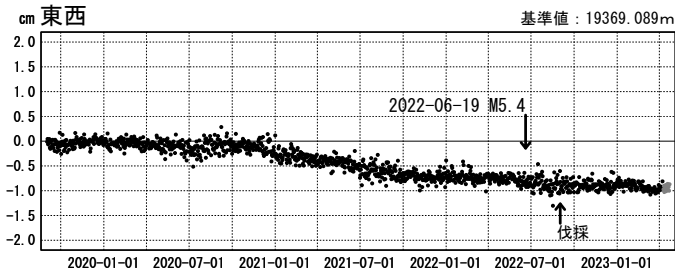
(1) 舢倉島(950252)→珠洲(950253)



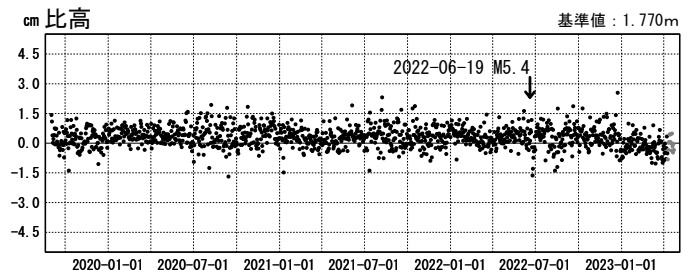
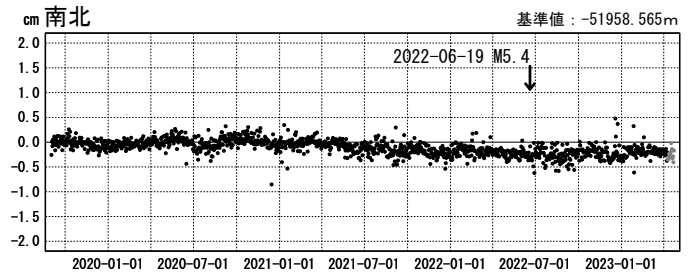
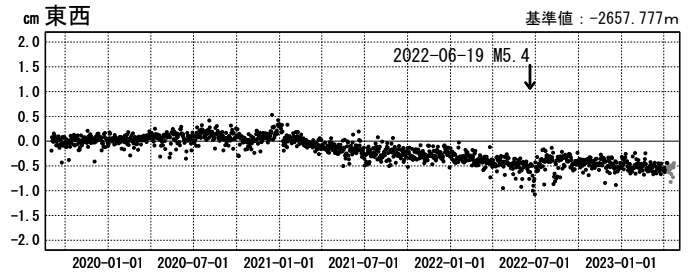
(2) 舢倉島(950252)→輪島2(020971)



(3) 舢倉島(950252)→能都(960574)



(4) 舢倉島(950252)→輪島(940053)

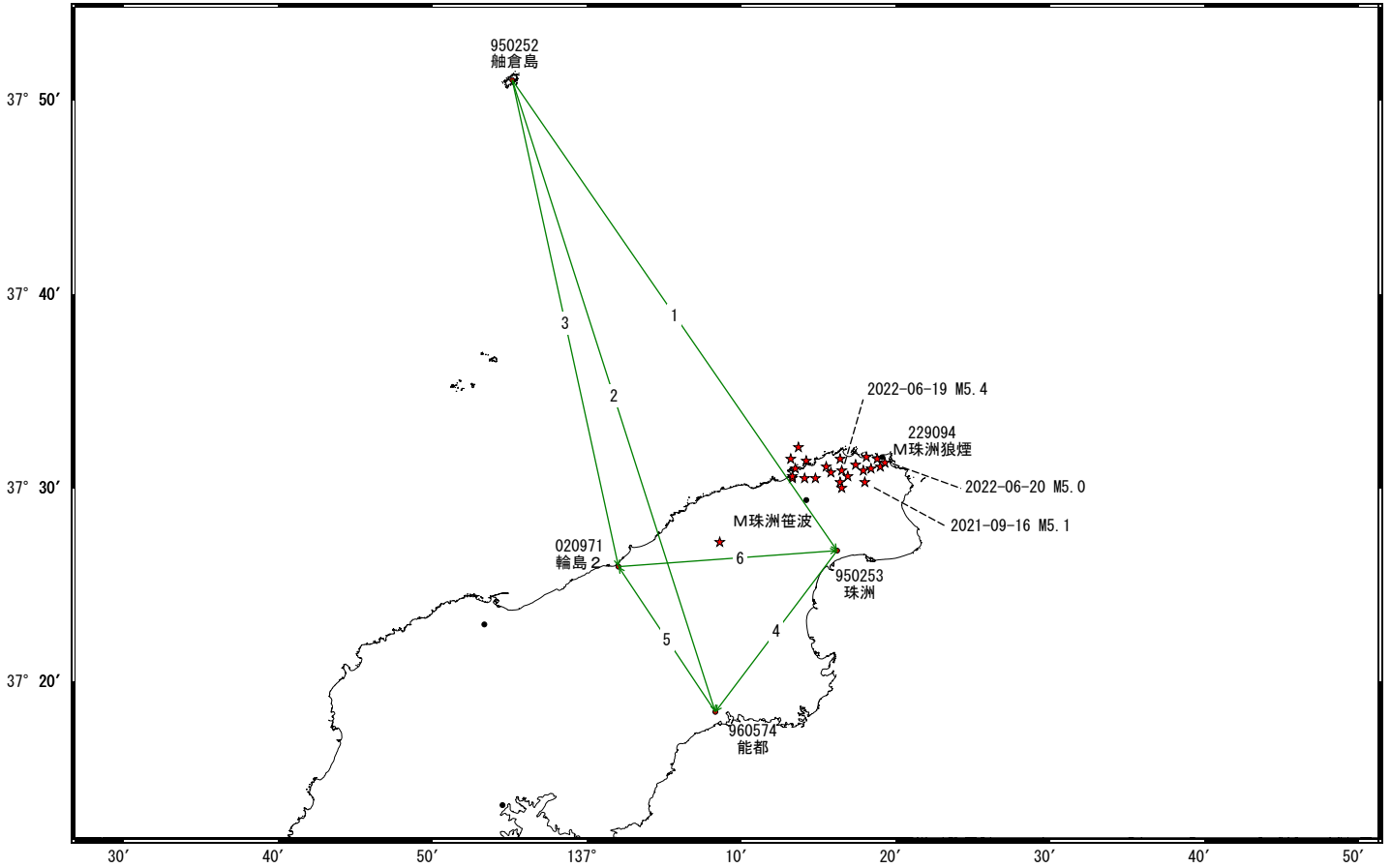


●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

※電子基準点「珠洲」の位置が、地震（2022-06-19 M5.4）に伴いごくわずかに変化した可能性がある。

石川県能登地方の地殻変動（暫定）

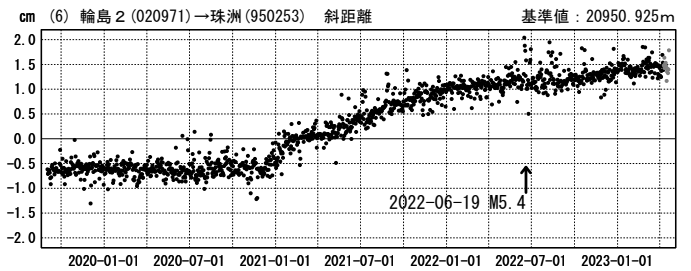
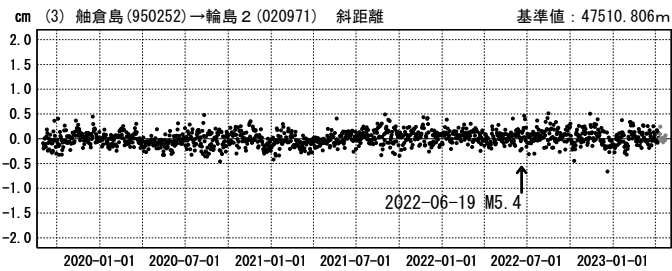
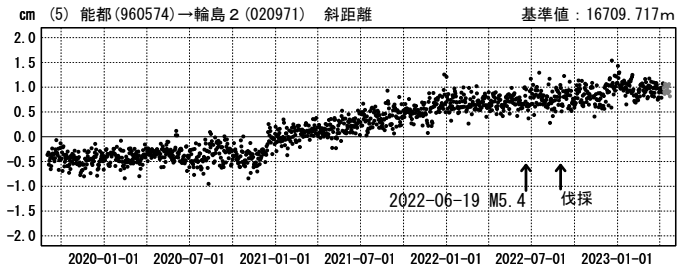
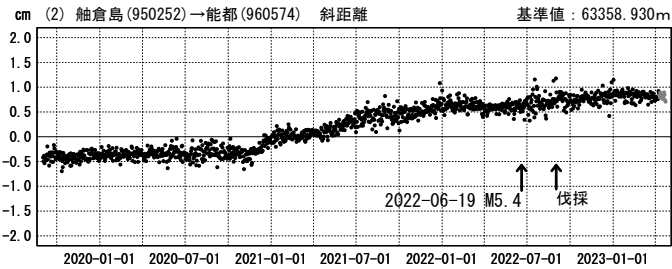
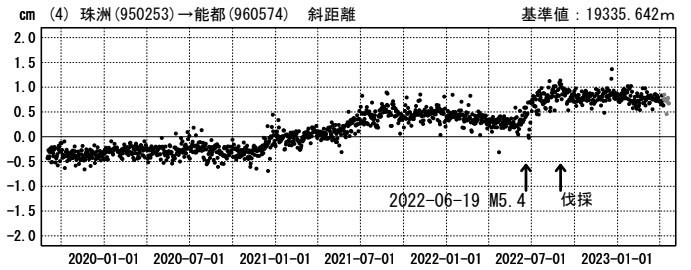
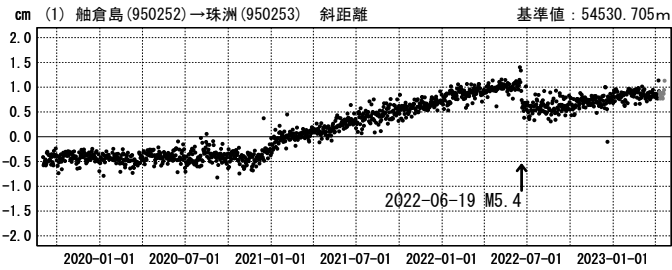
基線図



★ 震央（2020年11月以降 M>4.0）

基線変化グラフ（一次トレンド・年周成分・半年周成分除去後）

期間：2019-09-01～2023-04-22 JST 計算期間：2017-09-01～2020-09-01

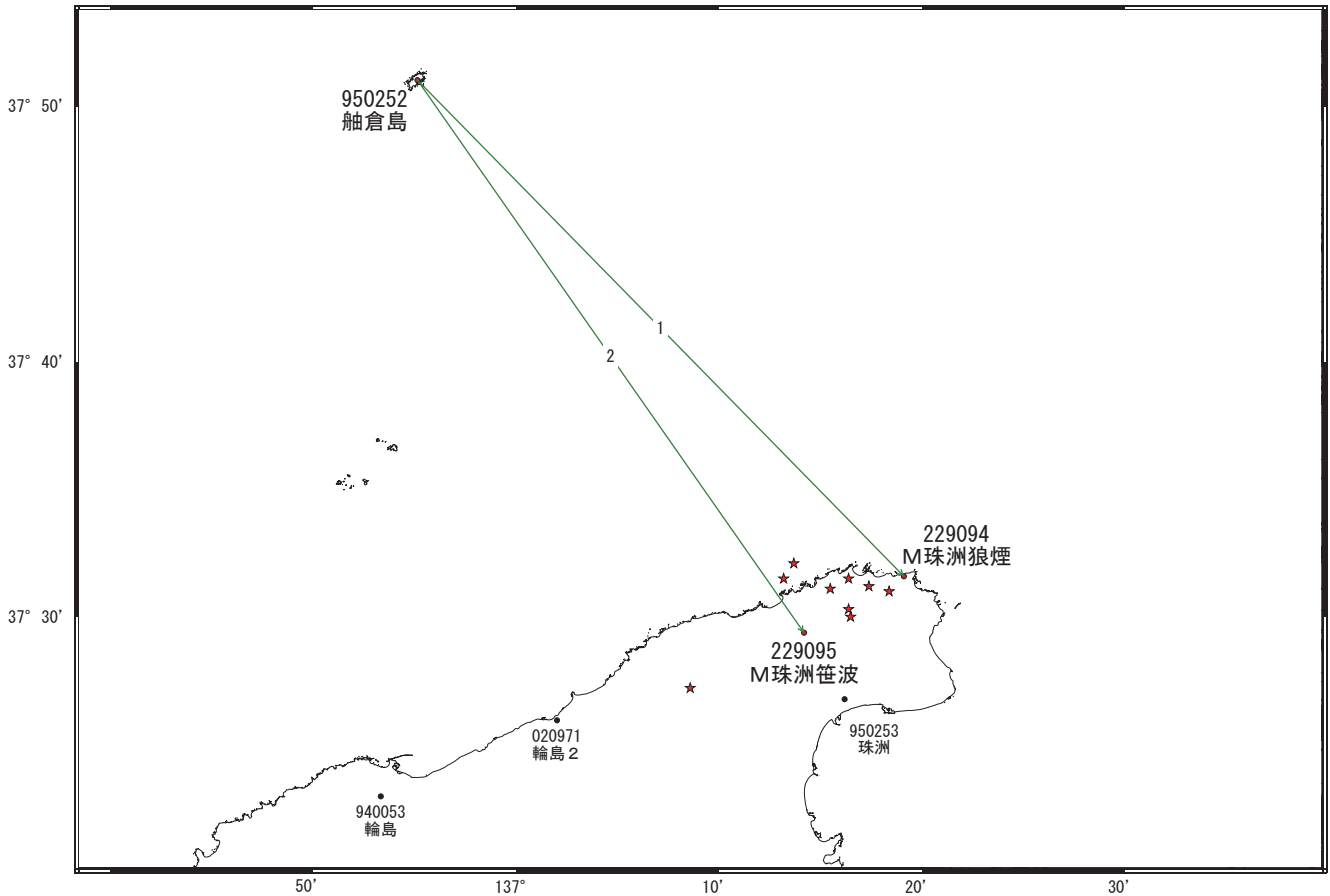


●— [F5:最終解] ●— [R5:速報解]

※電子基準点「珠洲」の位置が、地震（2022-06-19 M5.4）に伴いごくわずかに変化した可能性がある。

石川県能登地方の地殻変動（暫定）

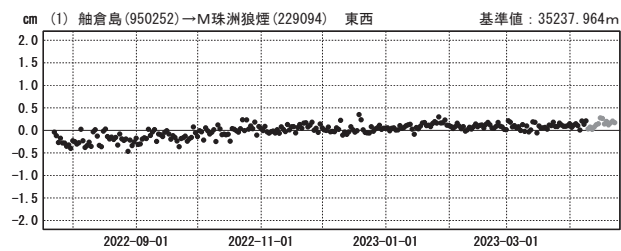
— 可搬型GNSS連続観測装置（REGMOS）による観測結果 —
基線図



★ 震央（2022年8月以降 M>4.0）

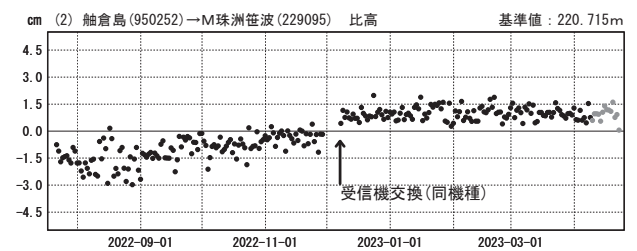
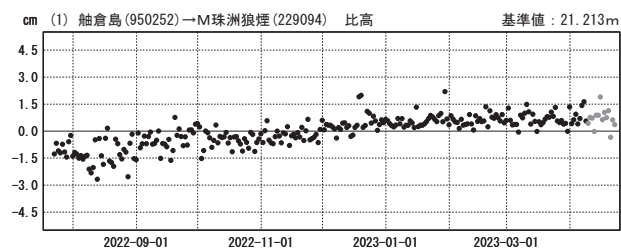
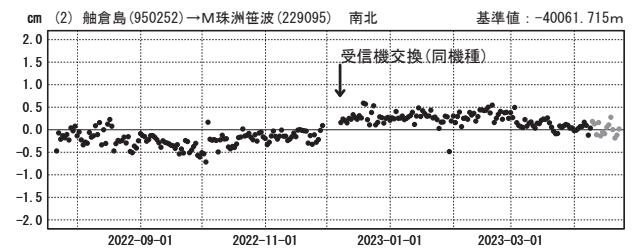
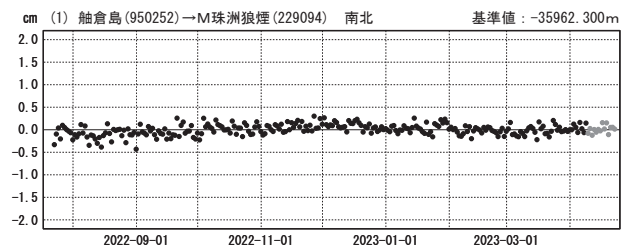
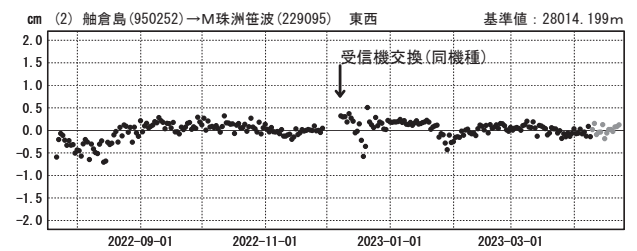
成分変化グラフ

期間：2022-07-20～2023-04-22 JST



成分変化グラフ

期間：2022-07-20～2023-04-22 JST



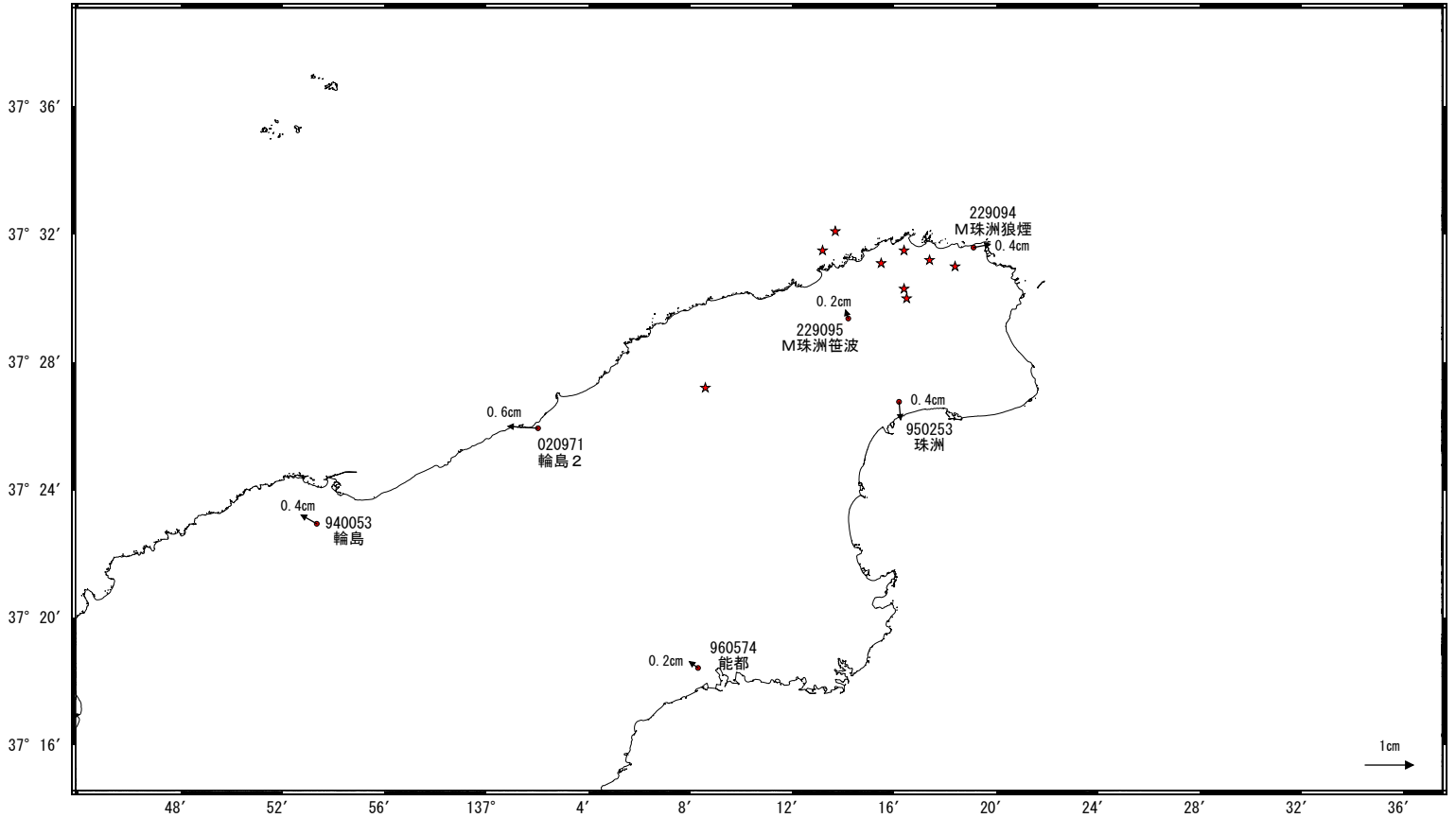
●— [F5:最終解] ●— [R5:速報解]

石川県能登地方の地殻変動（暫定）

— 可搬型GNSS連続観測装置（REGMOS）設置後の地殻変動 —

ベクトル図（水平）

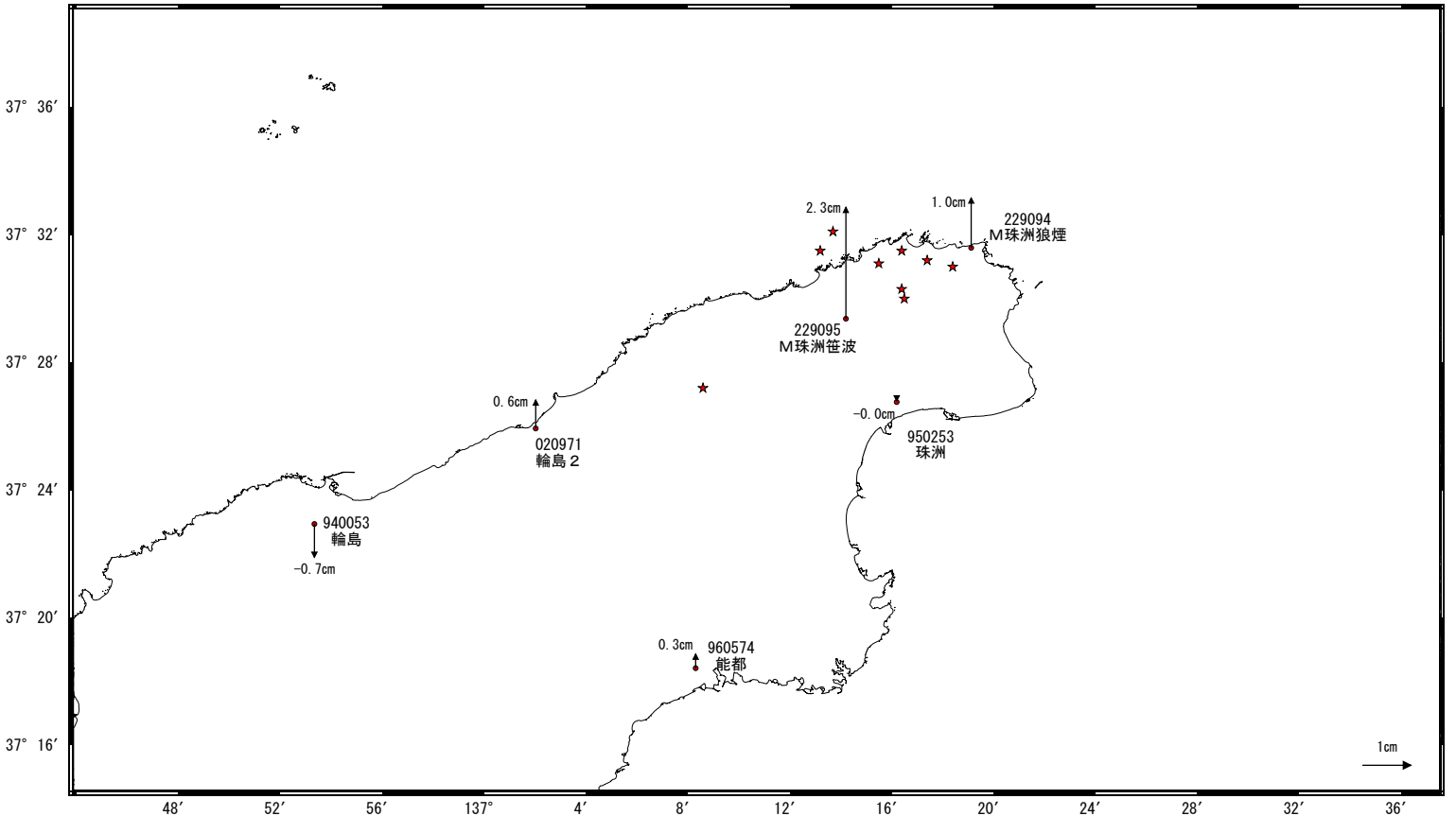
基準期間：2022-09-01～2022-09-07 [F5: 最終解]
 比較期間：2023-04-16～2023-04-22 [R5: 速報解]



☆ 固定局：舩倉島 (950252)

ベクトル図（上下）

基準期間：2022-09-01～2022-09-07 [F5: 最終解]
 比較期間：2023-04-16～2023-04-22 [R5: 速報解]



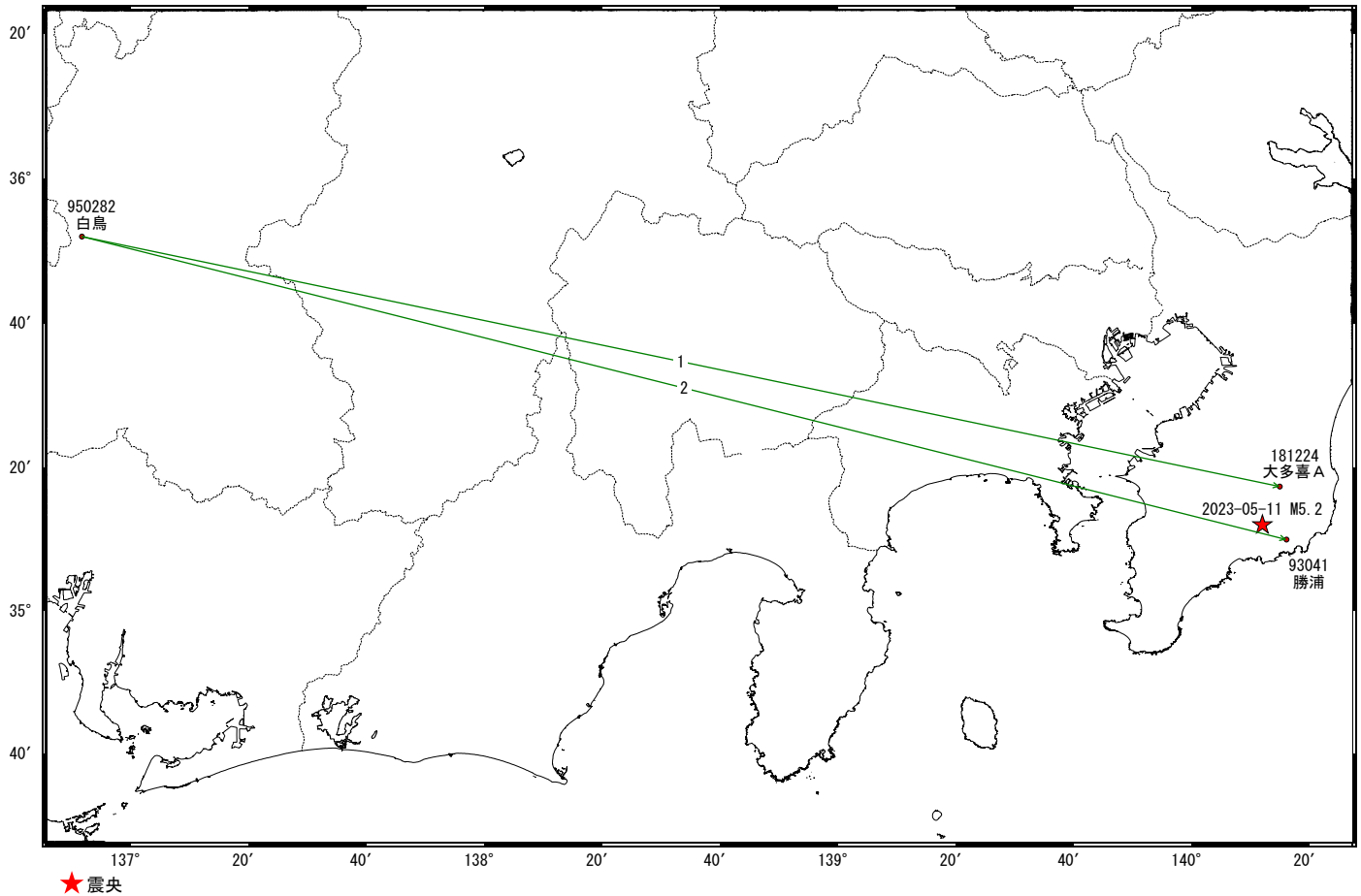
☆ 固定局：舩倉島 (950252)

★ 震央（2022年8月以降 M>4.0）

千葉県南部の地震(5月11日 M5.2)前後の観測データ (暫定)

この地震に伴う顕著な地殻変動は見られない。

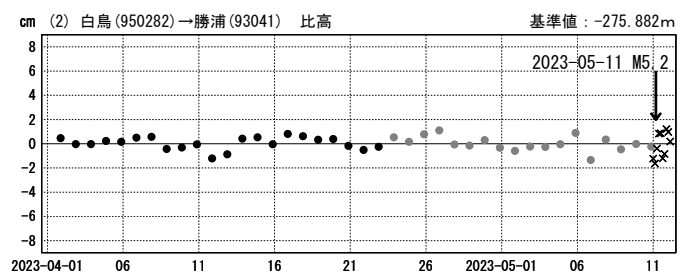
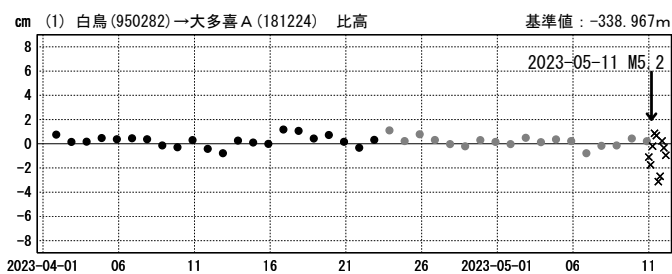
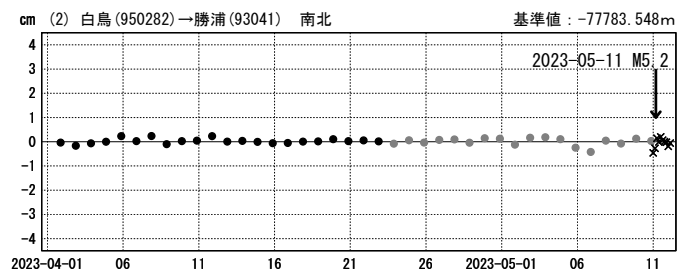
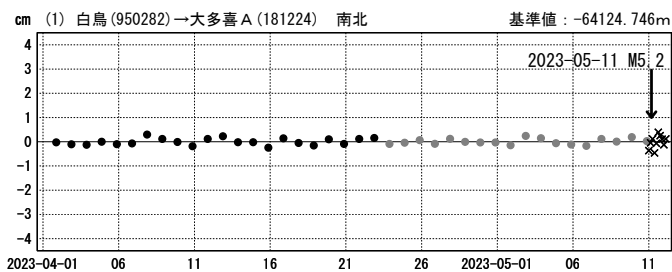
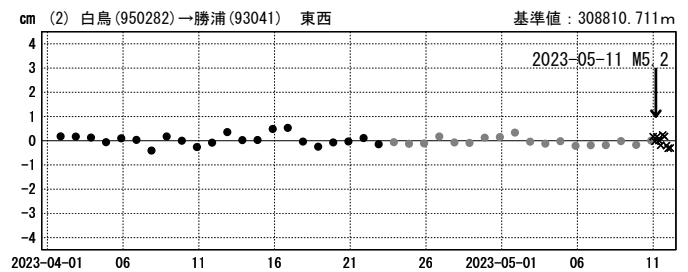
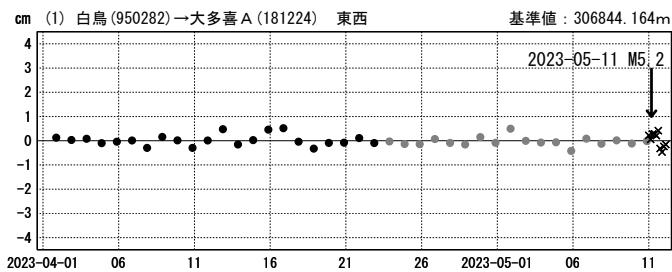
基線図



成分変化グラフ

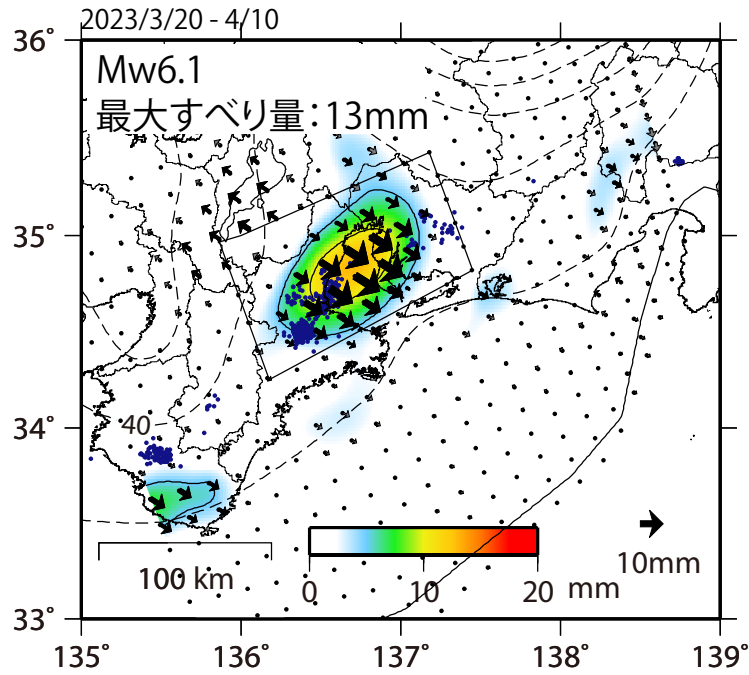
期間: 2023-04-01~2023-05-12 JST

期間: 2023-04-01~2023-05-12 JST



●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解] ×—[Q5:迅速解]

GNSSデータから推定された
東海地方の深部低周波地震(微動)と同期したスロースリップ(暫定)

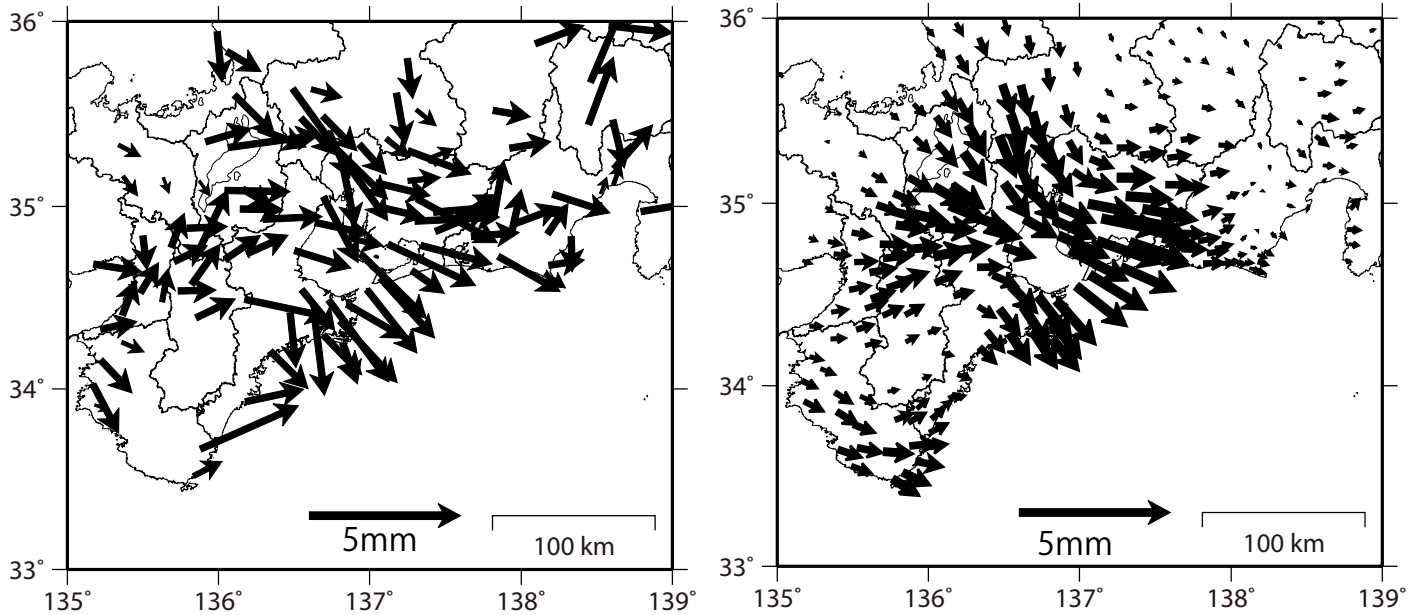


Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

観測

計算

基準期間: 2023/3/1~2023/3/20 [F5: 最終解]
比較期間: 2023/4/10~2023/4/30 [F5: 最終解+速報解]



解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。

また、基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定し、東西、南北のAICを合わせたAICで有意でない観測点は除外している。

解析に使用した観測点の範囲: 概ね北緯33~35.6°、東経135~138.8°

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2023/2/1- 2023/4/16) +R5解(2023/4/17-2023/4/30) *電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周は 2017/1/1-2023/4/30のデータで補正)

モーメント計算範囲: 図の黒枠内側

黒破線: フィリピン海プレートの上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源) (期間:2023/3/20 - 4/10)

コンター間隔: 5mm

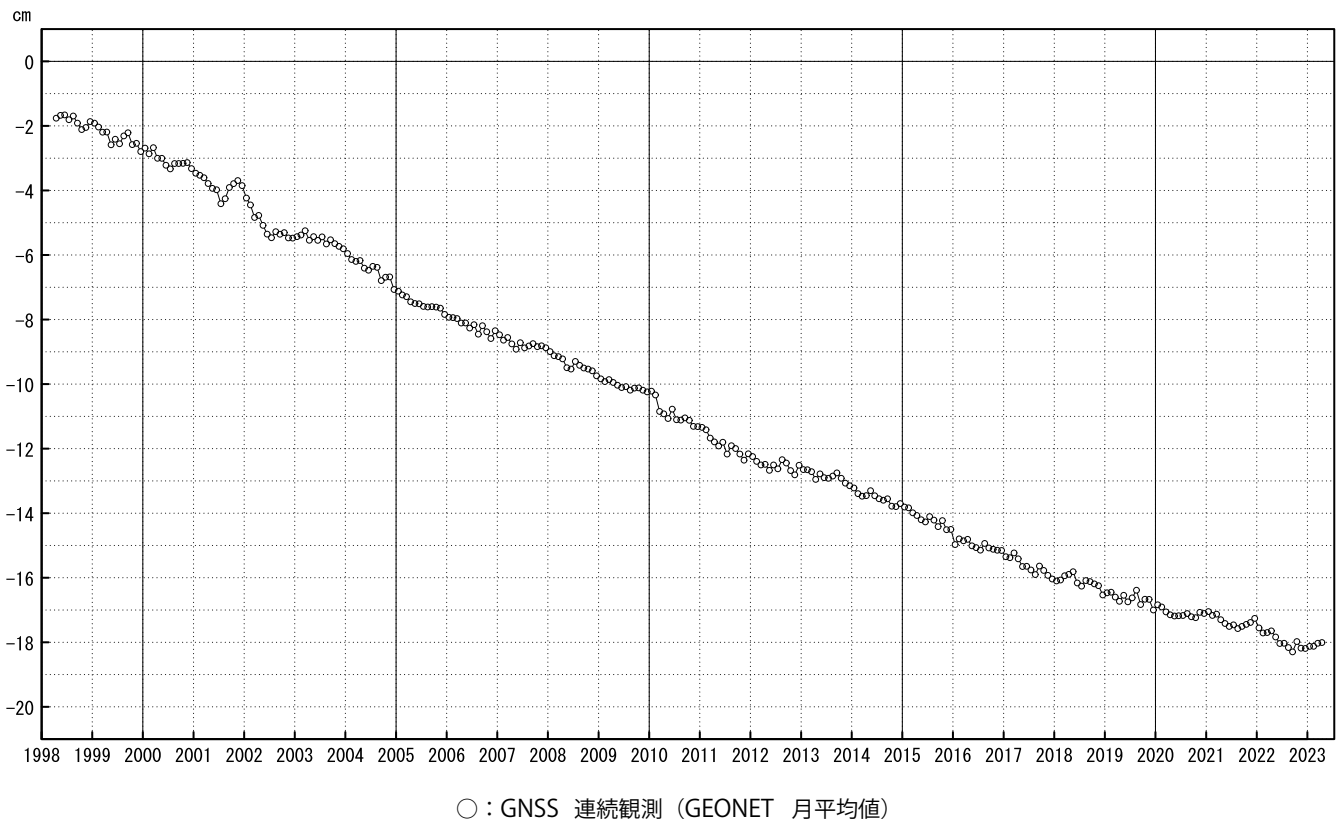
固定局: 三隅

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

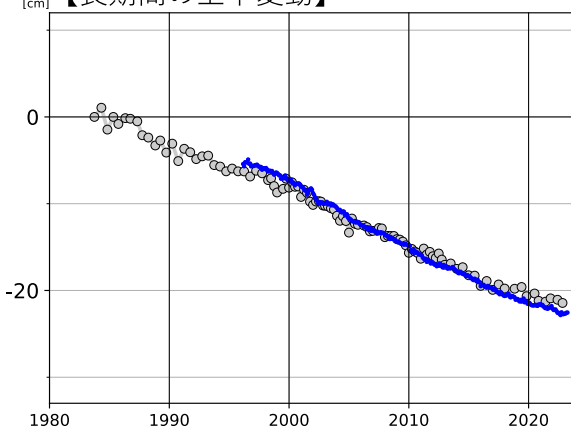
掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



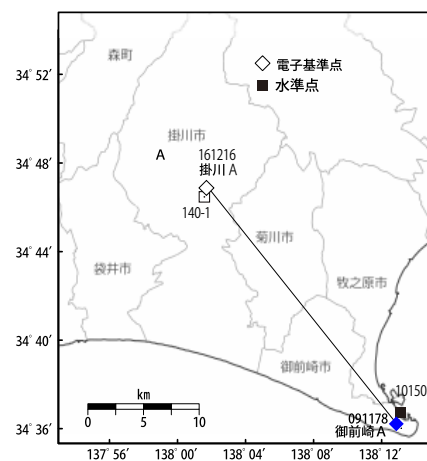
・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5:最終解) から計算した値の月平均値。最新のプロット点は 4/1~4/8 の平均。

- ※ 1 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震に伴う電子基準点「御前崎」の局所的な変動について、地震前後の水準測量で得られた「御前崎」周辺の水準点との比高の差を用いて補正を行った。
- ※ 2 2010 年 3 月 24 日に電子基準点「御前崎」を「御前崎 A」に移転。
- ※ 3 2017 年 1 月 26 日に電子基準点「掛川」を「掛川 A」に移転。

【長期間の上下変動】



「固定局：掛川 A (161216)」

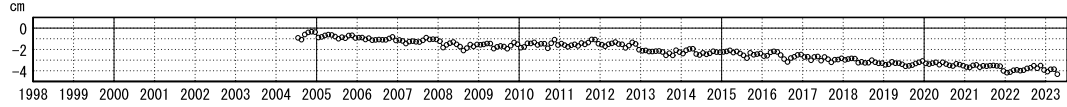


・ 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点「10150」の水準測量結果を示している (固定：140-1)。

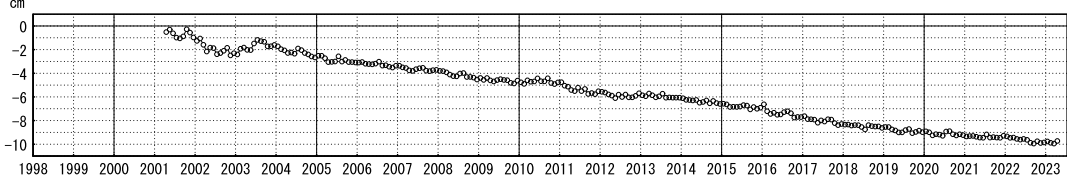
御前崎 電子基準点の上下変動

御前崎周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

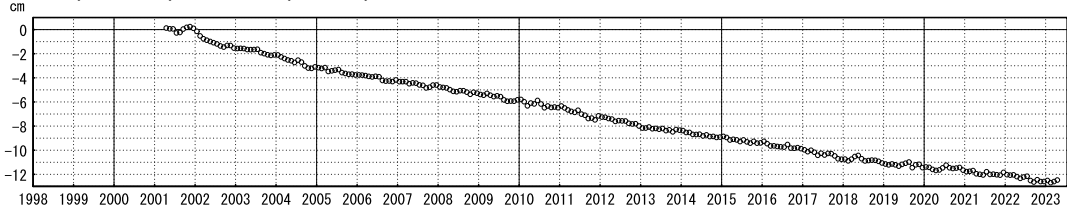
(1) 静岡森 2 (970819) - 掛川 A (161216)



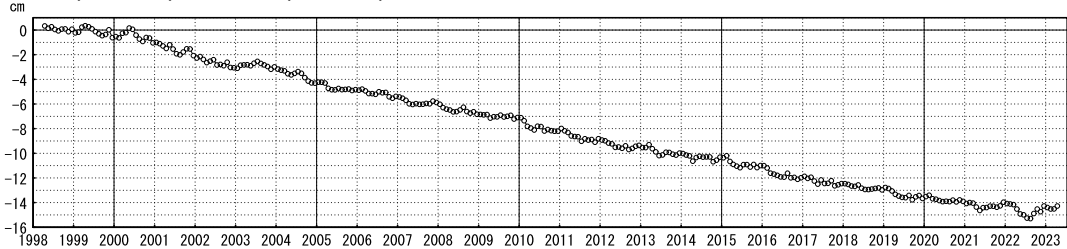
(2) 掛川 A (161216) - 小笠 (960622)



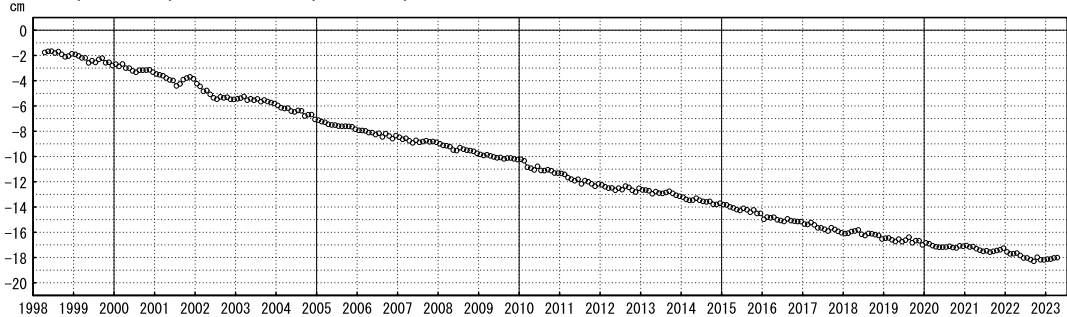
(3) 掛川 A (161216) - 浜岡 1 (93094)



(4) 掛川 A (161216) - 浜岡 2 (960625)

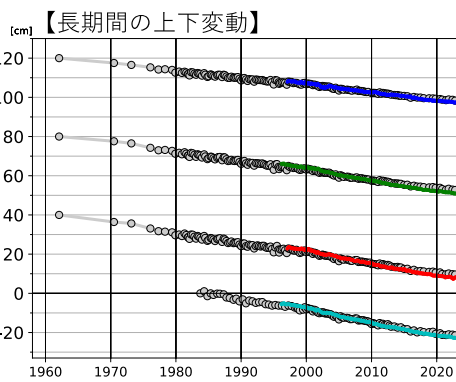


(5) 掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【長期間の上下変動】



「固定局：掛川 A (161216)」



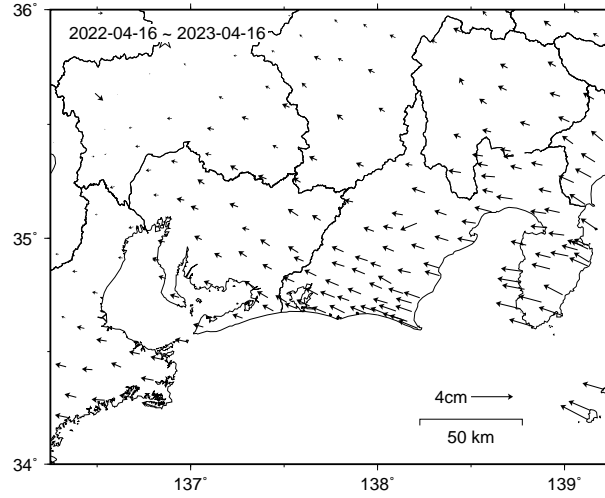
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5：最終解) から計算した値の月平均値。最新のプロット点は 4/1~4/8 の平均。
- ・ 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- ・ 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点「2599」「2597」「2595」「10150」の水準測量結果を示している (固定：140-1)。
- ※ 1 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震に伴う電子基準点「御前崎」の局所的な変動について、地震前後の水準測量で得られた「御前崎」周辺の水準点との比高の差を用いて補正を行った。
- ※ 2 2010 年 3 月 24 日に電子基準点「御前崎」を「御前崎 A」に移転。
- ※ 3 2017 年 1 月 26 日に電子基準点「掛川」を「掛川 A」に移転。

東海地方の水平地殻変動【固定局：白鳥】

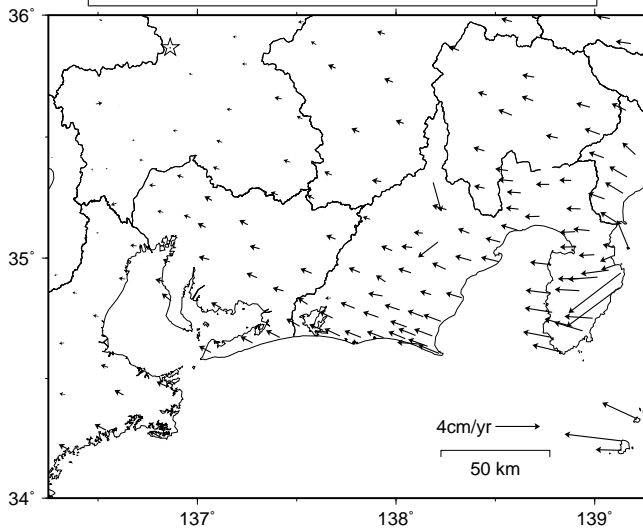
(2022年04月～2023年04月)

基準期間：2022-04-10～2022-04-22 [F5：最終解]

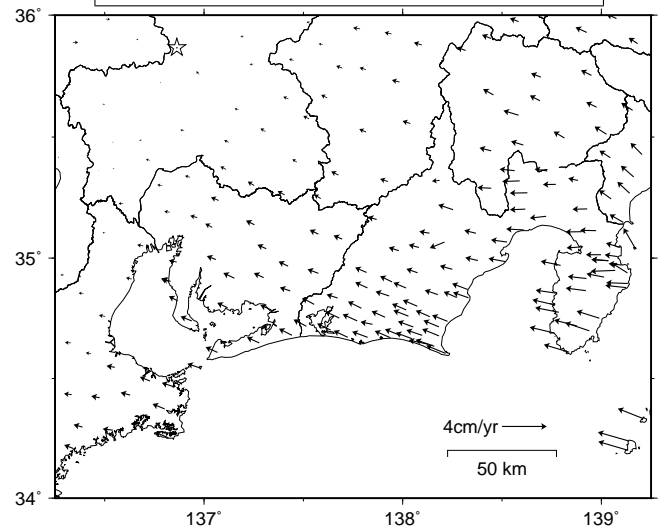
比較期間：2023-04-10～2023-04-22 [R5：速報解]



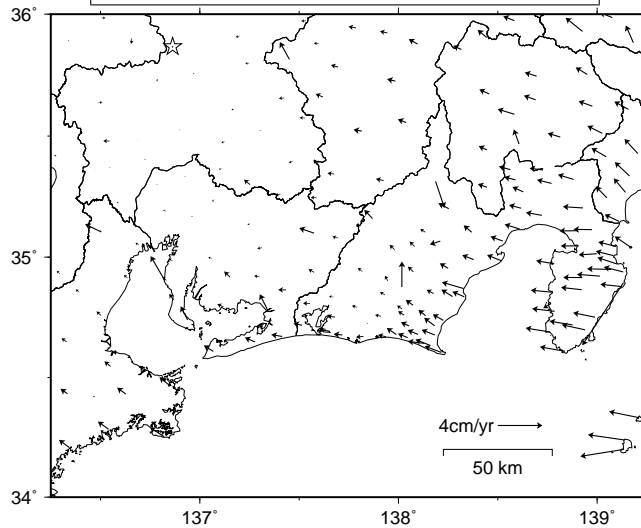
スロースリップ発生前の水平地殻変動速度
(1997年1月～2000年1月)



スロースリップ終息後の水平地殻変動速度
(2008年1月～2011年1月)

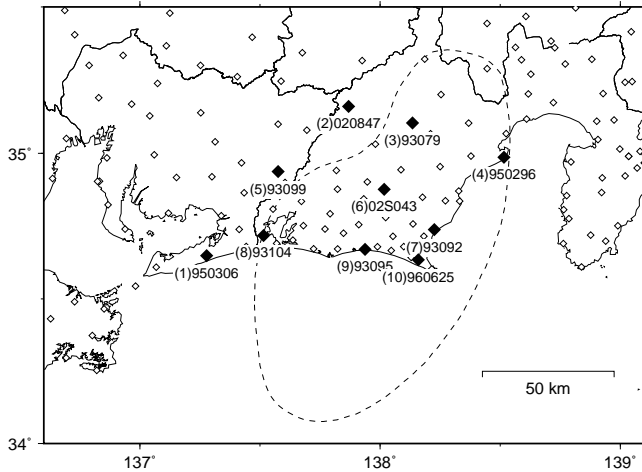


スロースリップ進行期の水平地殻変動速度
(2001年1月～2004年1月)

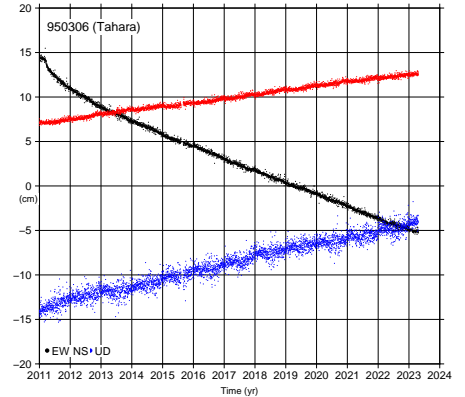


東海地方の地殻変動時系列【固定局：白鳥】

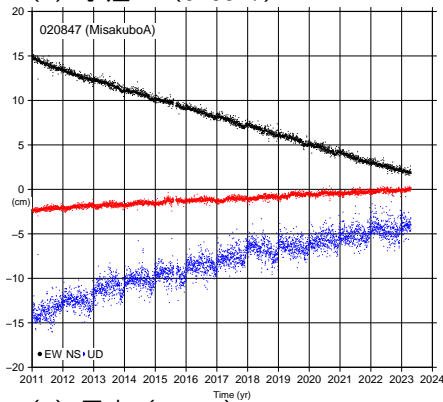
速報解含む 2011-01-01 ~ 2023-04-22



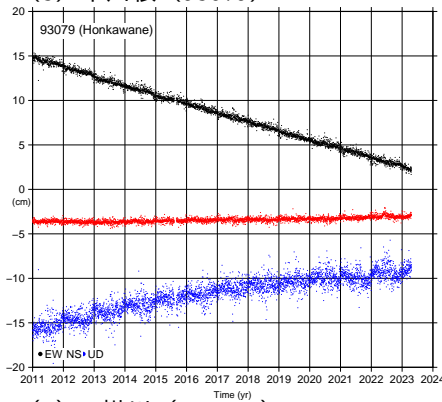
(1) 田原 (950306)



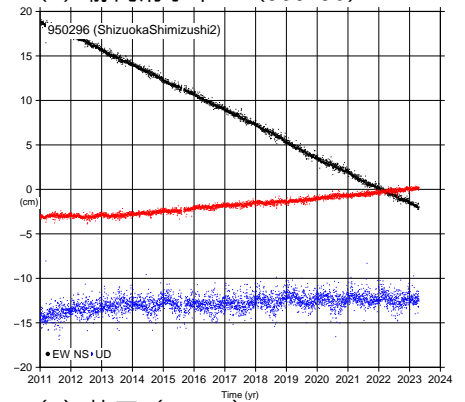
(2) 水窪 A (020847)



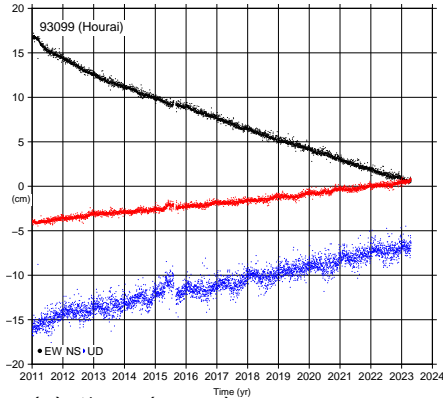
(3) 本川根 (93079)



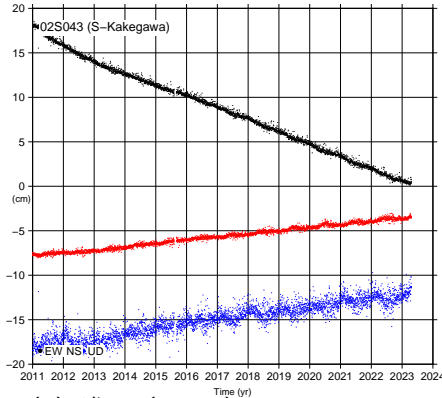
(4) 静岡清水市2 (950296)



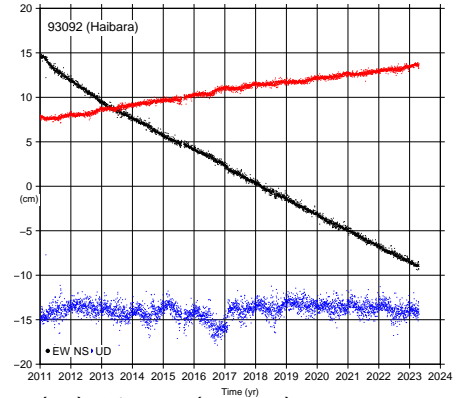
(5) 鳳来 (93099)



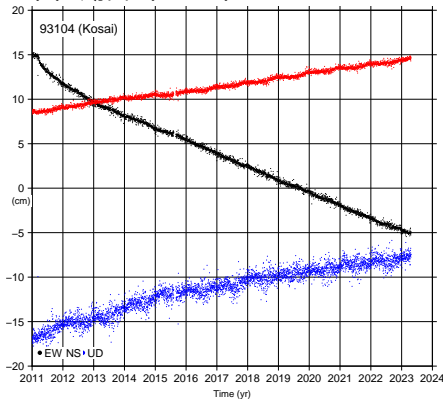
(6) S掛川 (02S043)



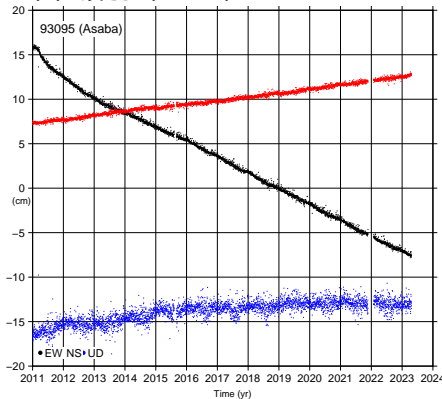
(7) 榛原 (93092)



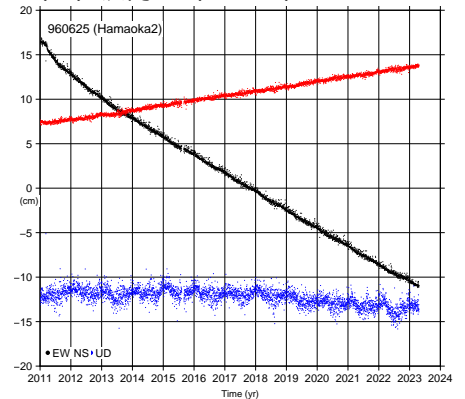
(8) 湖西 (93104)



(9) 浅羽 (93095)



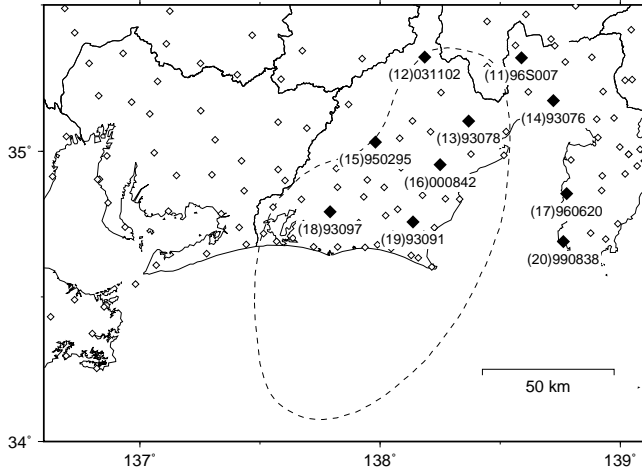
(10) 浜岡2 (960625)



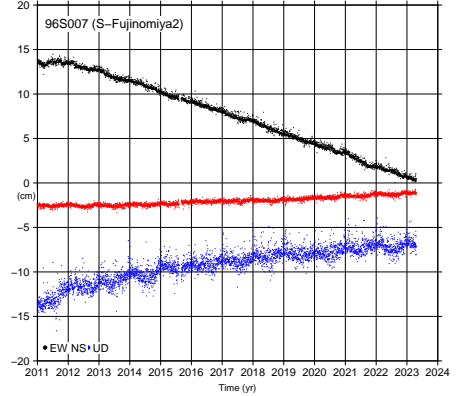
・ GEONET による日々の座標値 (F5 解、R5 解) を使用している。
 ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いている。

東海地方の地殻変動時系列 2 【固定局：白鳥】

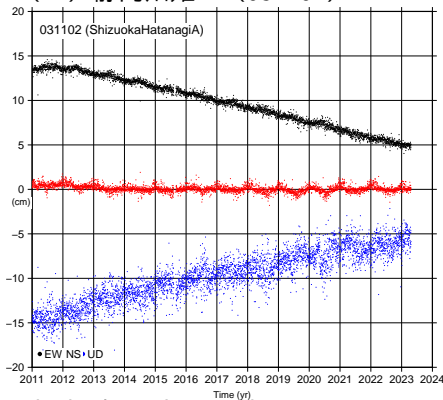
速報解合む 2011-01-01 ~ 2023-04-22



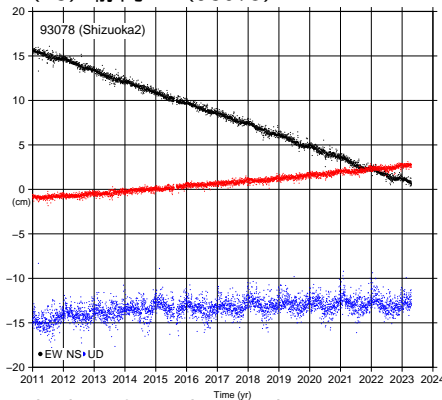
(11) S富士宮2 (96S007)



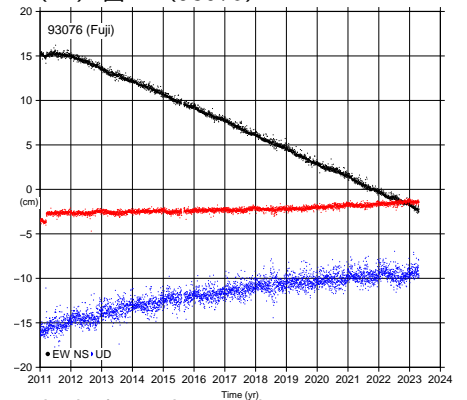
(12) 静岡畑薙 A (031102)



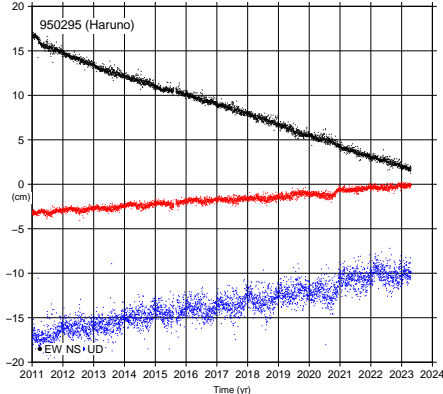
(13) 静岡2 (93078)



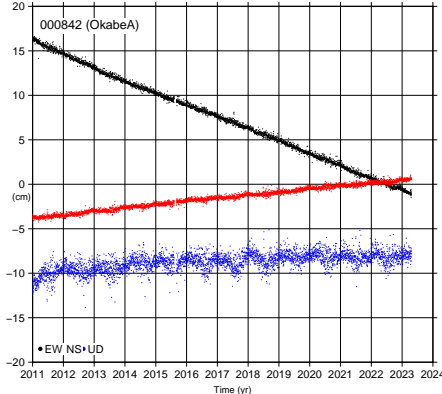
(14) 富士 (93076)



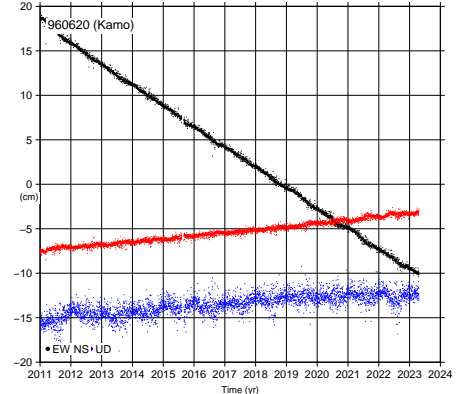
(15) 春野 (950295)



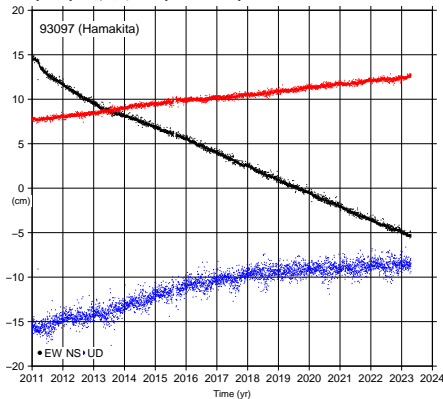
(16) 岡部 A (000842)



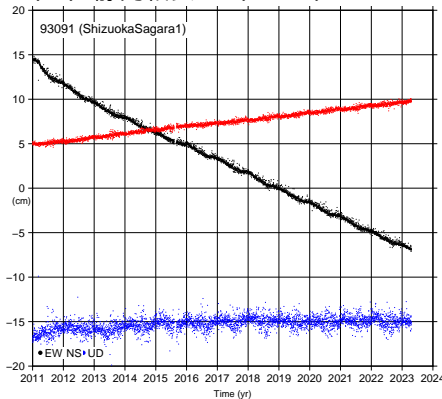
(17) 賀茂 (960620)



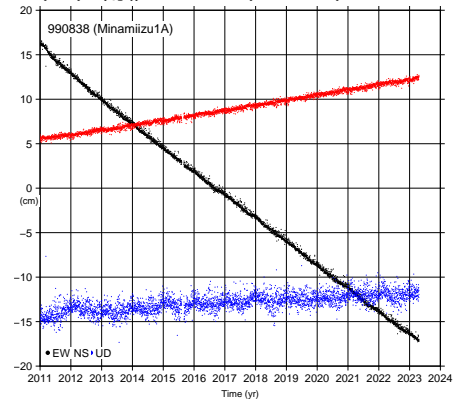
(18) 浜北 (93097)



(19) 静岡相良1 (93091)



(20) 南伊豆1 A (990838)

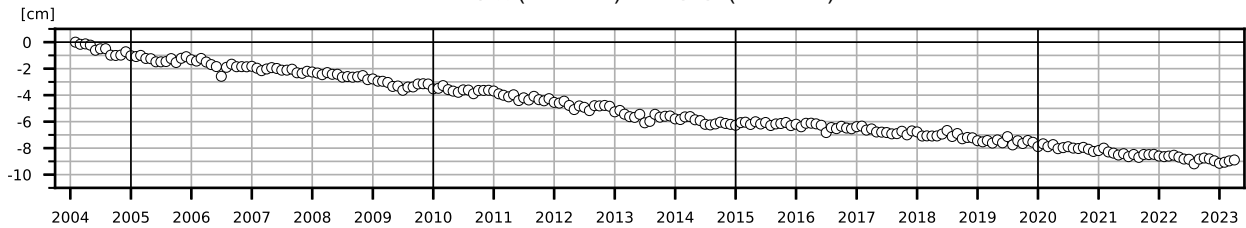


- ・ GEONET による日々の座標値 (F5 解、R5 解) を使用している。
- ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いている。

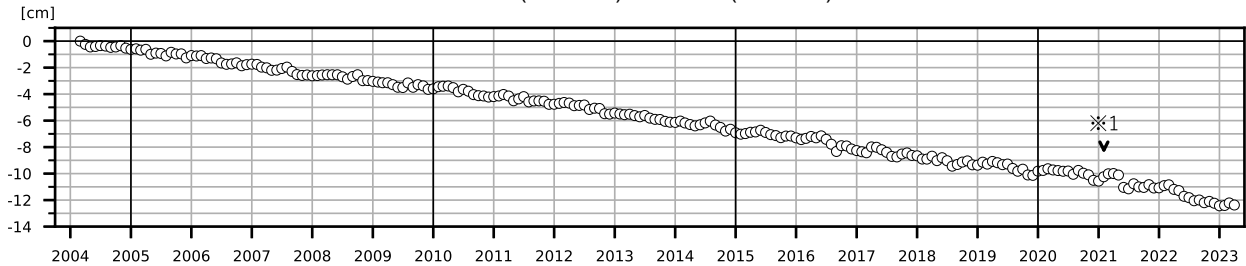
紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

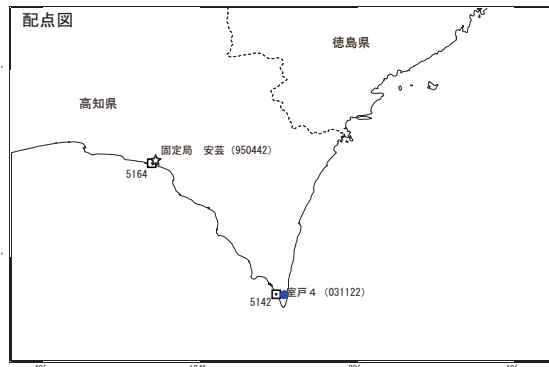
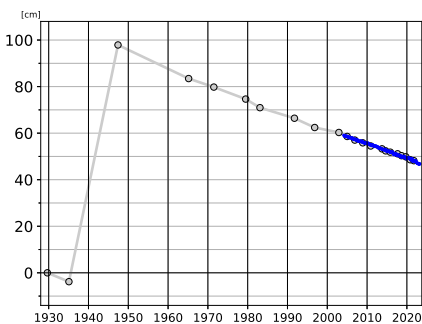
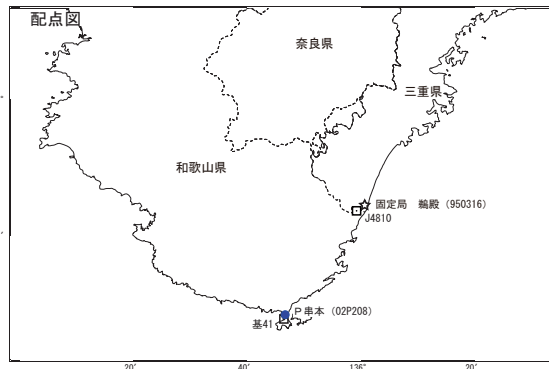
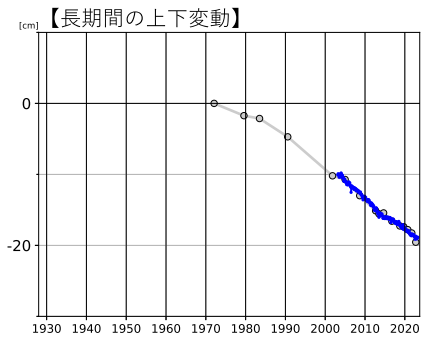
鵜殿 (950316) - P串本 (02P208)



安芸 (950442) - 室戸 4 (031122)



○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)



- GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5：最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点：4/1～4/8 の平均値)
- 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している (固定：J4810、5164)。

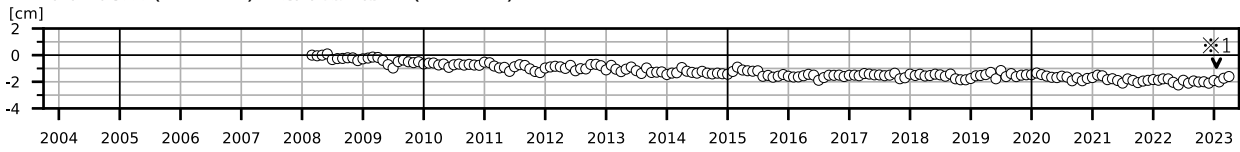
※ 1 2021 年 2 月 2 日に電子基準点「安芸」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。

国土地理院

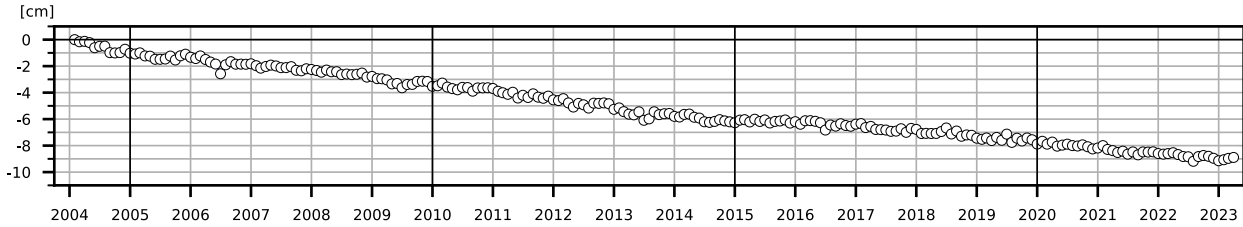
紀伊半島 電子基準点の上下変動（1）

潮岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

(1) 鵜殿 (950316) - 那智勝浦 3 (071155)

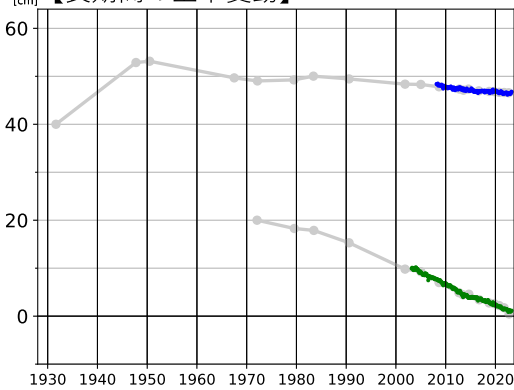


(2) 鵜殿 (950316) - P串本 (02P208)



○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【長期間の上下変動】



「固定局：鵜殿 (950316)」

- GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5：最終解) から計算した値の月平均値である。
(最新のプロット点：4/1~4/8 の平均値)
- 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している (固定：J4810)。

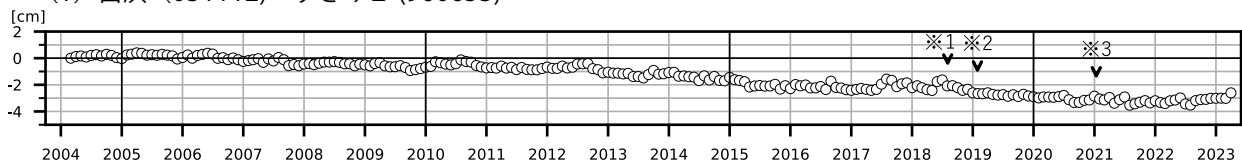
※ 1 2023 年 1 月 16 日に電子基準点「那智勝浦 3」のアンテナ交換及びレドーム交換を実施した。

国土地理院

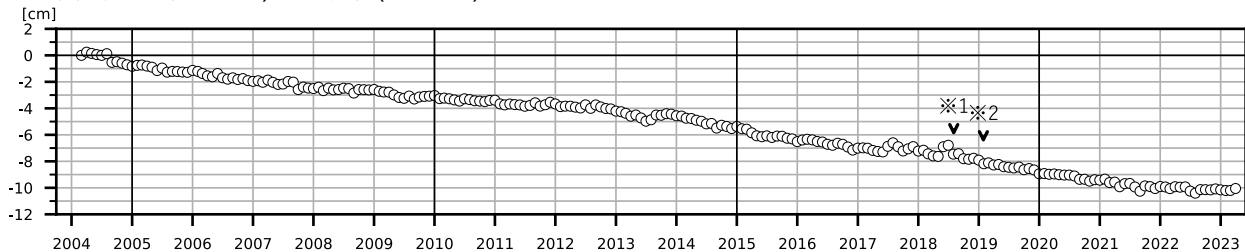
紀伊半島 電子基準点の上下変動（2）

潮岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

(1) 白浜 (031112) - すさみ2 (960653)

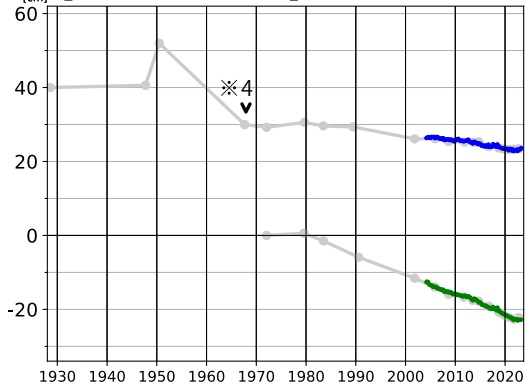


(2) 白浜 (031112) - P串本 (02P208)



○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【長期間の上下変動】



「固定局：白浜 (031112)」

- GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5：最終解) から計算した値の月平均値である。
(最新のプロット点：4/1~4/8の平均値)
- 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している (固定：9190)。

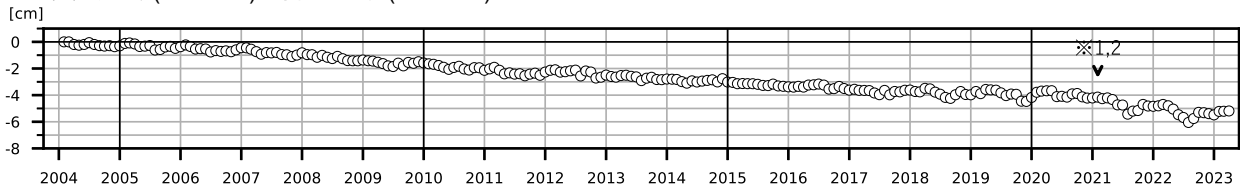
- ※ 1 2018年8月3日に電子基準点「白浜」周辺の樹木を伐採した。
- ※ 2 2019年1月29日に電子基準点「白浜」周辺の樹木を伐採した。
- ※ 3 2021年1月12日に電子基準点「すさみ2」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。
- ※ 4 1966年11月に一等水準点「9190」を再設した。

国土地理院

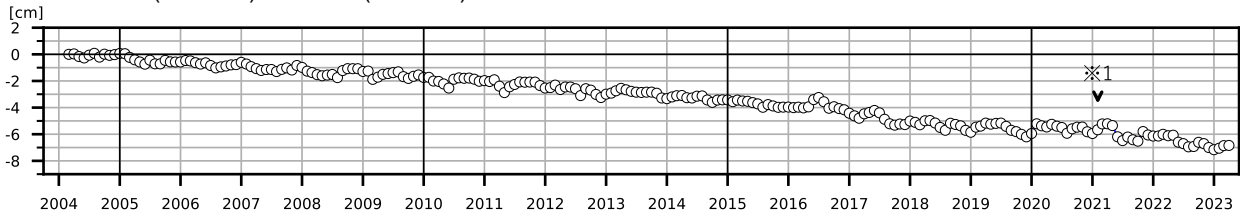
室戸岬周辺 電子基準点の上下変動 (1)

室戸岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

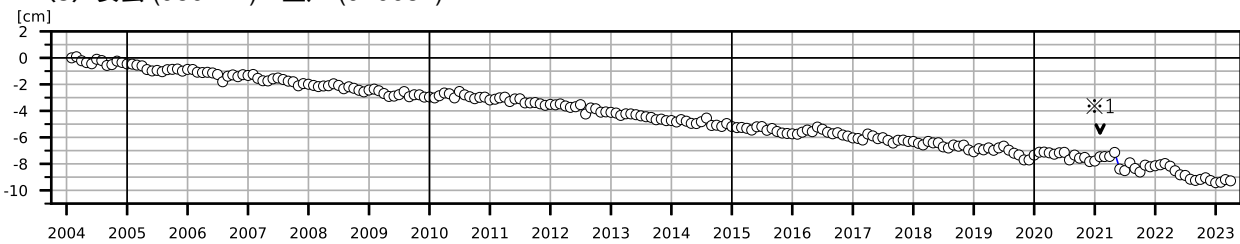
(1) 安芸 (950442) - 高知田野 (950444)



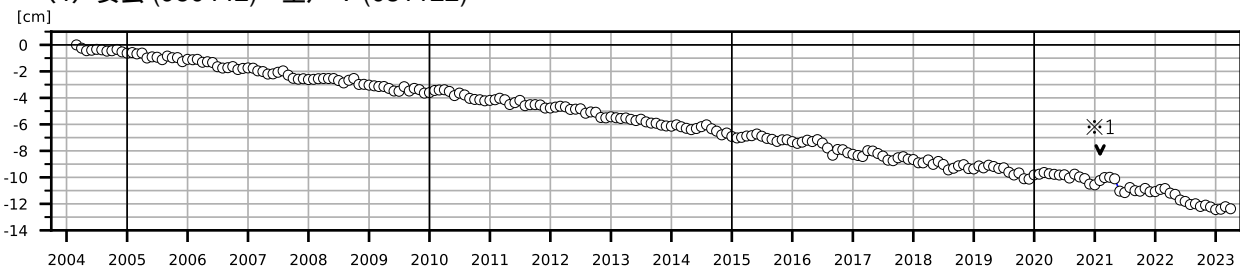
(2) 安芸 (950442) - 室戸3 (031121)



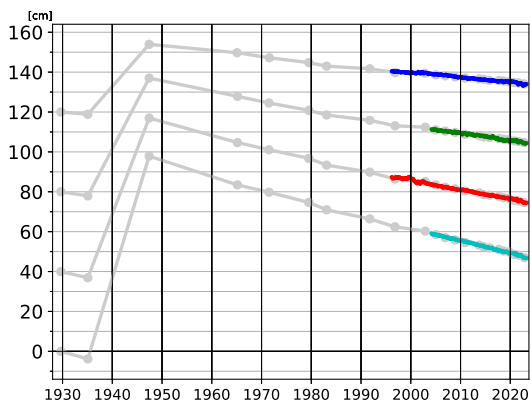
(3) 安芸 (950442) - 室戸 (940082)



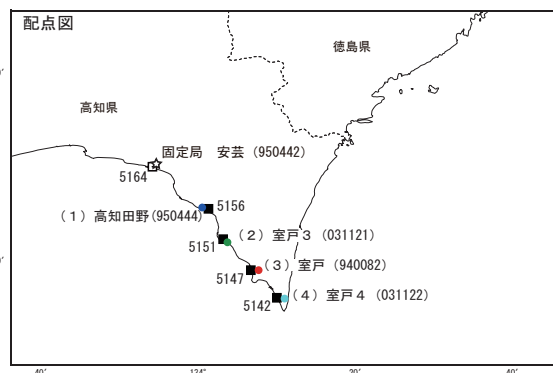
(4) 安芸 (950442) - 室戸4 (031122)



○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)



「固定局：安芸 (950442)」



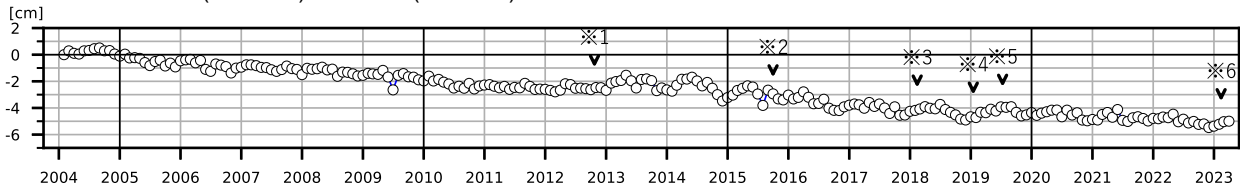
- GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5：最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点：4/1~4/8 の平均値)
- 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している (固定：5164)。

- ※ 1 2021 年 2 月 2 日に電子基準点「安芸」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。
- ※ 2 2021 年 2 月 5 日に電子基準点「高知田野」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。

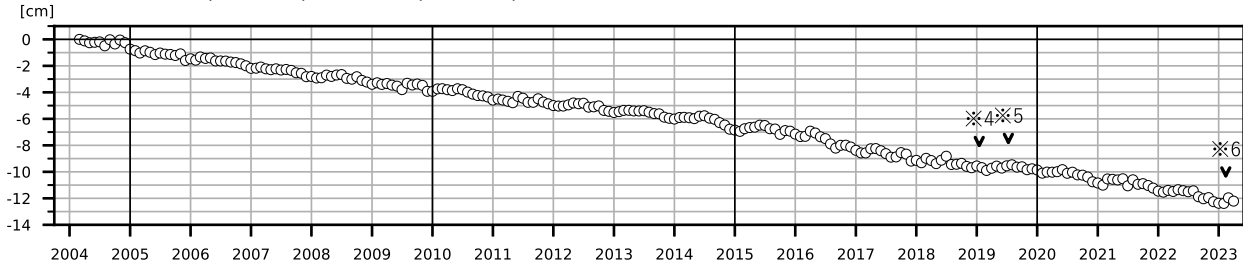
室戸岬周辺 電子基準点の上下変動（２）

室戸岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

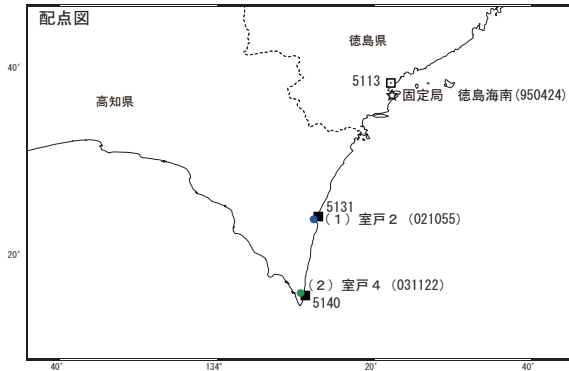
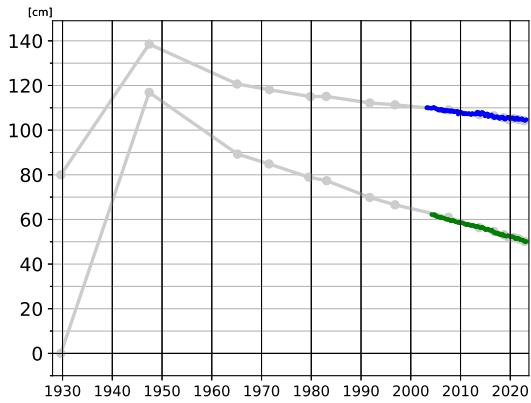
(1) 徳島海南 (950424) - 室戸 2 (021055)



(2) 徳島海南 (950424) - 室戸 4 (031122)



○：GNSS 連続観測（GEONET 月平均値）



「固定局：徳島海南 (950424)」

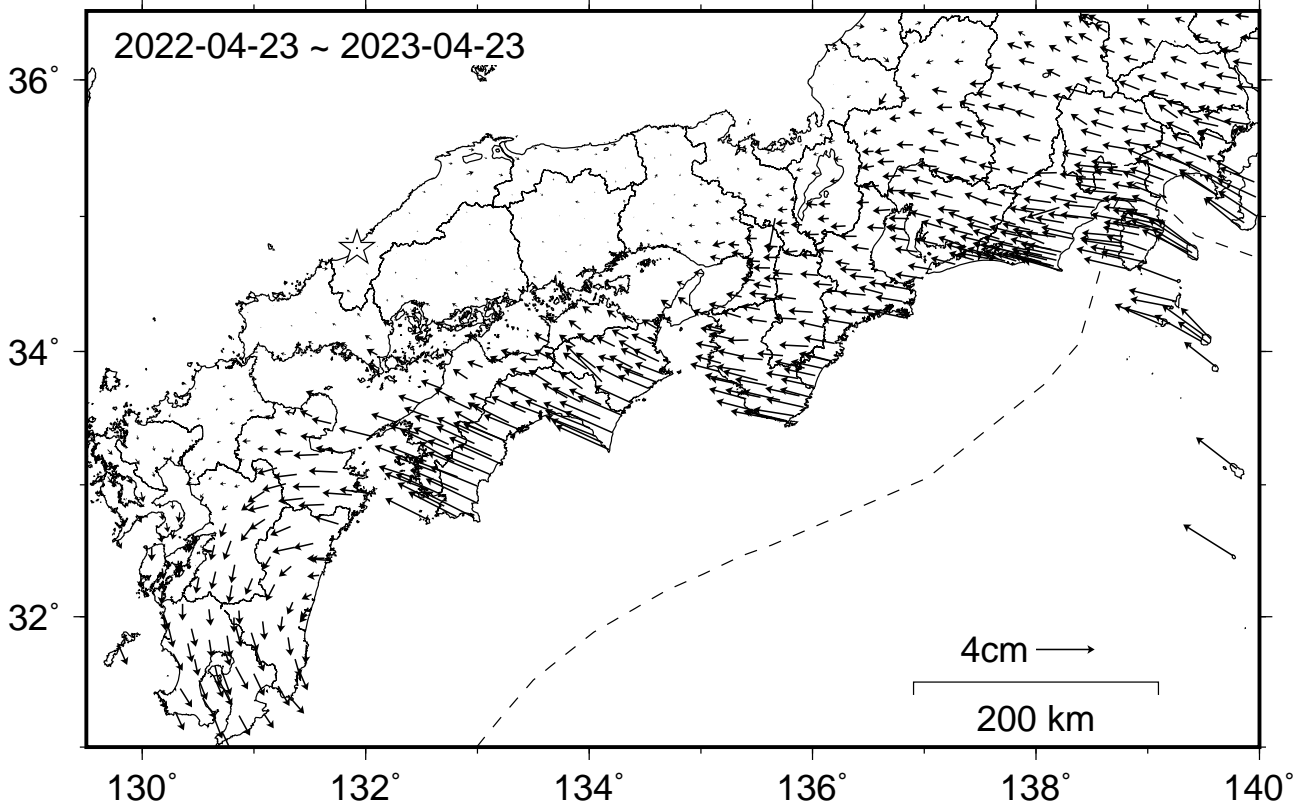
- GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値（F5：最終解）から計算した値の月平均値である。（最新のプロット点：4/1～4/8 の平均値）
- 各プロットの色は配色図の電子基準点の色と対応する。
- 灰色のプロットは電子基準点の最寄りの水準点の水準測量結果を示している（固定：5113）。

- ※ 1 2012 年 10 月 23 日に電子基準点「室戸 2」のアンテナ及び受信機交換を実施した。
- ※ 2 2015 年 10 月 1 日に電子基準点「室戸 2」の受信機交換を実施した。
- ※ 3 2018 年 2 月 13 日に電子基準点「室戸 2」のアンテナ及び受信機交換を実施した。
- ※ 4 2019 年 1 月 16 日に電子基準点「徳島海南」の受信機交換を実施した。
- ※ 5 2019 年 7 月 11 日に電子基準点「徳島海南」のアンテナ交換を実施した。
- ※ 6 2023 年 2 月 13 日に電子基準点「徳島海南」のアンテナ交換を実施した。

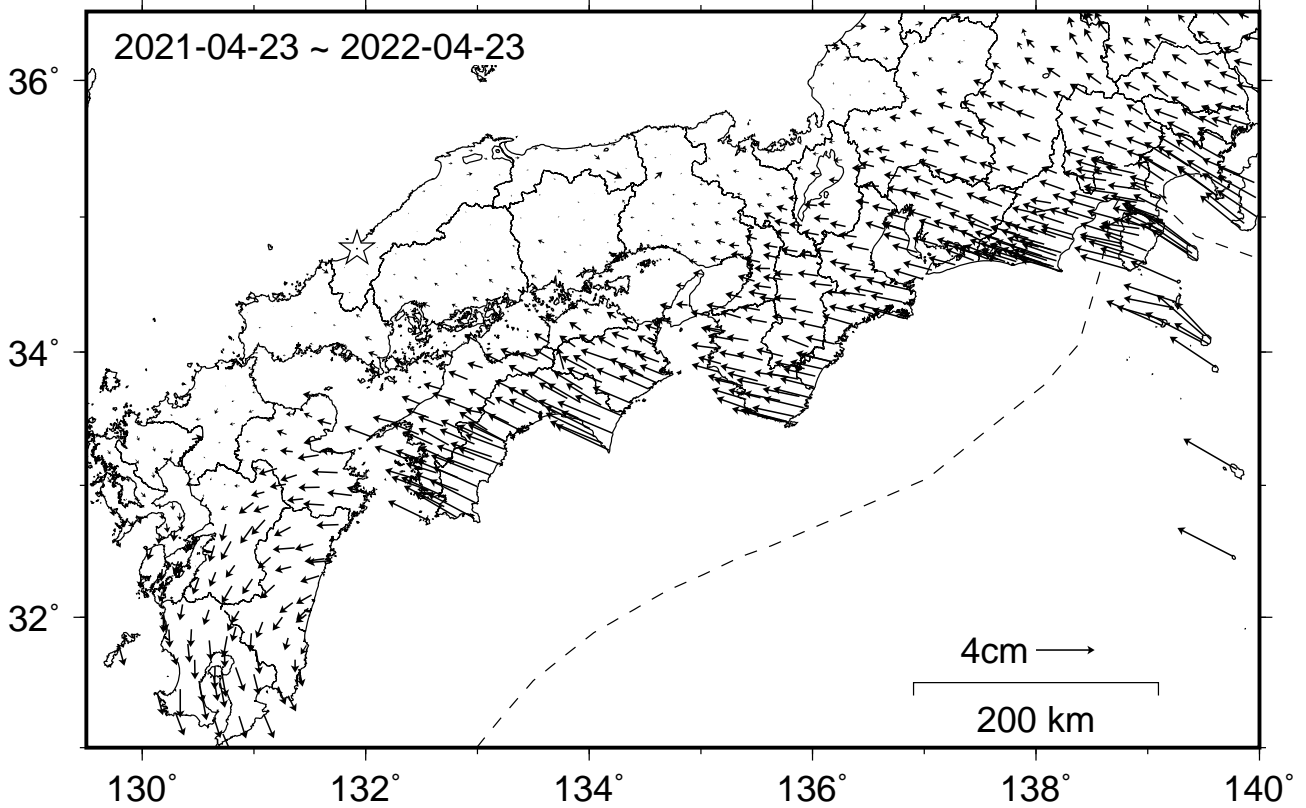
国土地理院

南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



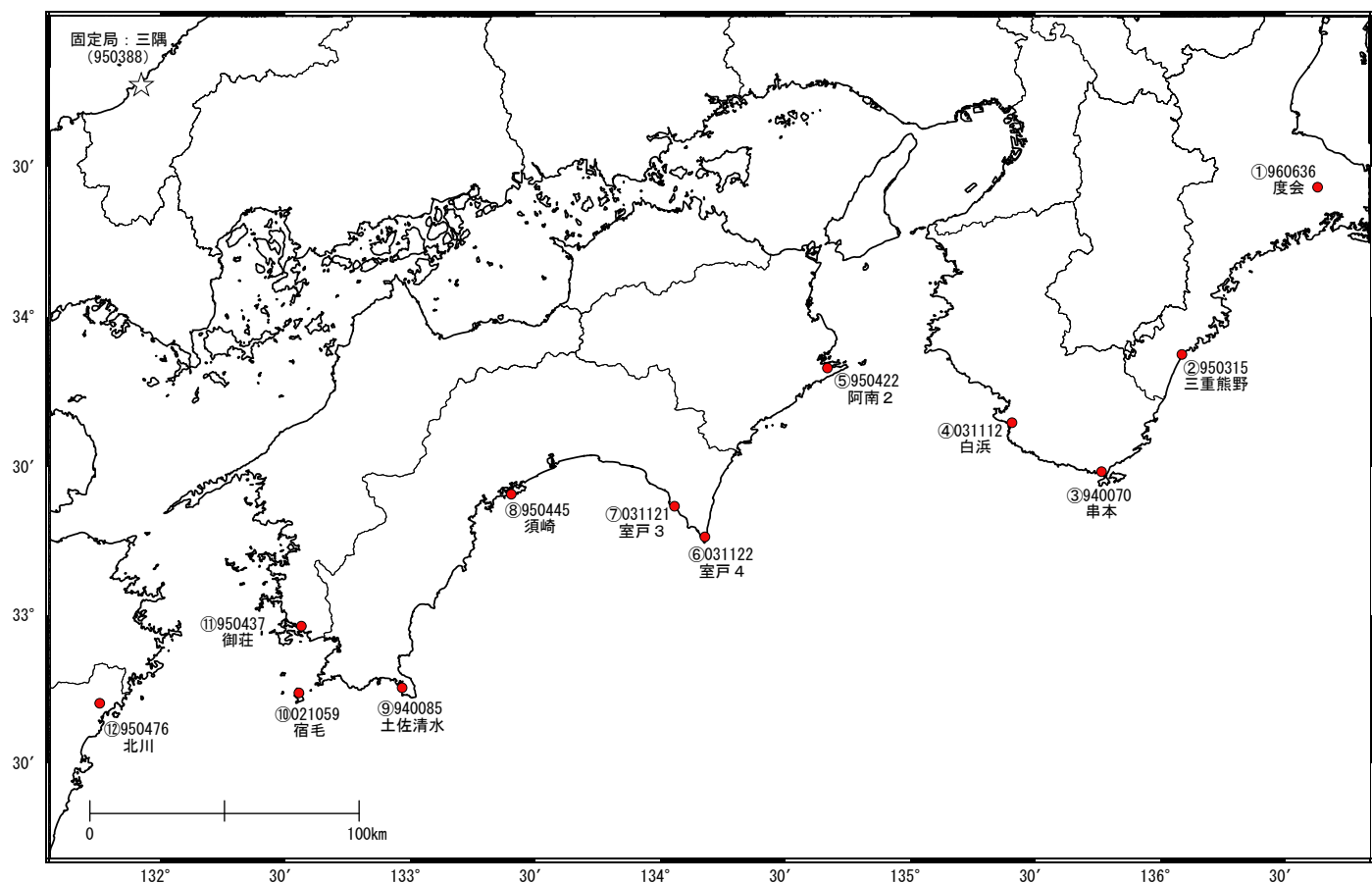
【1年前の1年間】



・各日付 ± 6日の計13日間の変動量の中央値をとり、その差から1年間の変動量を表示している。

南海トラフ周辺 G N S S 連続観測時系列 (1)

配点図



各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
960636	度会	2010-02-09	受信機交換・レドーム開閉
		2012-11-07	アンテナ更新
		2014-08-12	アンテナ交換・受信機交換
		2017-11-27	受信機交換
		2022-08-02	受信機交換
950315	三重熊野	2011-01-14	受信機交換・レドーム開閉
		2012-10-31	アンテナ更新
		2021-01-17	受信機交換
		2023-01-17	アンテナ更新
940070	串本	2012-11-14	アンテナ更新・受信機交換
		2017-01-22	アンテナ交換
		2021-01-09	アンテナ更新・レドーム交換
		2021-12-01	受信機交換
		2022-07-04	アンテナ交換・受信機交換
031112	白浜	2010-01-22	受信機交換
		2012-11-13	アンテナ更新
		2018-01-10	受信機交換
		2018-08-03	周辺伐採
		2019-01-29	周辺伐採
950422	阿南2	2012-12-04	アンテナ更新・受信機交換
		2015-11-17	アンテナ交換
		2018-04-02	アンテナ交換・受信機交換
		2019-12-04	受信機交換
		2020-12-23	周辺伐採
		2021-01-10	アンテナ更新・レドーム交換
		2021-02-06	周辺伐採

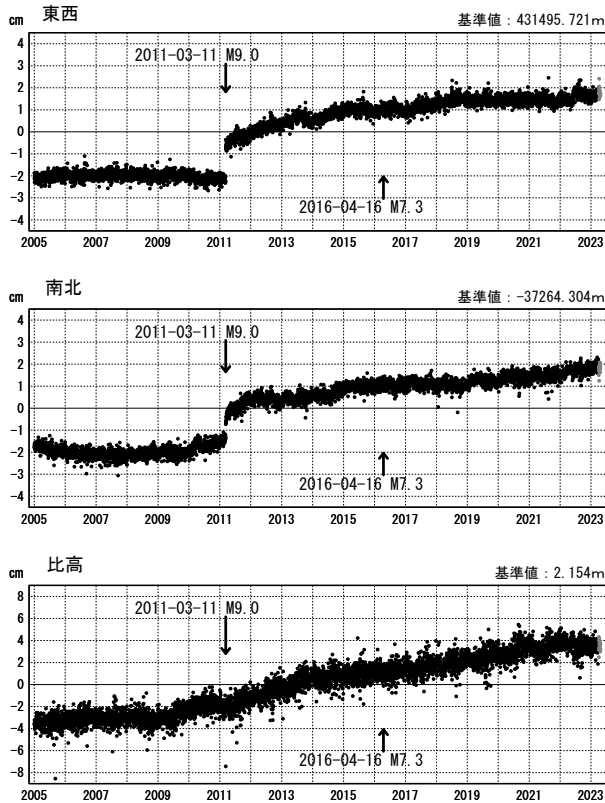
点番号	点名	日付	保守内容
031122	室戸4	2010-01-26	受信機交換
		2012-10-22	アンテナ更新
		2017-05-23	受信機交換
		2018-01-30	受信機交換
031121	室戸3	2010-01-25	受信機交換
		2012-10-22	アンテナ更新
		2017-01-18	受信機交換
950445	須崎	2012-10-11	アンテナ更新・受信機交換
		2017-06-23	アンテナ交換
		2019-11-28	受信機交換
940085	土佐清水	2012-11-15	アンテナ更新・受信機交換
		2019-11-26	受信機交換
021059	宿毛	2012-11-16	アンテナ更新・受信機交換
		2015-11-19	アンテナ交換
		2021-12-11	受信機交換
950437	御荘	2008-01-28	周辺伐採
		2011-10-06	周辺伐採
		2012-12-05	アンテナ更新・受信機交換
		2015-10-05	周辺伐採
		2016-07-19	アンテナ交換
		2021-12-10	受信機交換
		2022-07-14	受信機交換
950476	北川	2023-02-08	アンテナ更新
		2012-11-22	アンテナ更新・受信機交換
		2014-12-18	アンテナ交換
		2019-11-28	受信機交換
950388	三隅	2012-10-29	アンテナ更新・受信機交換
		2014-10-01	周辺伐採
		2019-11-13	受信機交換

南海トラフ周辺 GNS S 連続観測時系列 (2)

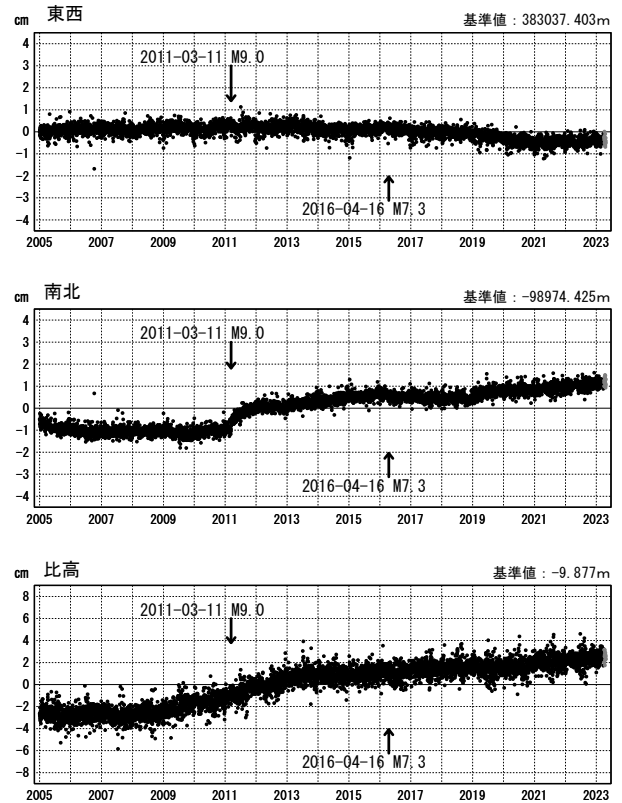
成分変化グラフ (1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後)

期間: 2005-01-01~2023-04-22 JST 計算期間: 2006-01-01~2009-01-01

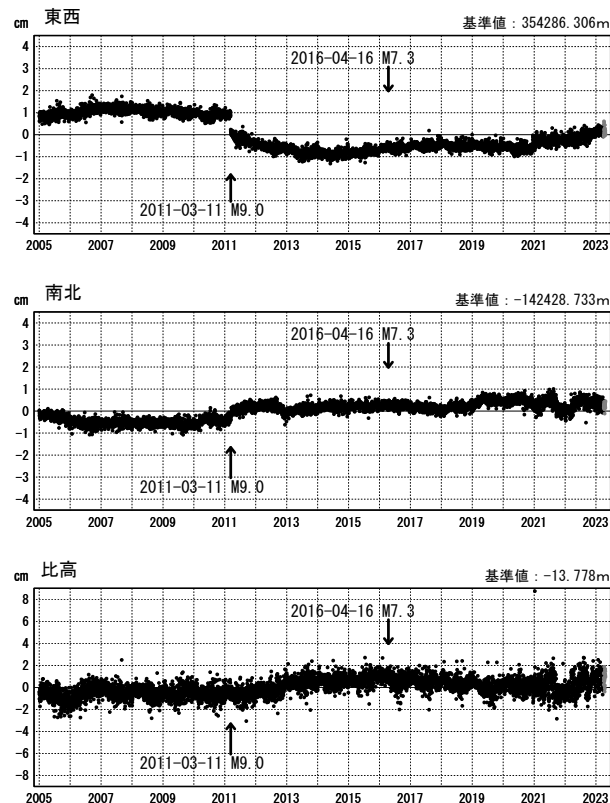
(1) 三隅(950388)→度会(960636)



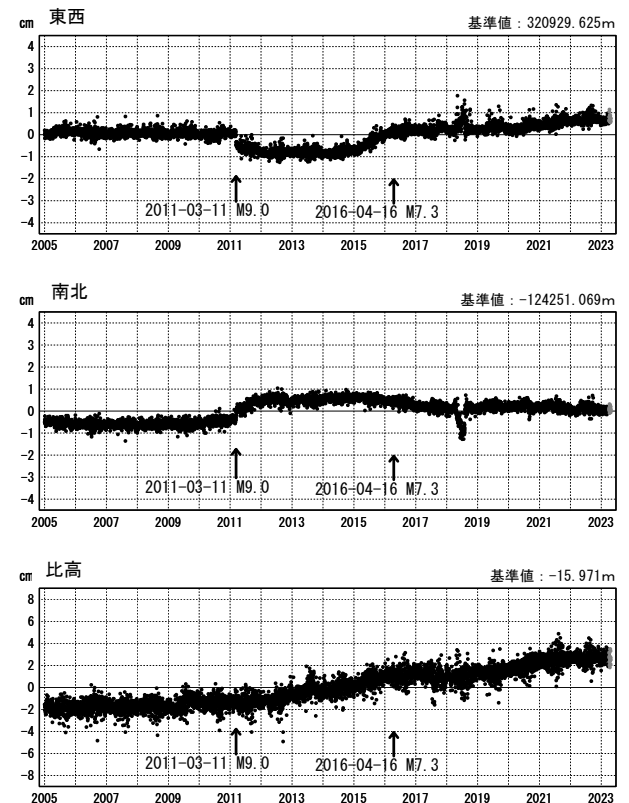
(2) 三隅(950388)→三重熊野(950315)



(3) 三隅(950388)→串本(940070)



(4) 三隅(950388)→白浜(031112)



●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

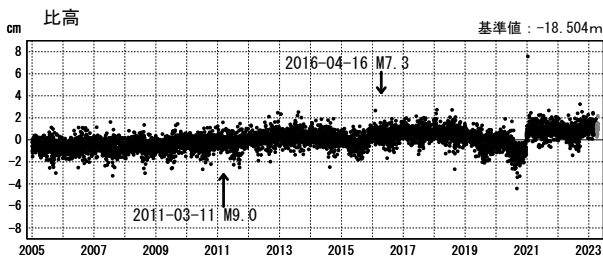
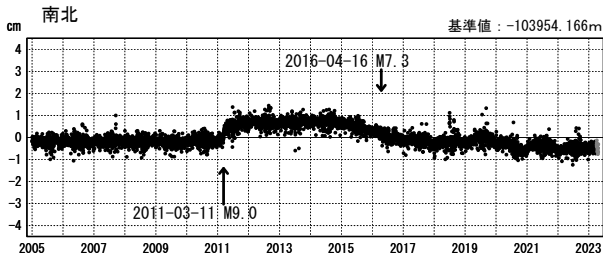
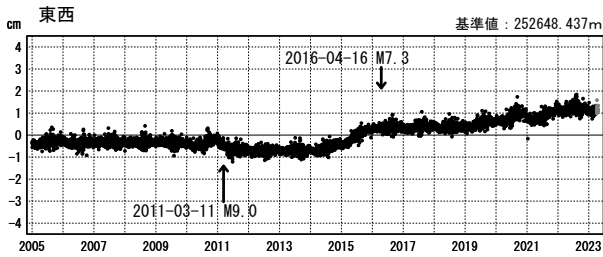
※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

南海トラフ周辺 GNS S 連続観測時系列 (3)

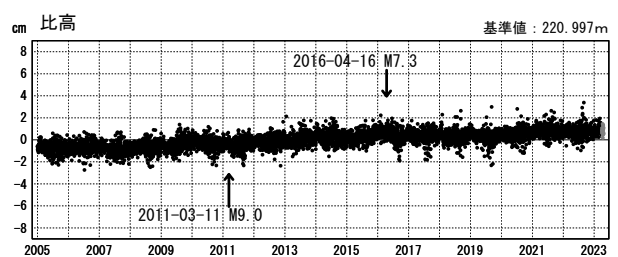
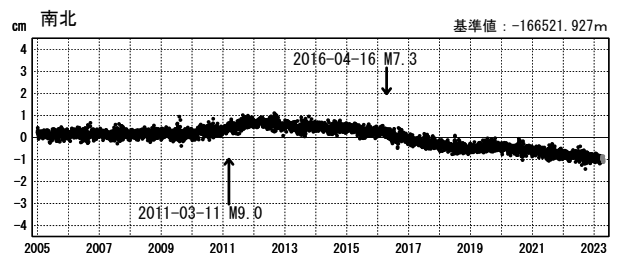
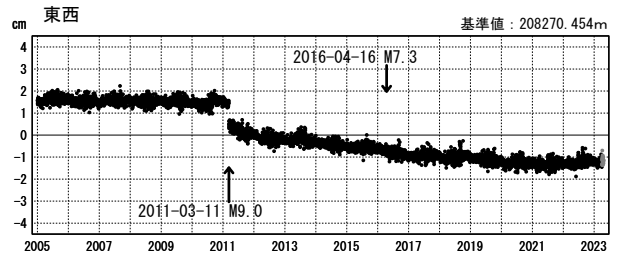
成分変化グラフ (1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後)

期間: 2005-01-01~2023-04-22 JST 計算期間: 2006-01-01~2009-01-01

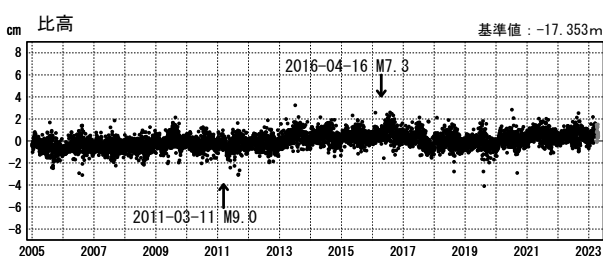
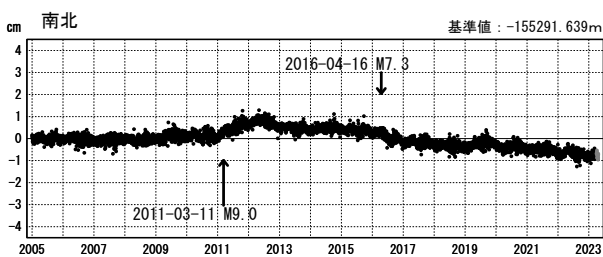
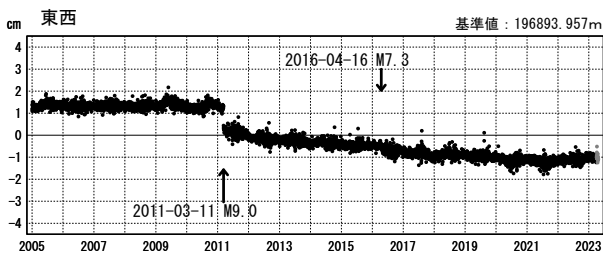
(5) 三隅(950388)→阿南2(950422)



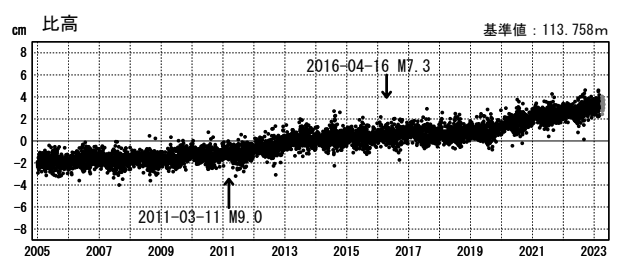
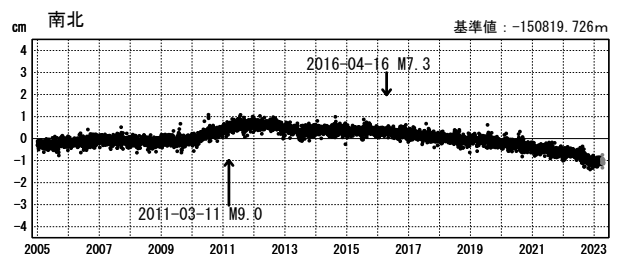
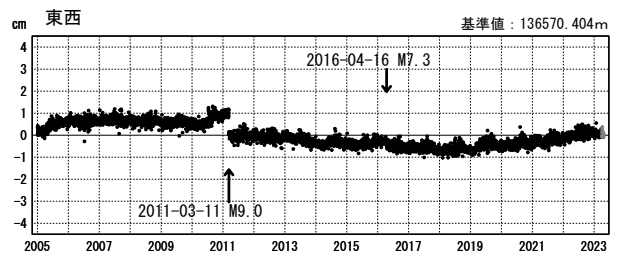
(6) 三隅(950388)→室戸4(031122)



(7) 三隅(950388)→室戸3(031121)



(8) 三隅(950388)→須崎(950445)



●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解]

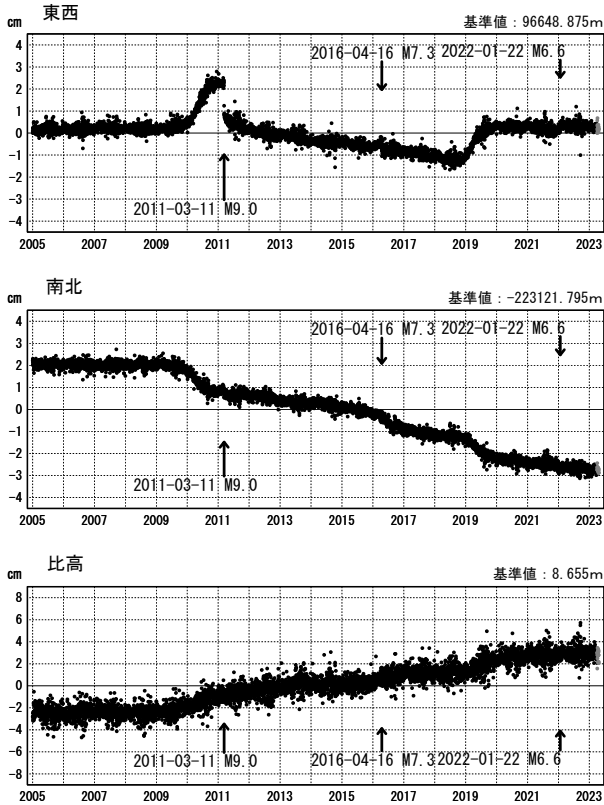
※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

南海トラフ周辺 GNS S 連続観測時系列 (4)

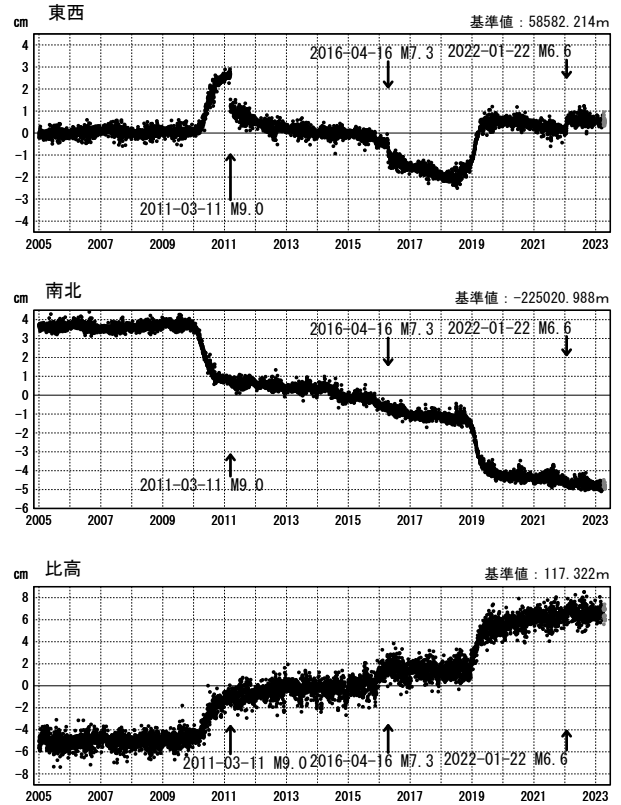
成分変化グラフ (1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後)

期間: 2005-01-01~2023-04-22 JST 計算期間: 2006-01-01~2009-01-01

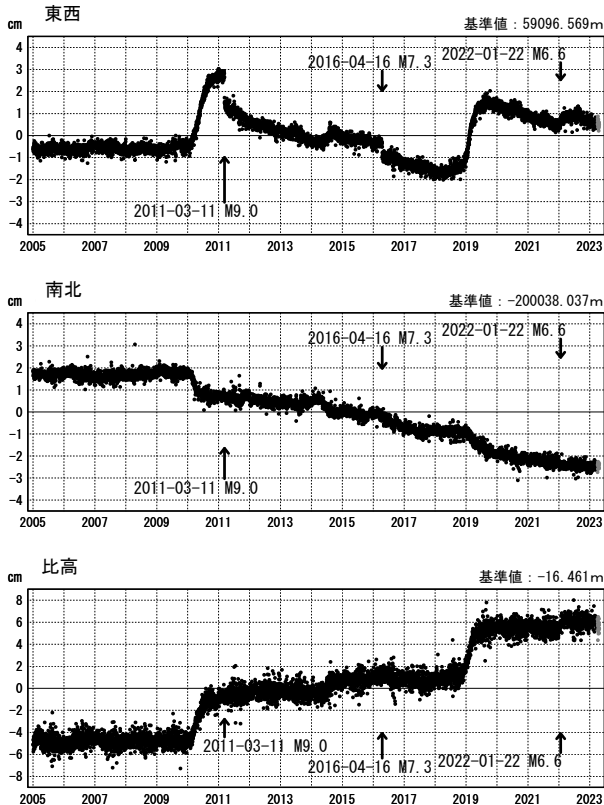
(9) 三隅(950388)→土佐清水(940085)



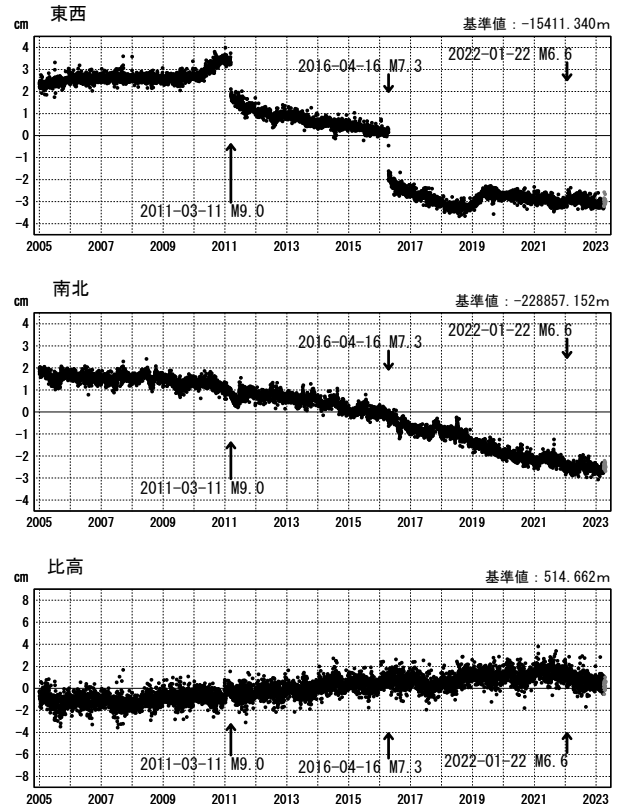
(10) 三隅(950388)→宿毛(021059)



(11) 三隅(950388)→御荘(950437)



(12) 三隅(950388)→北川(950476)

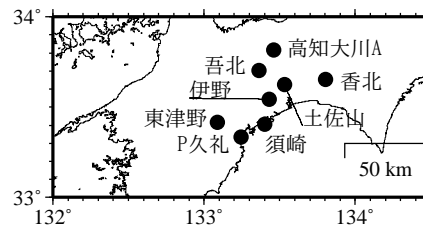
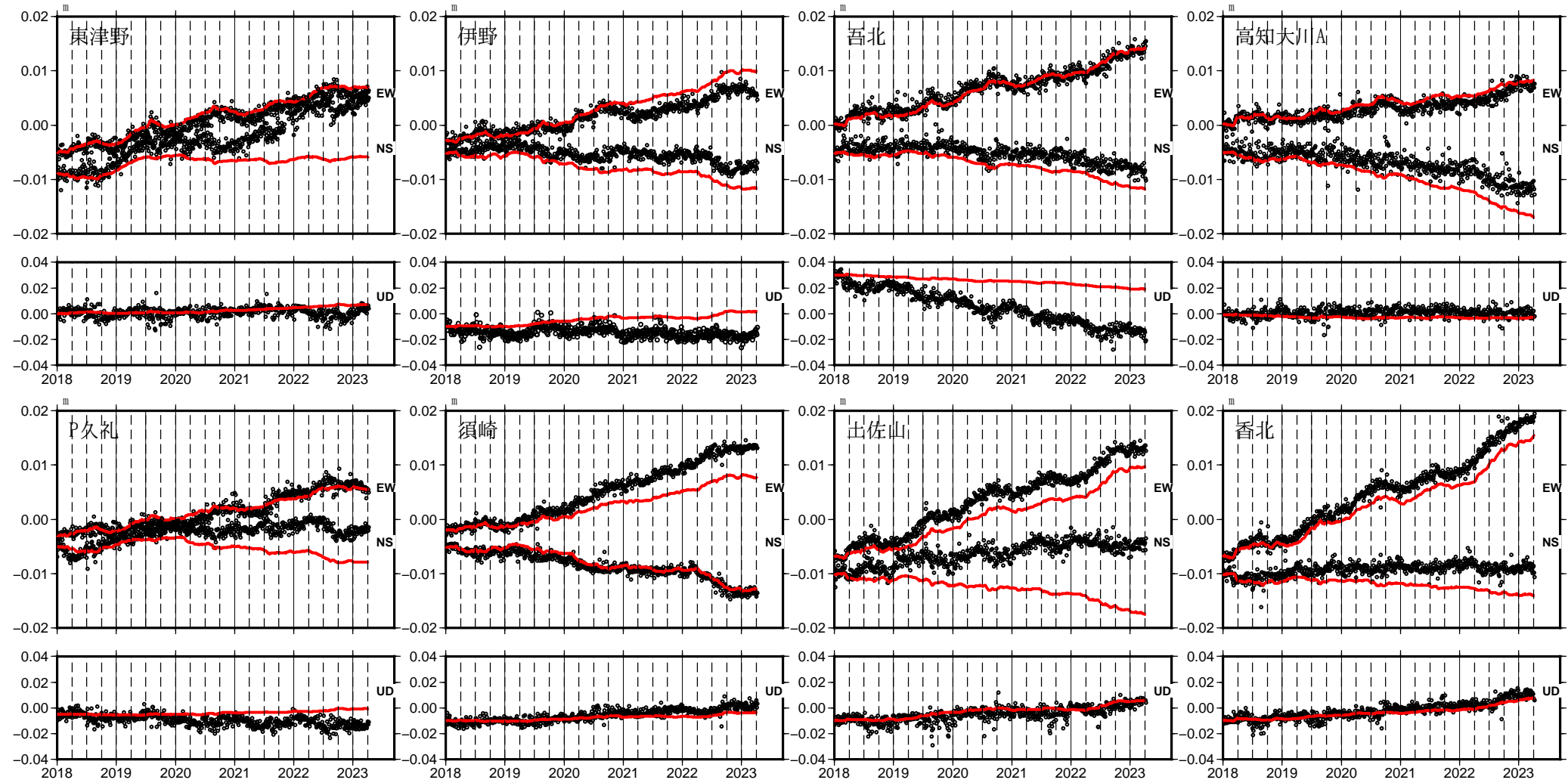


●— [F5:最終解] ●— [R5:速報解]

※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

四国中部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

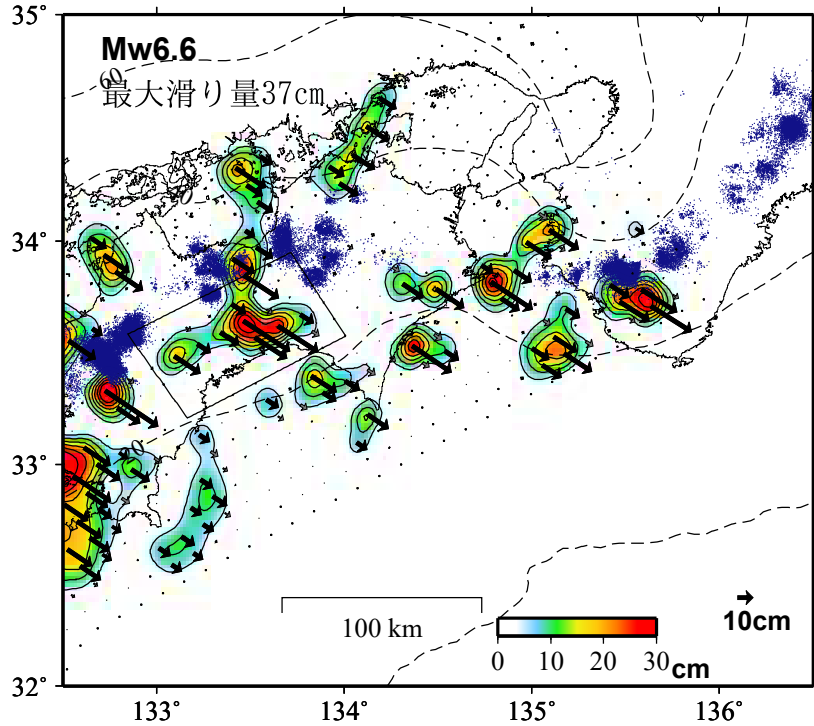
時間依存のインバージョン



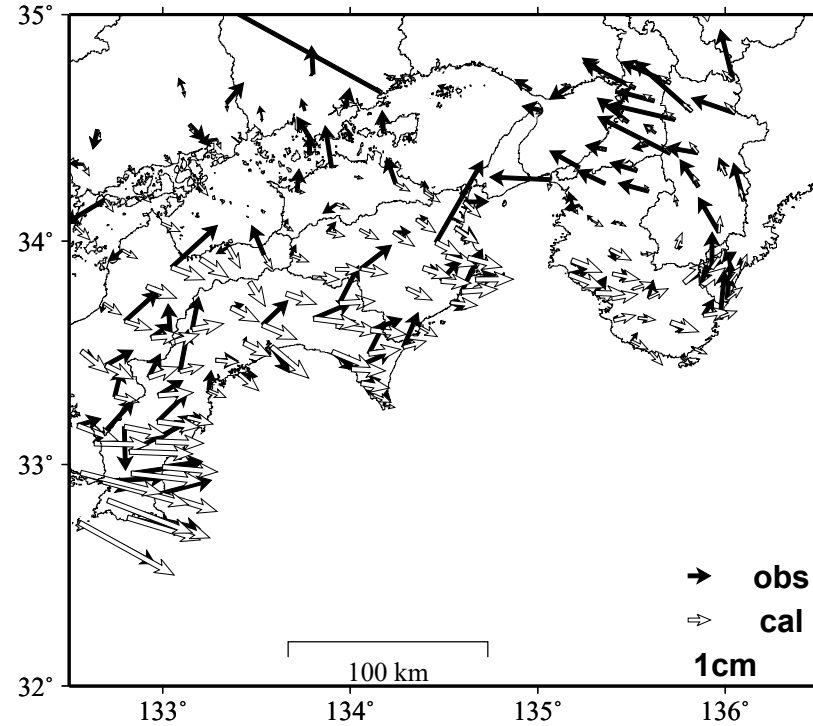
EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

GNSSデータから推定された
四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

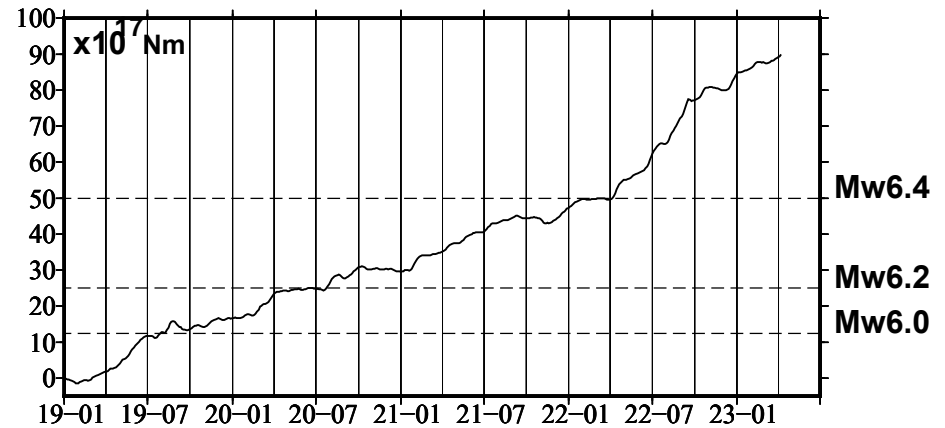
推定すべり分布
(2019/1/1-2023/4/7)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2019/1/1-2023/4/7)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。
使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)
F5解(2019/1/1-2023/03/25)+R5解(2023/03/26-2023/4/7)
トレンド期間: 2017/4/1-2018/4/1(年周・半年周成分は補正なし)
モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)
すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束
青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間: 2019/1/1-2023/4/7)
固定局: 上対馬

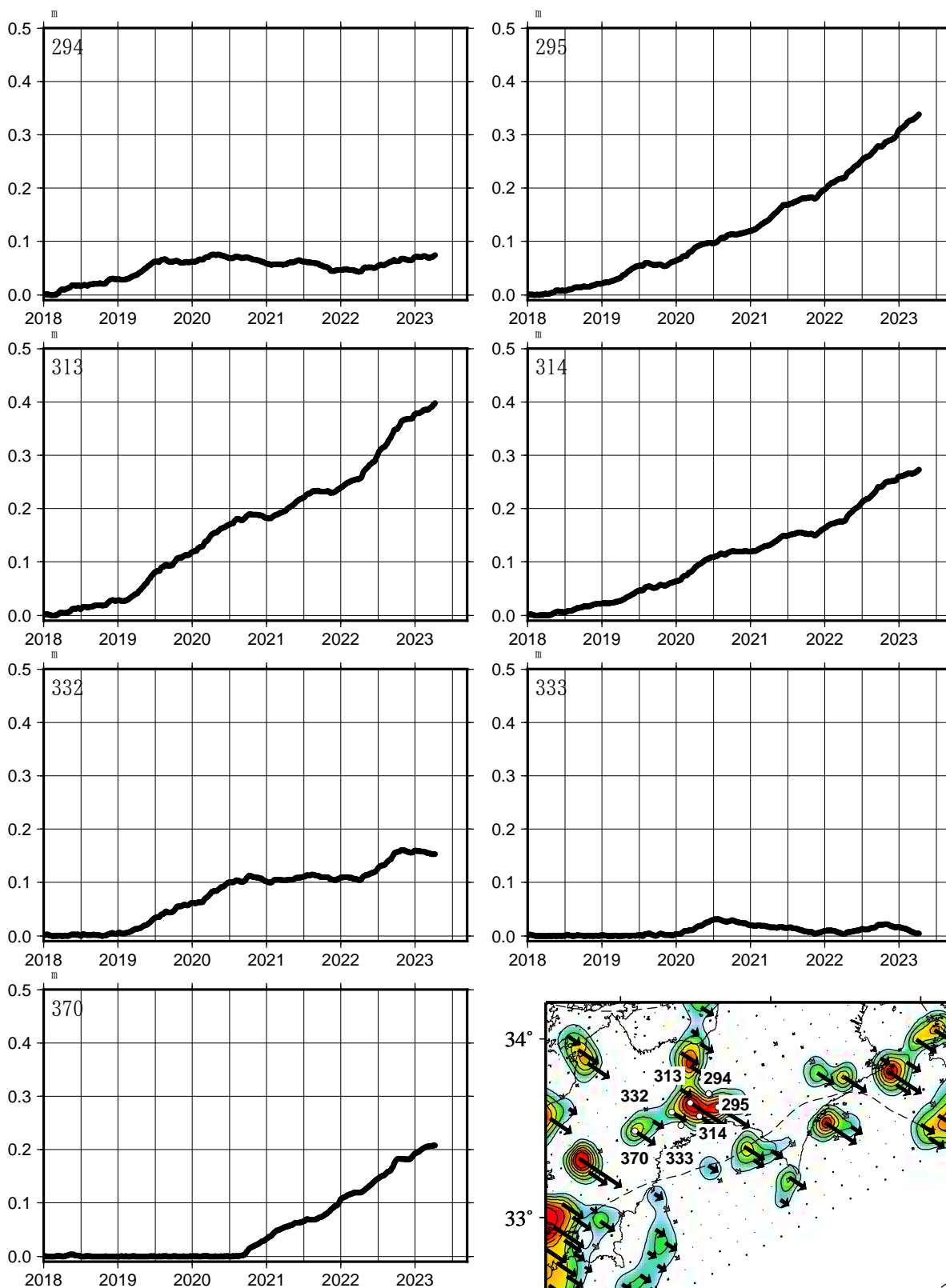


*電子基準点の保守等による変動は補正済み
*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している (Suito, 2017, 水藤, 2017)。
*気象庁カタログ(2017年以降)の短期的SSEを補正している。

四国中部の長期的ゆっくりすべり

各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン



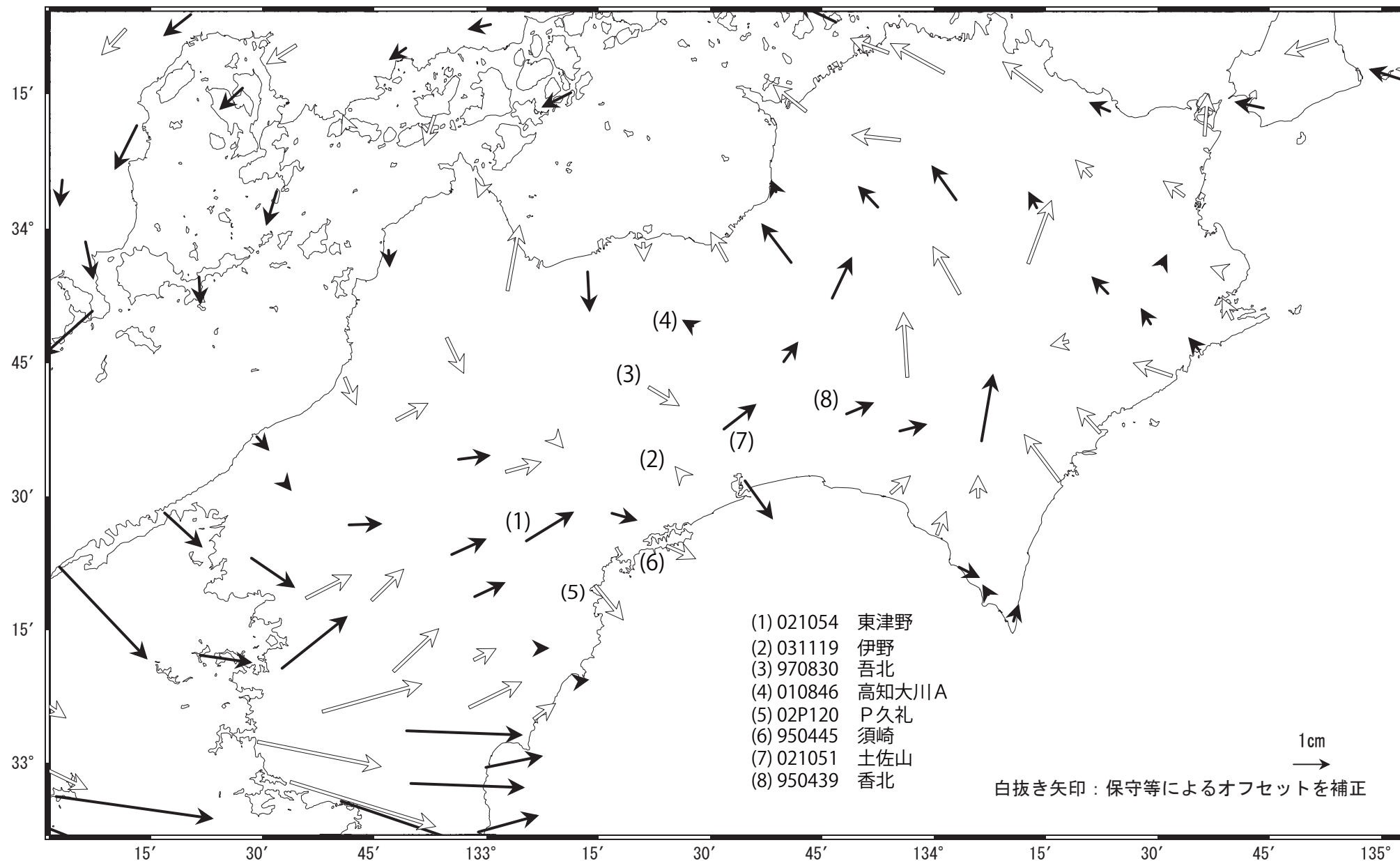
*プレートの沈み方向と平行な方向の変化を示している。

すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

四国中部の非定常水平地殻変動(1次トレンド除去後)

基準期間: 2017/12/29~2018/01/04 [F5: 最終解]
 比較期間: 2023/04/09~2023/04/15 [R5: 速報解]

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

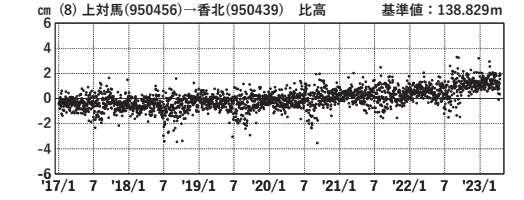
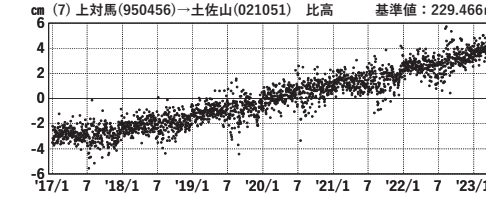
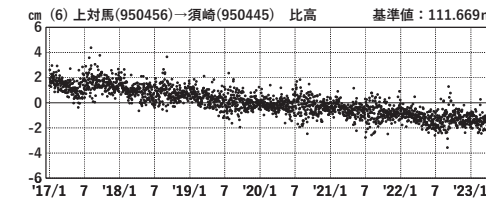
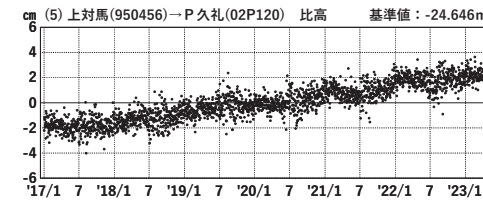
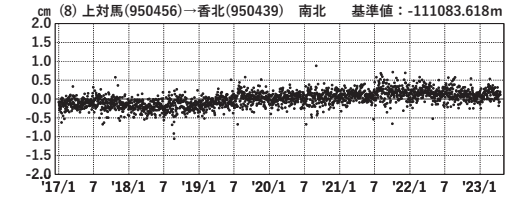
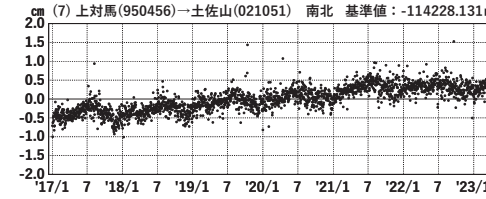
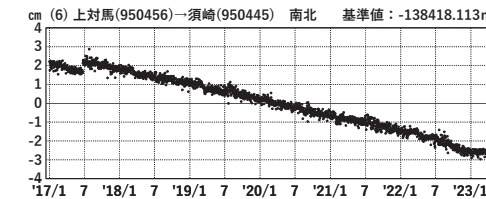
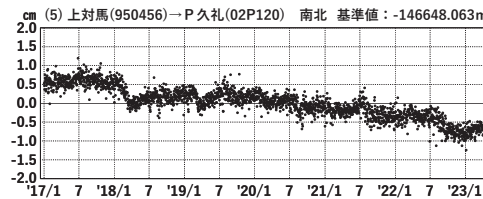
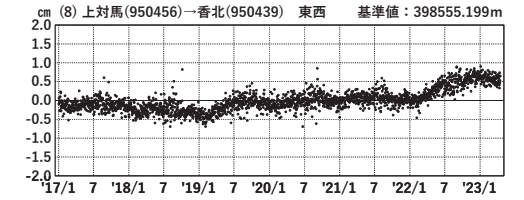
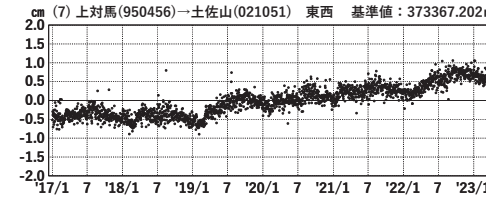
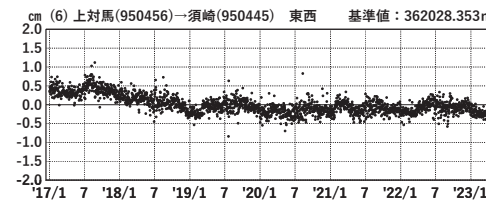
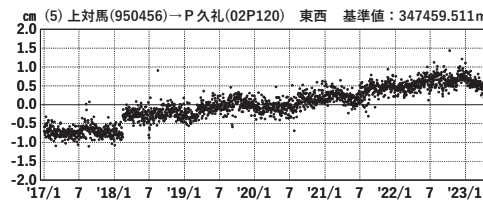
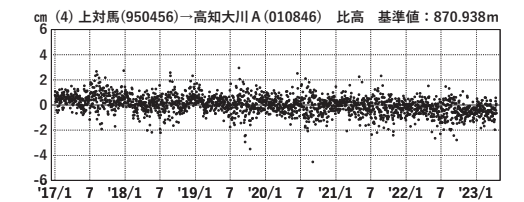
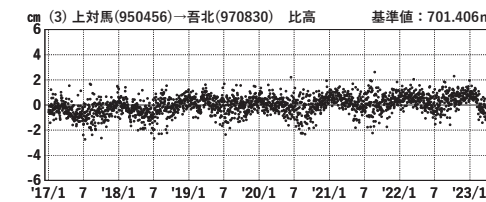
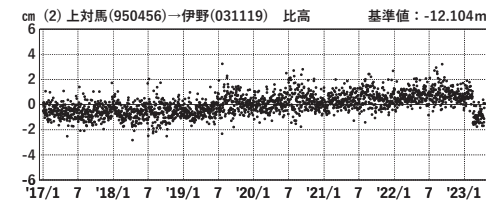
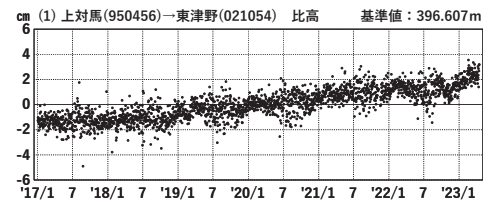
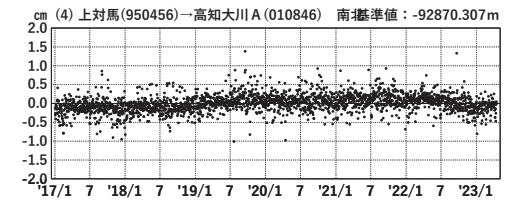
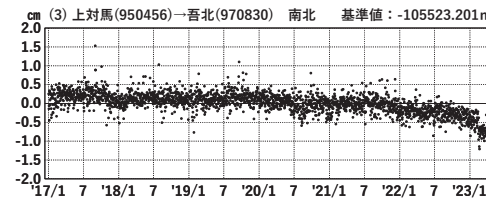
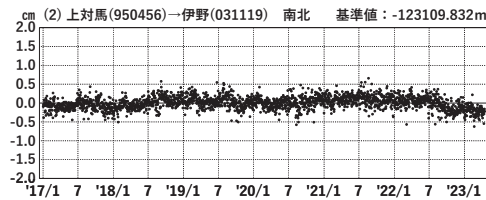
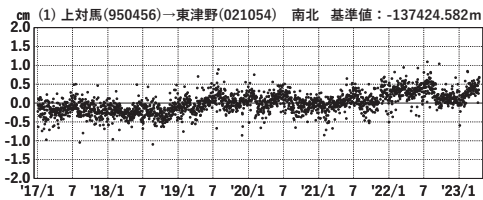
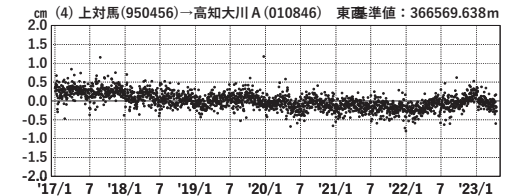
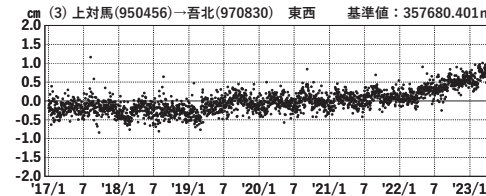
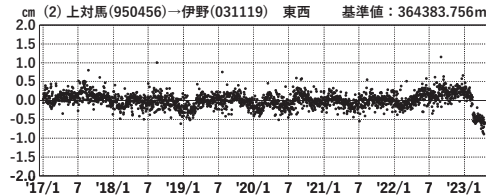
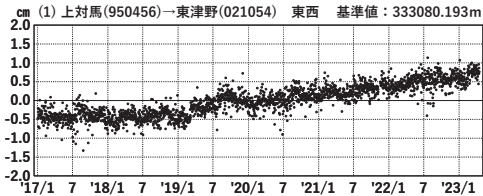


四国中部 G N S S連続観測時系列

1次トレンド除去後グラフ

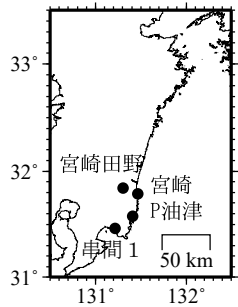
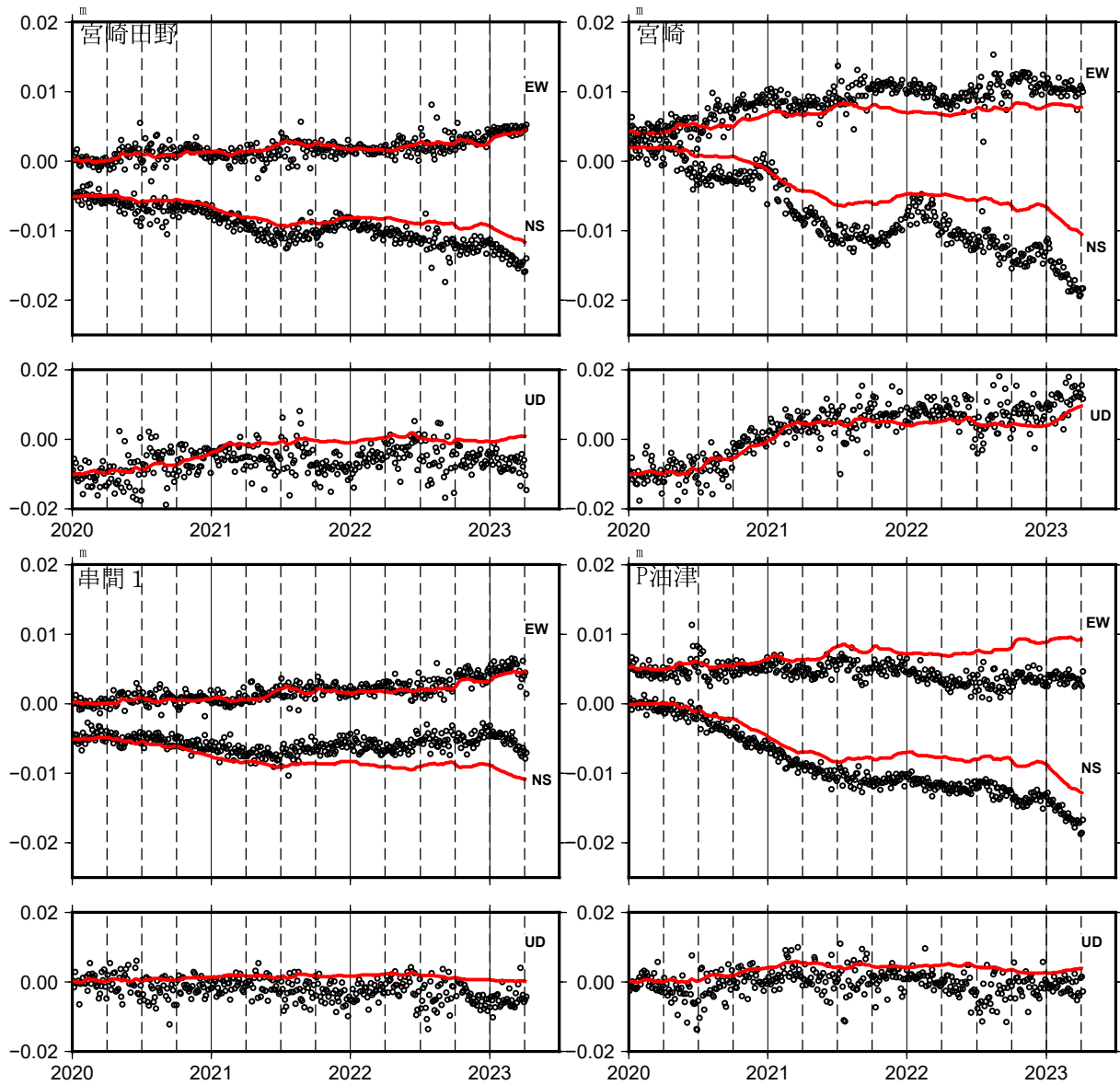
期間: 2017/01/01~2023/04/15 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



九州地域の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン



EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

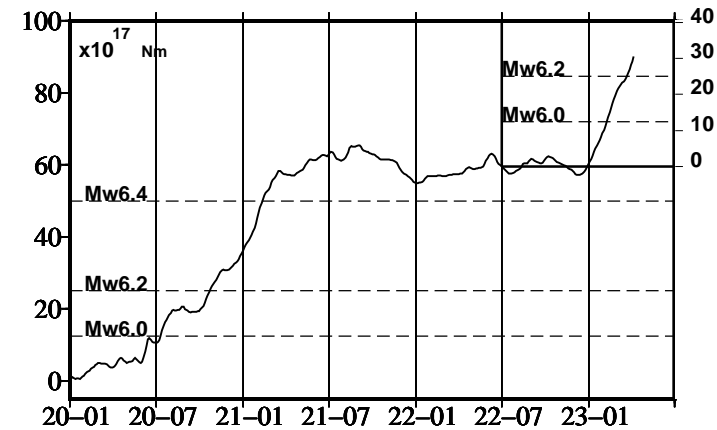
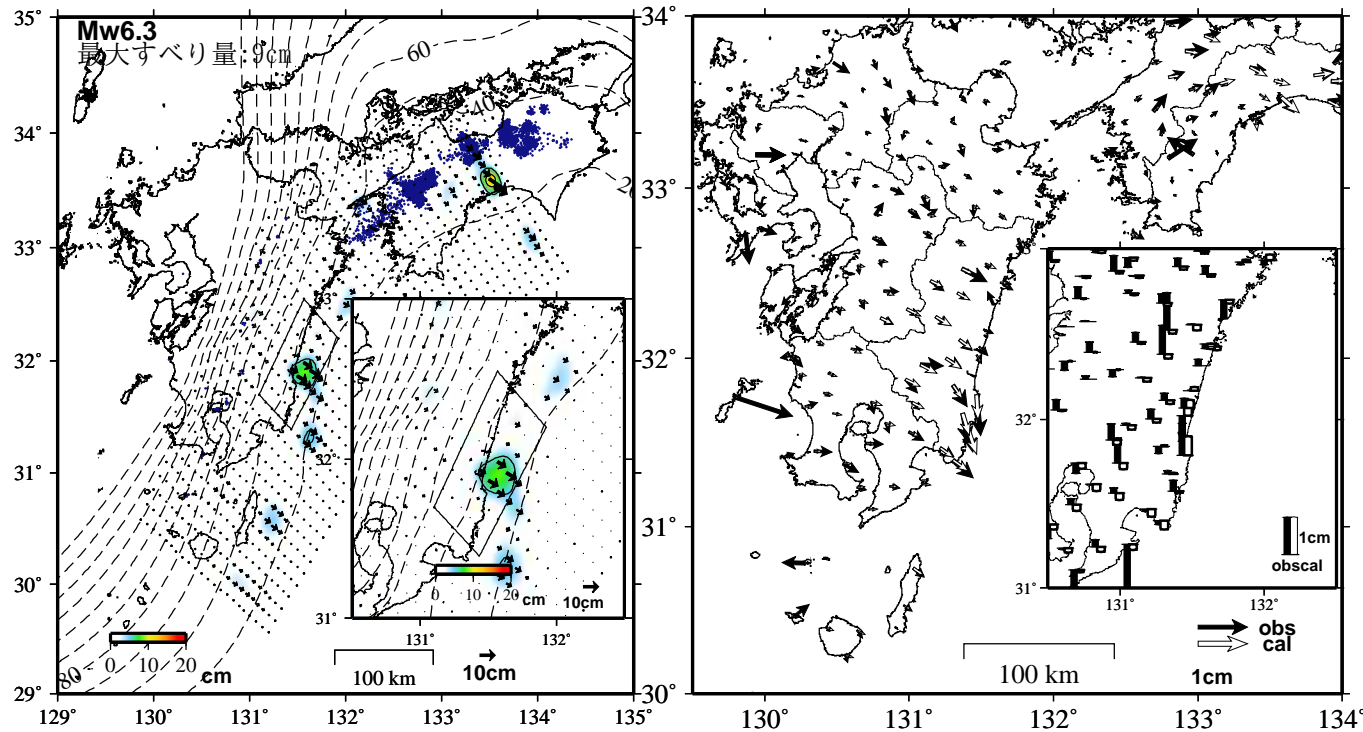
国土地理院

GNSSデータから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2022/7/1-2023/4/6)

観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2022/7/1-2023/4/6)

日向灘南部のSSEのモーメント*時系列（試算）



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2020/1/1-2023/03/11)+R5解(2023/03/12-2023/4/6)

トレンド期間: 2006/1/1-2009/1/1(年周・半年周成分は補正なし)

日向灘附近: 2007/10/1-2009/3/1

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間: 2022/7/1-2023/4/6)

固定局: 三隅

*電子基準点の保守等による変動は補正済み

*日向灘の地震(2022/01/22, Mw6.6)の地震時変動を除去している。

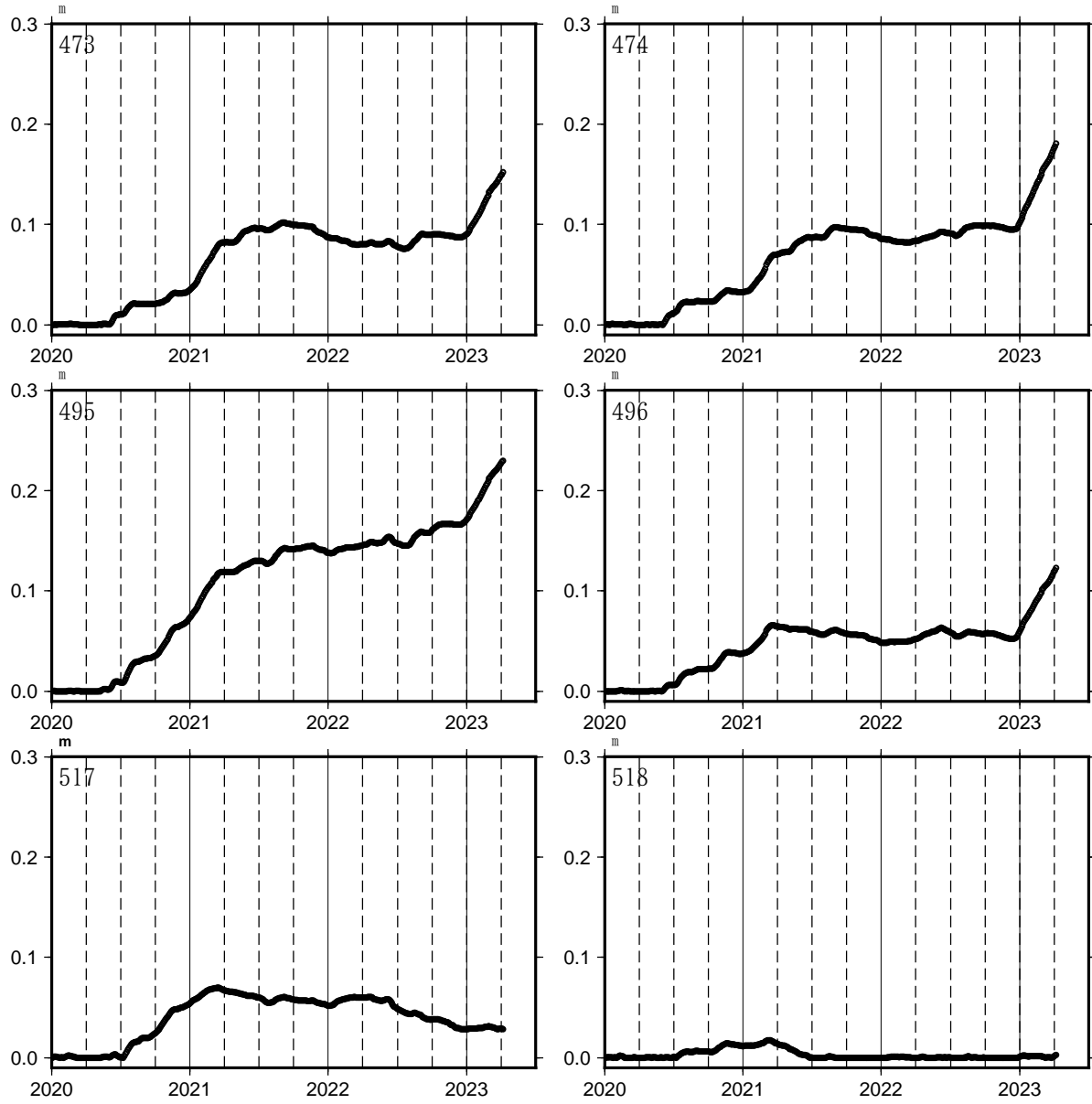
*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している(suito, 2017; 水藤, 2017)。

*モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

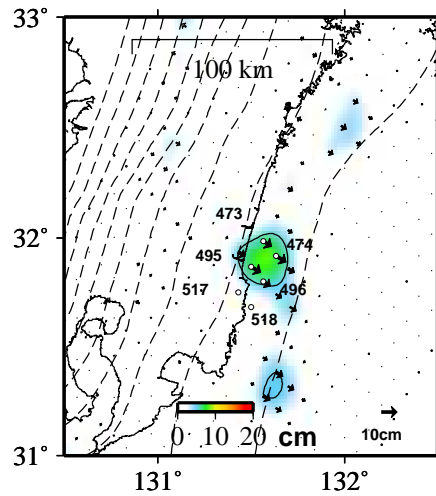
国土地理院

各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン



*プレートの沈み方向と平行な方向の変化を示している。

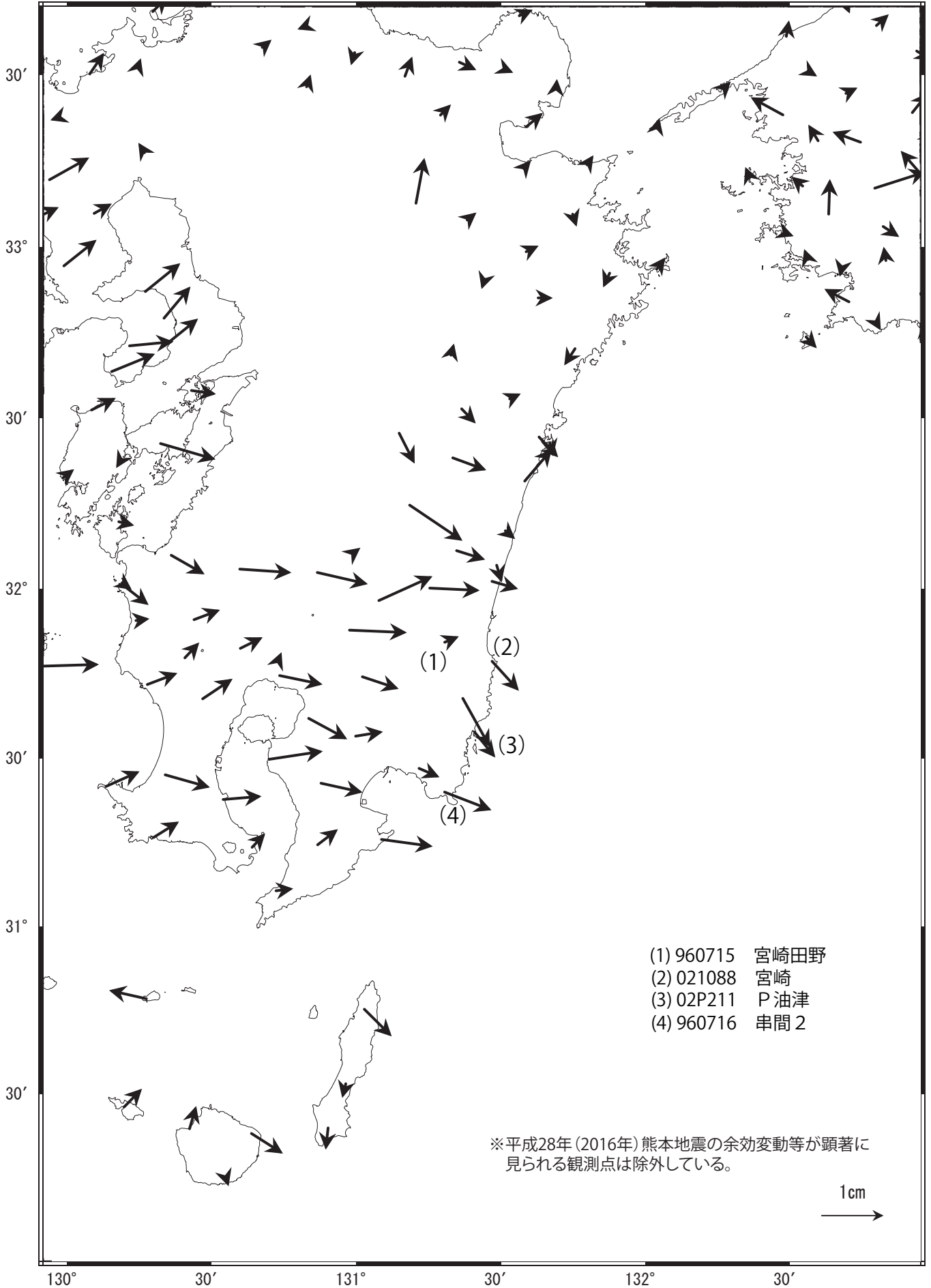


すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

九州地域の非定常水平地殻変動(1次トレンド除去後)

基準期間: 2022/07/01~2022/07/07 [F5: 最終解]
 比較期間: 2023/04/09~2023/04/15 [R5: 速報解]

計算期間: 2012/01/01~2013/03/01



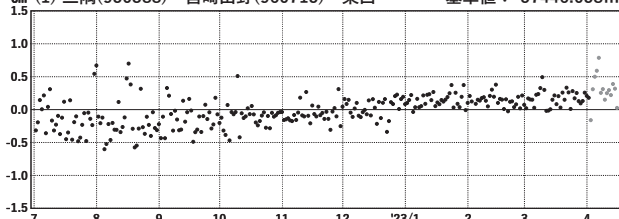
九州地域 G N S S 連続観測時系列

1次トレンド除去後グラフ

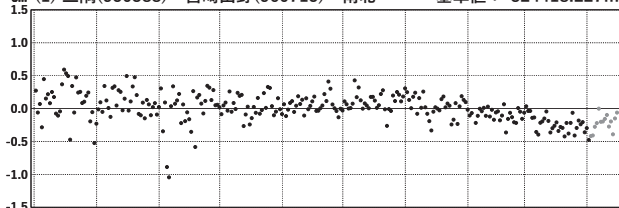
期間: 2022/07/01~2023/04/15 JST

計算期間: 2012/01/01~2013/03/01

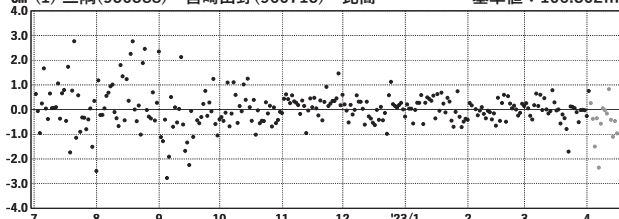
cm (1) 三隅(950388)→宮崎田野(960715) 東西 基準値: -57446.058m



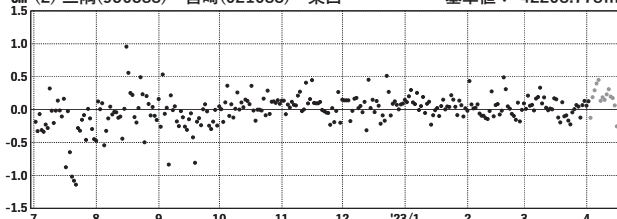
cm (1) 三隅(950388)→宮崎田野(960715) 南北 基準値: -324418.227m



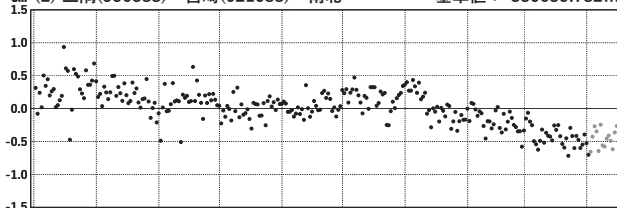
cm (1) 三隅(950388)→宮崎田野(960715) 比高 基準値: 106.302m



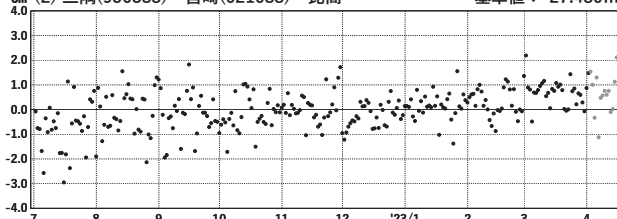
cm (2) 三隅(950388)→宮崎(021088) 東西 基準値: -42208.778m



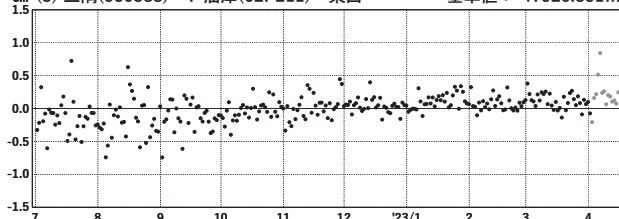
cm (2) 三隅(950388)→宮崎(021088) 南北 基準値: -330639.782m



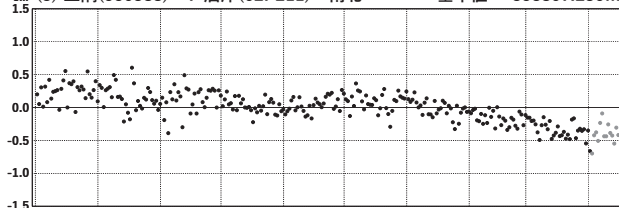
cm (2) 三隅(950388)→宮崎(021088) 比高 基準値: -27.480m



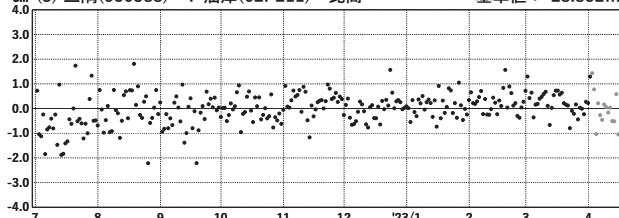
cm (3) 三隅(950388)→P油津(02P211) 東西 基準値: -47926.351m



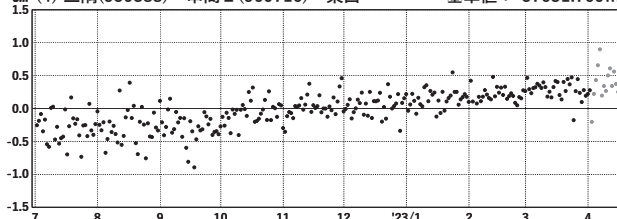
cm (3) 三隅(950388)→P油津(02P211) 南北 基準値: -353807.236m



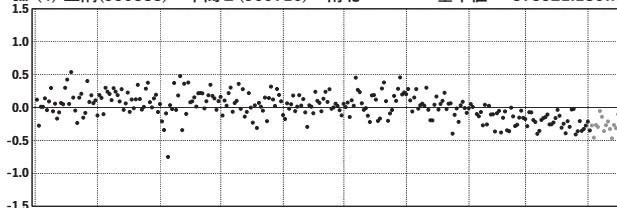
cm (3) 三隅(950388)→P油津(02P211) 比高 基準値: -28.852m



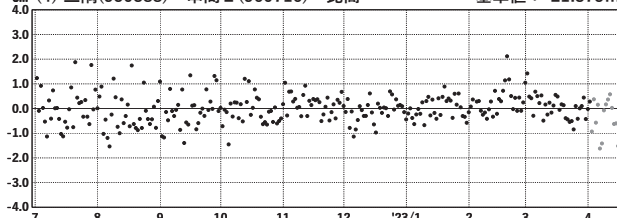
cm (4) 三隅(950388)→串間2(960716) 東西 基準値: -57631.760m



cm (4) 三隅(950388)→串間2(960716) 南北 基準値: -373521.186m



cm (4) 三隅(950388)→串間2(960716) 比高 基準値: -21.375m



●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

(参考資料)

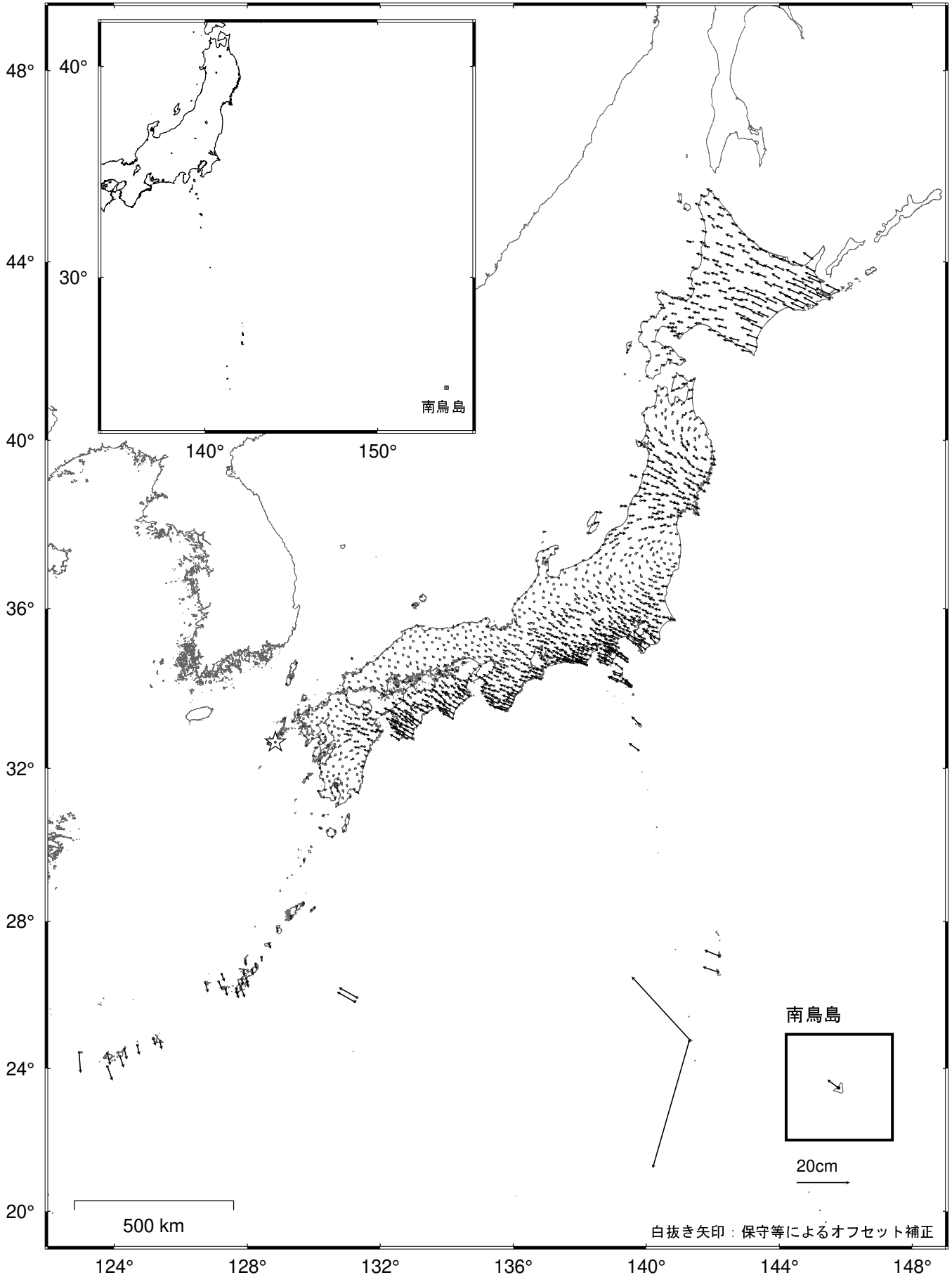
GEONET による最近の地殻変動(水平)

- | | |
|-------------------------|--|
| (1) 最近の1年間の変動ベクトル図 | 全国 |
| (2) 最近の1か月の変動ベクトル図 | 全国
北海道地方
東北地方
関東・中部地方
近畿・中国・四国地方
九州地方
沖縄地方 |
| (3) 2期間の変動ベクトルの差の図(1か月) | 北日本
中日本
南日本 |

全国の地殻変動（水平） - 1年間 -

基準期間：2022-04-16 -- 2022-04-22 [F5：最終解]

比較期間：2023-04-16 -- 2023-04-22 [R5：速報解]



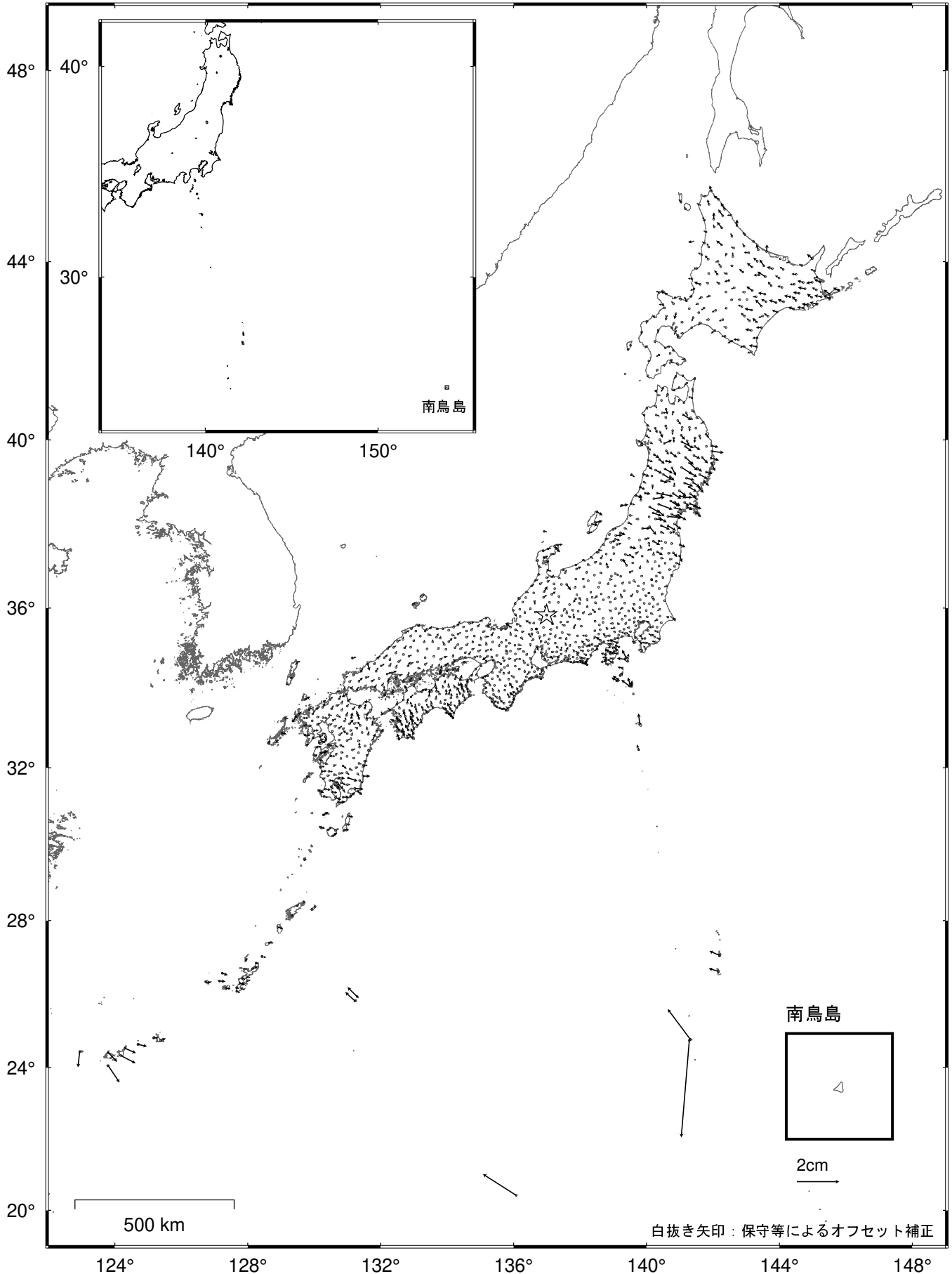
☆ 固定局：福江（長崎県）

- ・ 東北地方を中心とした広い範囲で、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。
- ・ 硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。
- ・ その他の地方では、プレート運動による定常的な地殻変動が見られる。

全国の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2023-03-16 -- 2023-03-22 [F5：最終解]

比較期間：2023-04-16 -- 2023-04-22 [R5：速報解]



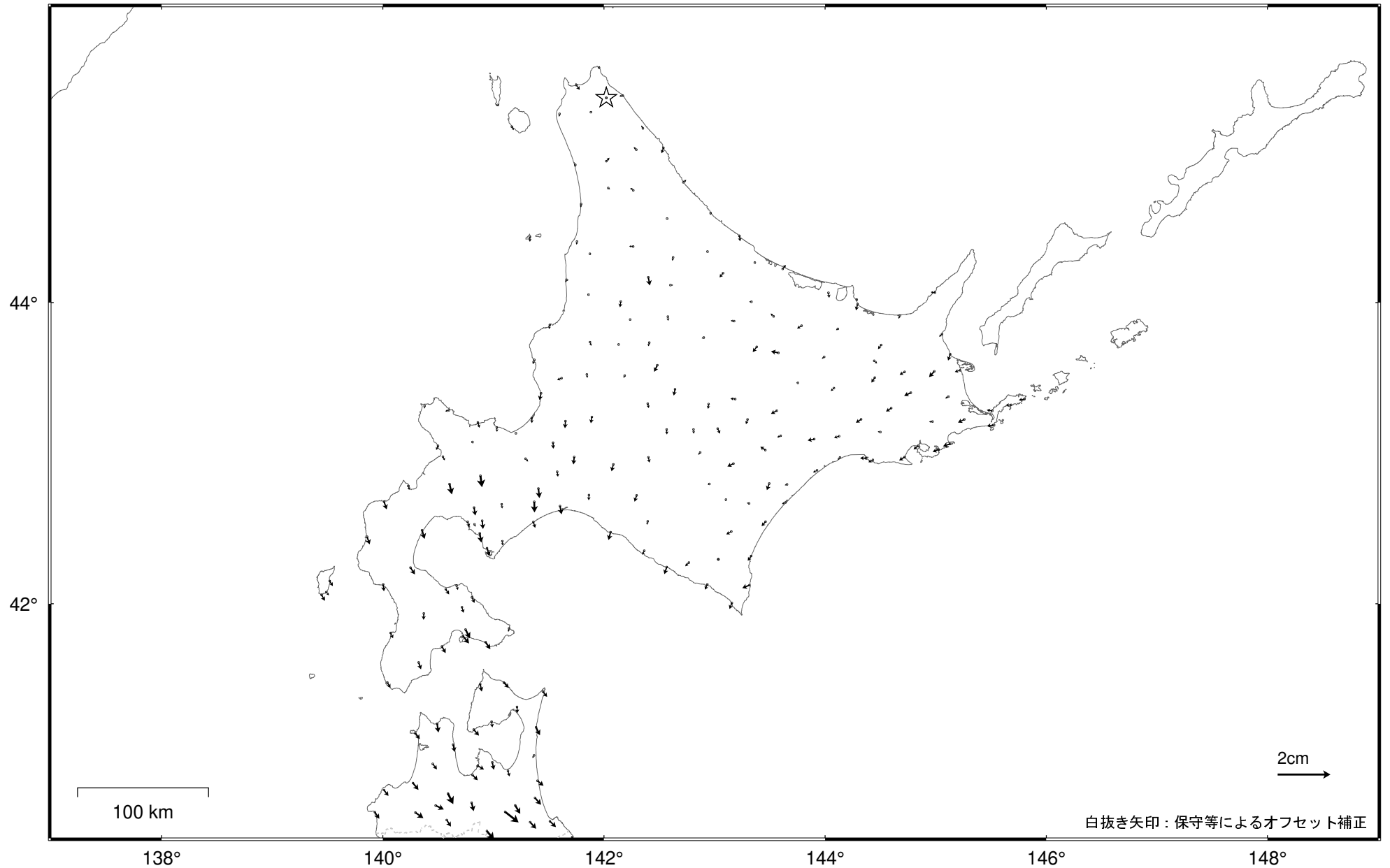
☆ 固定点：白鳥・荘川・板取・加茂白川・萩原の平均値（岐阜県）

- ・ 東北地方を中心に、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。
- ・ 硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。

北海道地方の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2023-03-16 -- 2023-03-22 [F 5：最終解]

比較期間：2023-04-16 -- 2023-04-22 [R 5：速報解]

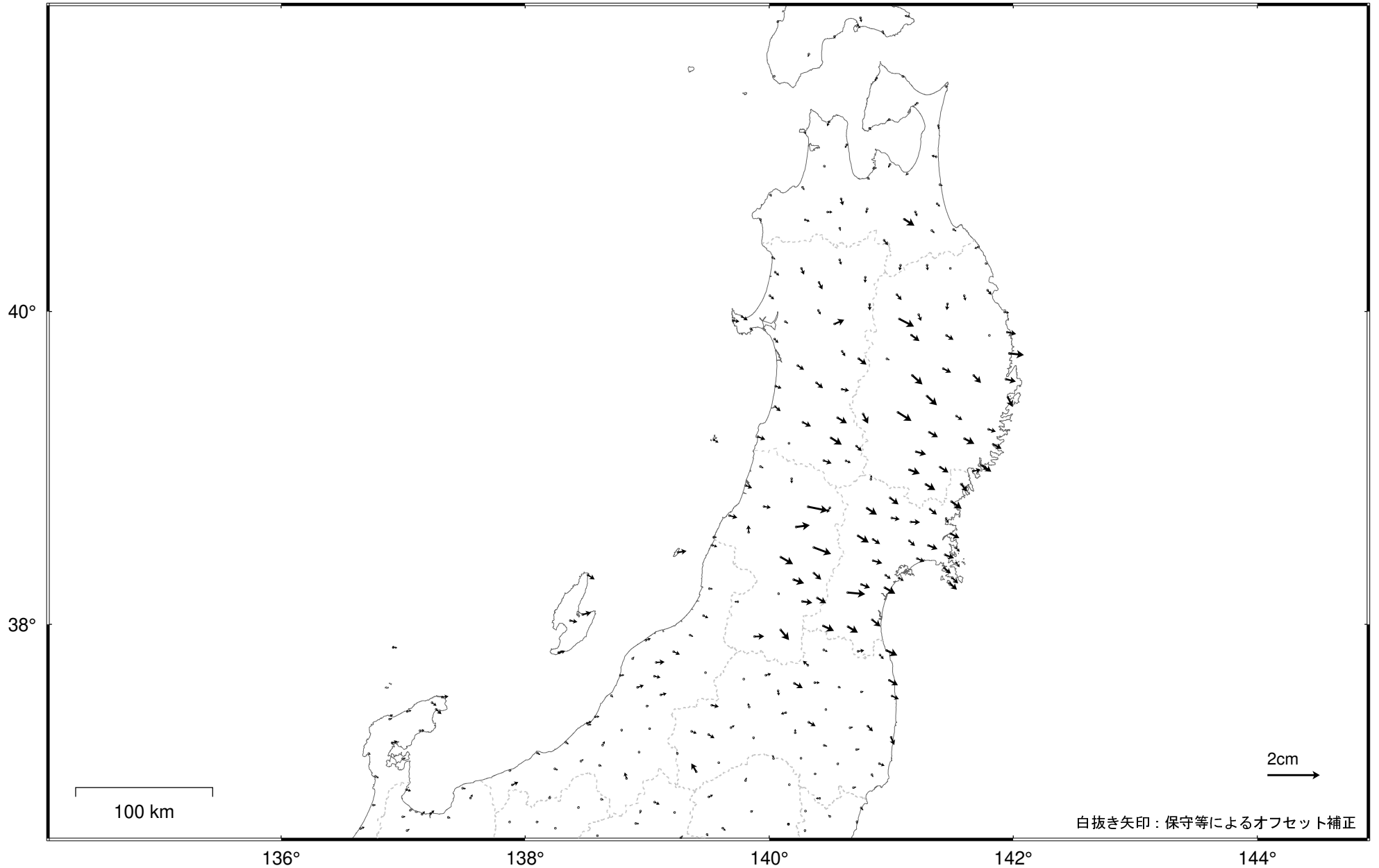


☆ 固定点：猿払・稚内3・稚内・稚内4・浜頓別の平均値（北海道）
・ 特段の変化は見られない。

東北地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2023-03-16 -- 2023-03-22 [F 5：最終解]

比較期間：2023-04-16 -- 2023-04-22 [R 5：速報解]

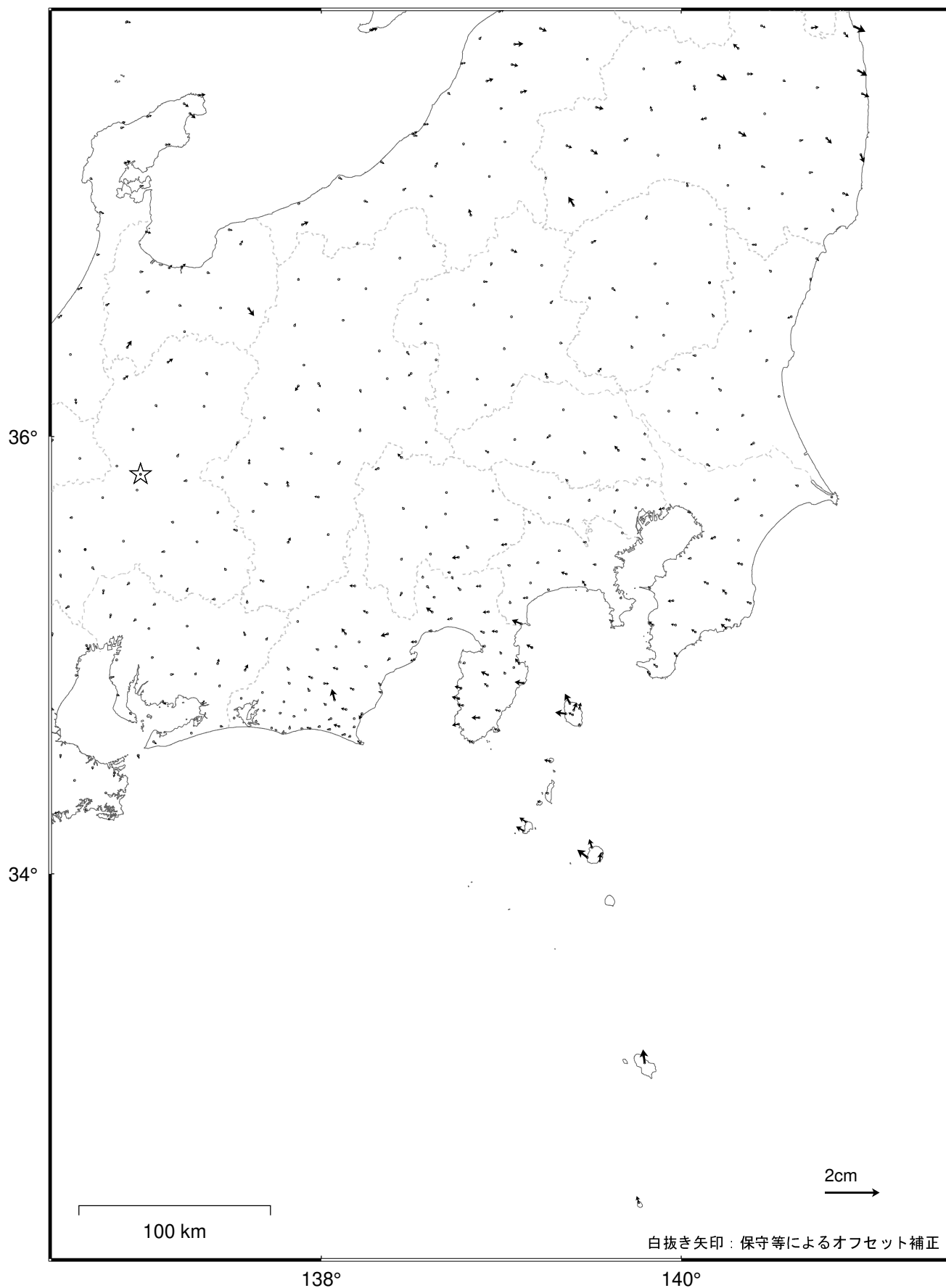


☆ 固定点：白鳥・荘川・板取・加茂白川・萩原の平均値（岐阜県）
・平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。

関東・中部地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2023-03-16 -- 2023-03-22 [F5：最終解]

比較期間：2023-04-16 -- 2023-04-22 [R5：速報解]

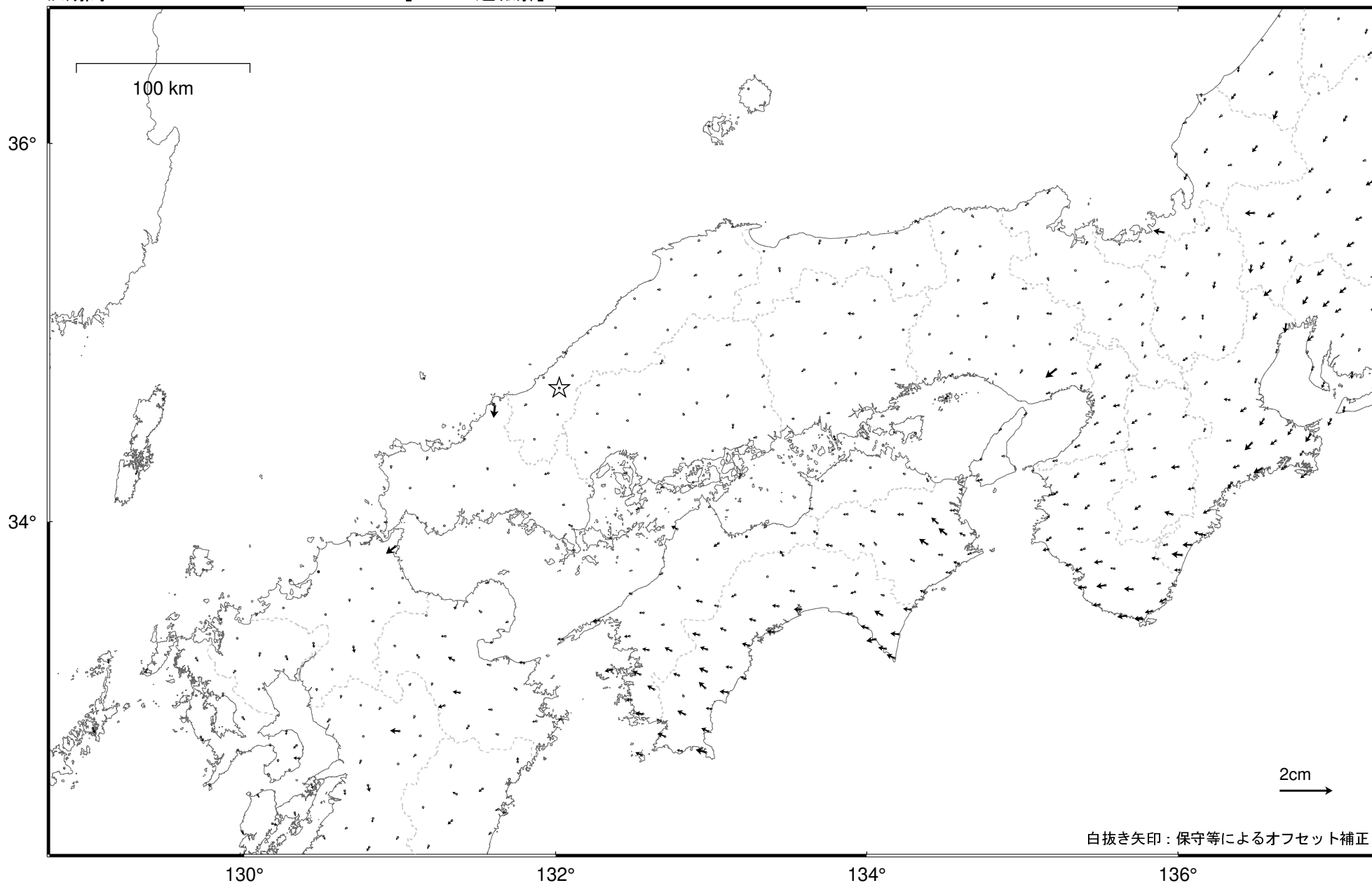


☆ 固定点：白鳥・荘川・板取・加茂白川・萩原の平均値（岐阜県）
・ 特段の変化は見られない。

近畿・中国・四国地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2023-03-16 -- 2023-03-22 [F 5：最終解]

比較期間：2023-04-16 -- 2023-04-22 [R 5：速報解]

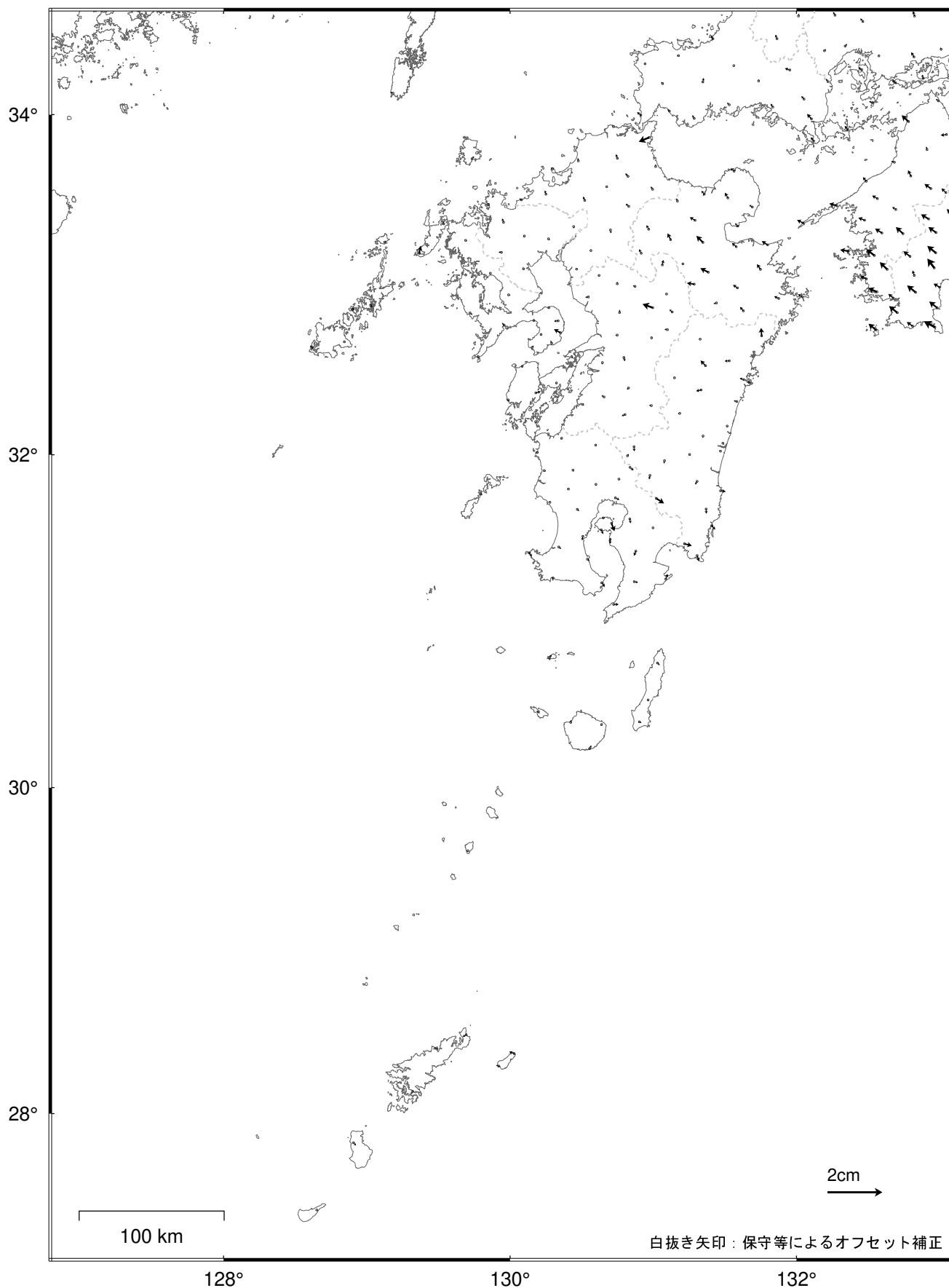


☆ 固定点：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）
・特段の変化は見られない。

九州地方の地殻変動（水平） — 1 か月 —

基準期間：2023-03-16 -- 2023-03-22 [F5：最終解]

比較期間：2023-04-16 -- 2023-04-22 [R5：速報解]

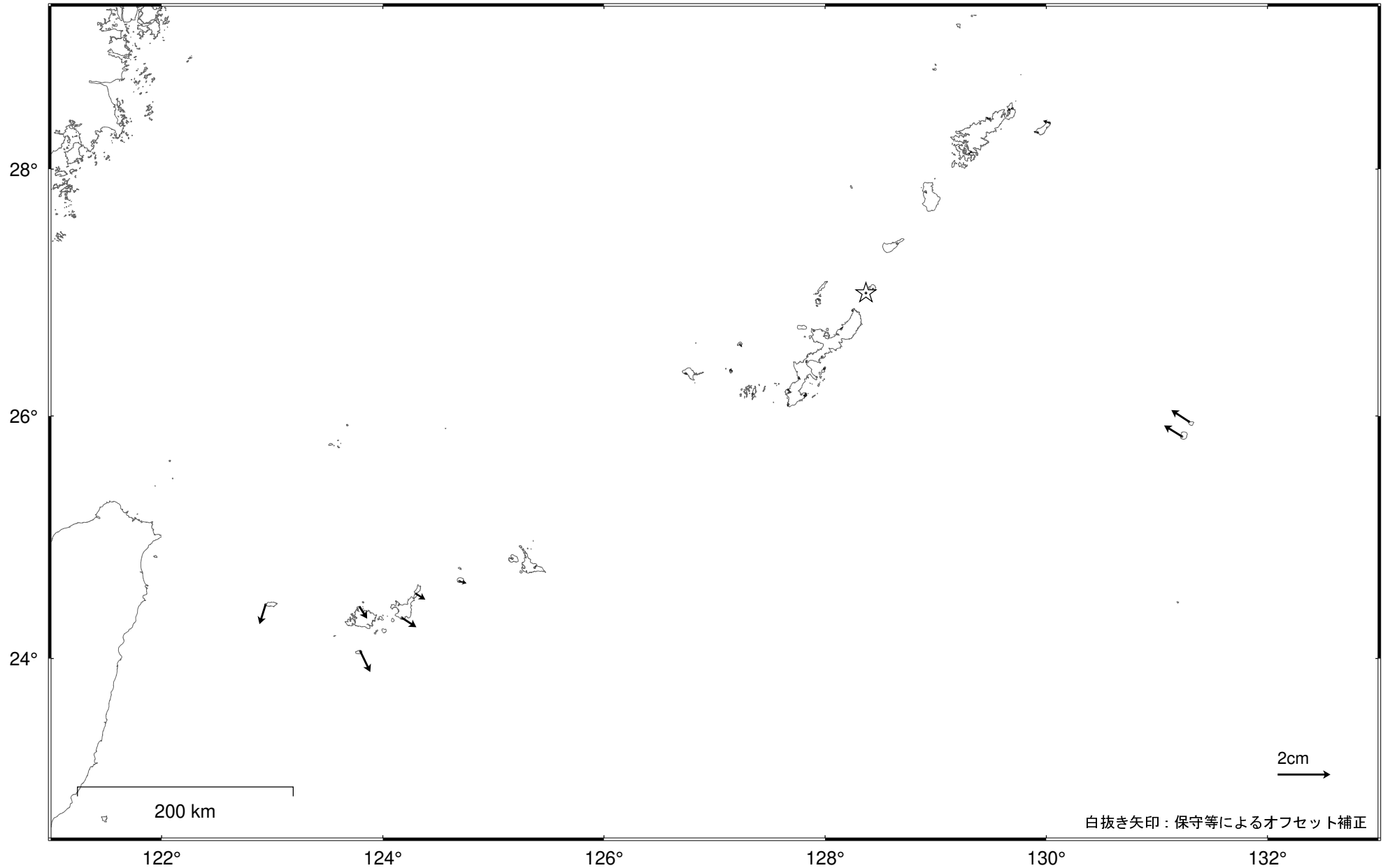


☆ 固定点：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）
・ 特段の変化は見られない。

沖縄地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2023-03-16 -- 2023-03-22 [F 5：最終解]

比較期間：2023-04-16 -- 2023-04-22 [R 5：速報解]



☆ 固定局：与論（鹿児島県）和泊（鹿児島県）国頭（沖縄県）大宜見（沖縄県）
・先島諸島では、定常とは異なる地殻変動が見られる。

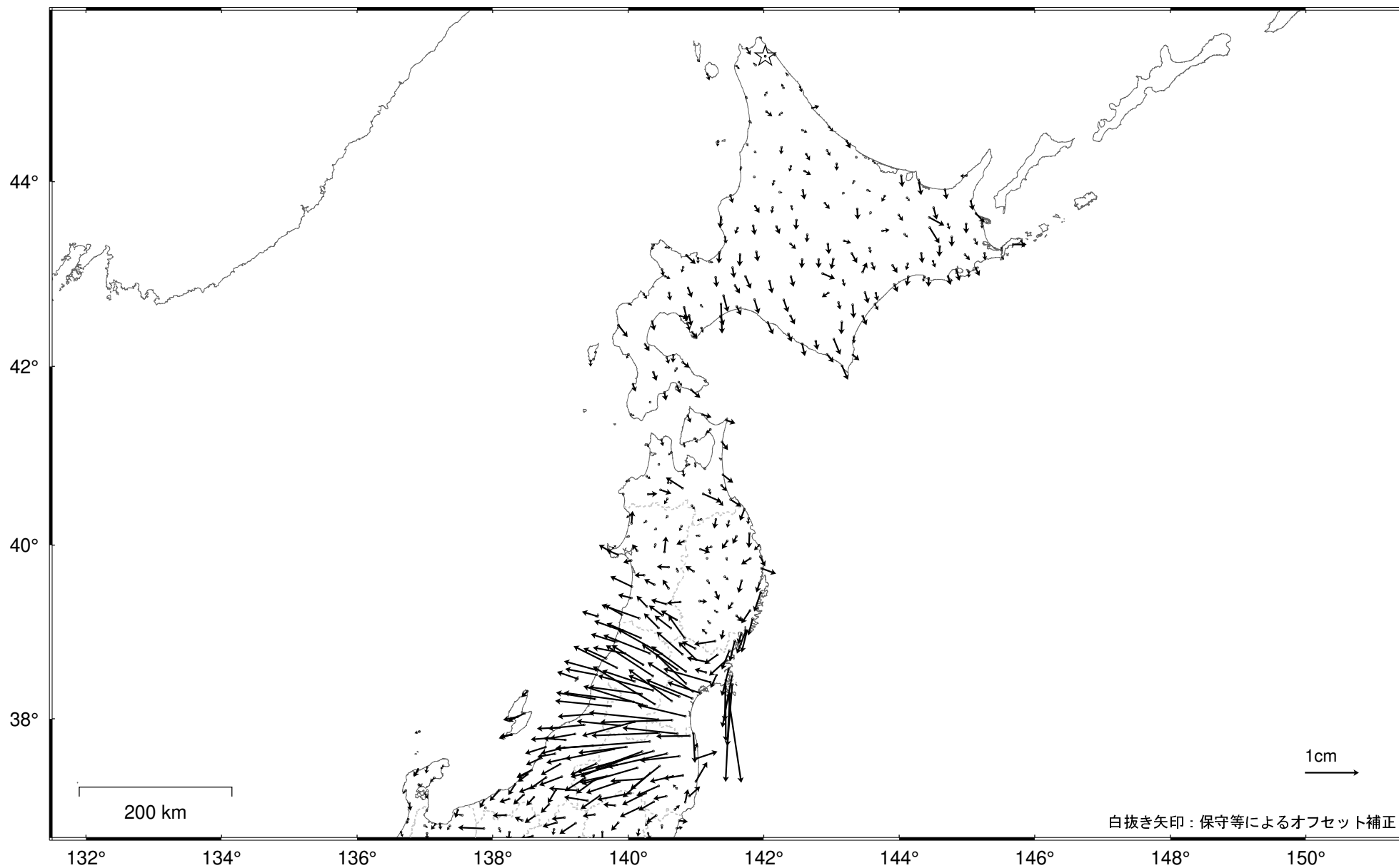
2期間の地殻水平変動ベクトルの差—1か月—

基準期間：2022-03-08 -- 2022-03-22 [F5：最終解]

比較期間：2022-04-08 -- 2022-04-22 [F5：最終解]

基準期間：2023-03-08 -- 2023-03-22 [F5：最終解]

比較期間：2023-04-08 -- 2023-04-22 [R5：速報解]



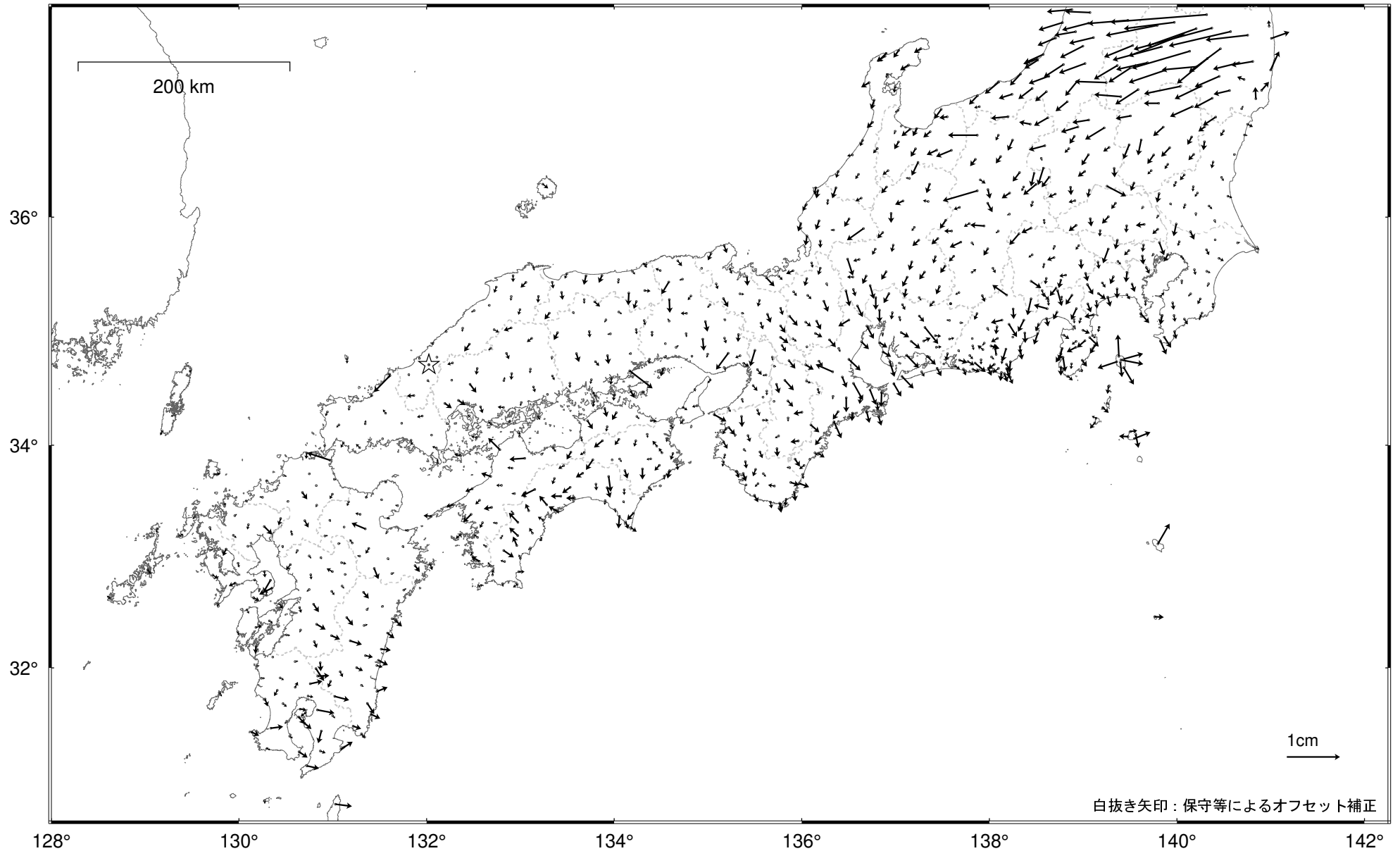
☆ 固定点：猿払・稚内3・稚内4・稚内・浜頓別の平均値（北海道）

・2022年3月16日に発生した福島県沖の地震に伴う地殻変動の影響がみられる。

2期間の地殻水平変動ベクトルの差-1か月-

基準期間：2022-03-08 -- 2022-03-22 [F5：最終解]
 比較期間：2022-04-08 -- 2022-04-22 [F5：最終解]

基準期間：2023-03-08 -- 2023-03-22 [F5：最終解]
 比較期間：2023-04-08 -- 2023-04-22 [R5：速報解]



☆ 固定点：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）
 ・2022年3月16日に発生した福島県沖の地震に伴う地殻変動の影響が見られる。

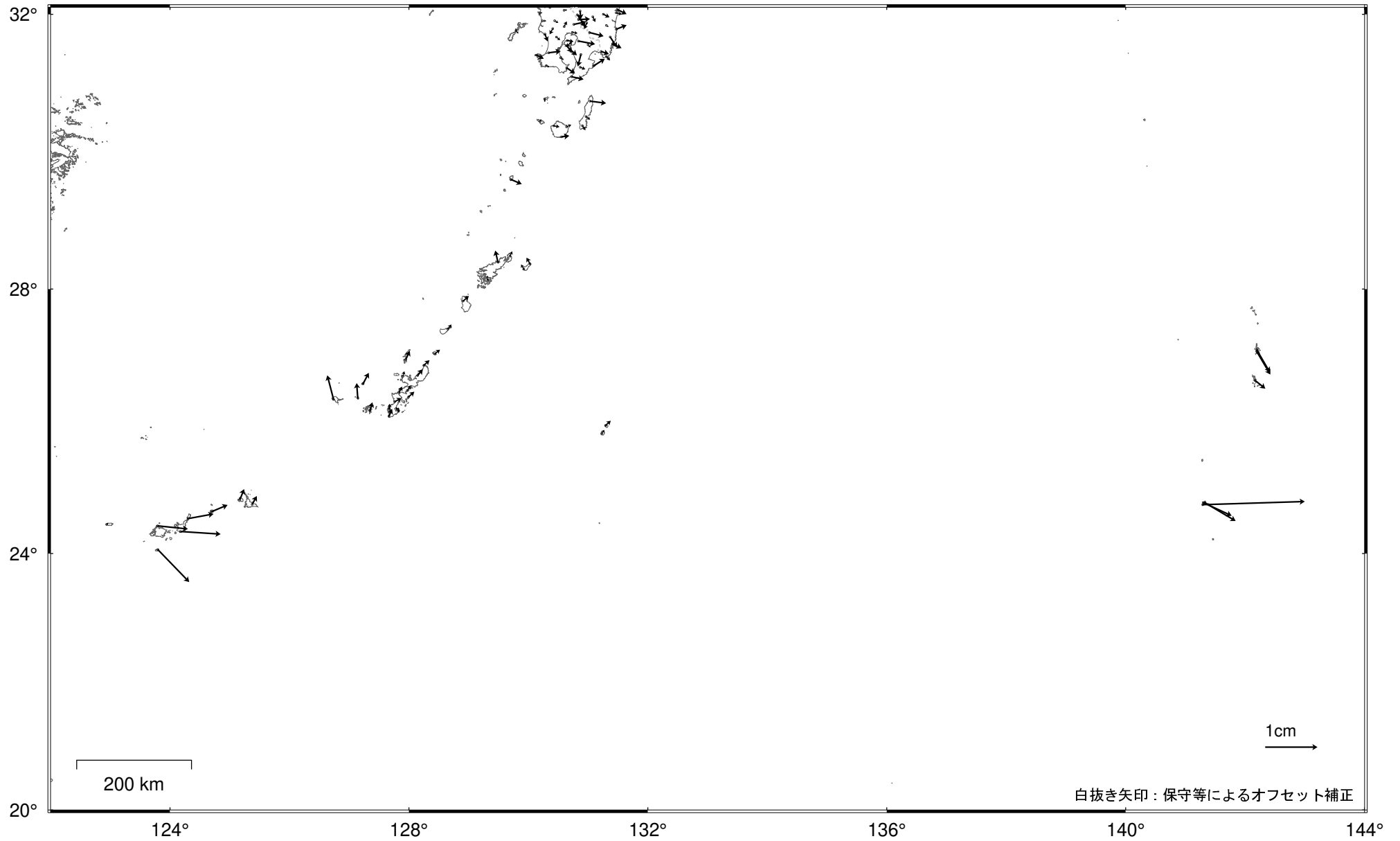
2期間の地殻水平変動ベクトルの差-1か月-

基準期間：2022-03-08 -- 2022-03-22 [F 5：最終解]

比較期間：2022-04-08 -- 2022-04-22 [F 5：最終解]

基準期間：2023-03-08 -- 2023-03-22 [F 5：最終解]

比較期間：2023-04-08 -- 2023-04-22 [R 5：速報解]



☆ 固定点：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）

- ・硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。
- ・先島諸島では、定常とは異なる地殻変動が見られる。